## ６．神社建物等の建造年代等に係る棟札等の翻刻

### 神社１　産泰神社－１

奉造立産泰大明神
宝暦十三癸未四月廿三日
神主
小糸豊前守
藤原忠安
年五十一才ニ而建立

（表）

（裏）

総高535㎜、肩高515㎜、上巾123㎜、下巾104㎜、厚9.5㎜、材質：松
**本殿**　宝暦13年(1763)　棟札

大工棟梁
武州玉ノ井
西上磯五料
今村修利
東上磯宮関
俵家喜七
高橋茂七
武磯
〃玉ノ井
〃村
古里
平七
藤吉
平吉
源八
〃玉ノ井
〃古里
〃村
太屋
庄三郎
久八
源次郎
藤内

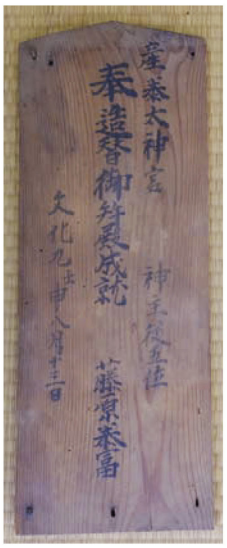
（表）

宝暦十三年癸未
四月廿三日

（裏）

総高485㎜、肩高470㎜、上巾98㎜、下巾88㎜、材質：杉
**本殿**　宝暦13年(1763)　大工棟梁棟札

## 神社１　産泰神社－２



産泰大神宮　神主従五位
奉造替御拝殿成就　藤原泰富
文化九壬申八月十三日

天下泰平産婦安穏
諸願円満感應成就
村中惣氏子中
□　□
□　□
□□　萩原
□□吉　□□□□□□
□□右衛門　活次郎　□□□弥平　□□万二蔵　勘助

（表）　（裏）

総高540㎜、肩高515㎜、巾200㎜
**拝殿**　文化９年(1812)　棟札

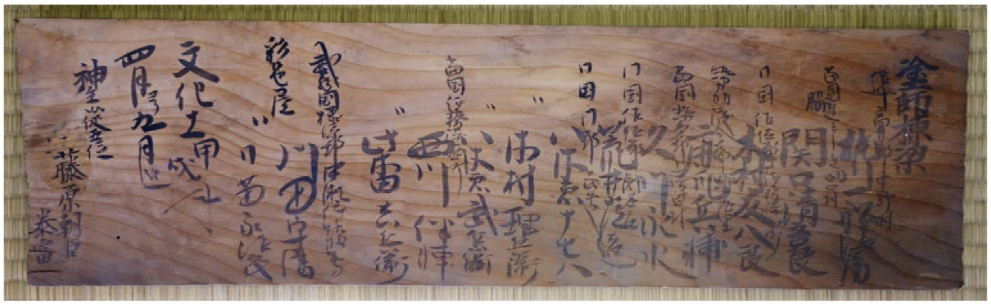
謹請
手置帆負命　神力　天御柱神天二十八宿
句々廼智命　神通　加持
豊受姫命　神変　元上灵宝神道加持
彦狭智理命　国御柱神地三十六禽

信州諏訪郡上桑原村
大工棟梁　矢嘉久右衛門
同　中道邑　浅倉彦兵衛　元形
越後国蒲原郡角田村　山本藤蔵　紋助
同　三嶋郡道平村　白井定蔵　義重
信州佐久郡望月宿
門弟　佐藤山吉　恭信
同　多角初弥
越後国蒲原郡角田邑　藤吉与太郎
當村　木挽棟梁　高橋信之助

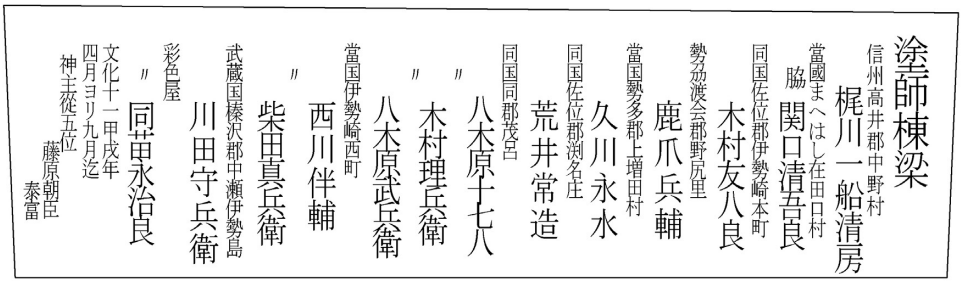
（表）　（裏）

総高540㎜、肩高515㎜、巾200㎜
**拝殿**　文化９年(1812)　棟札

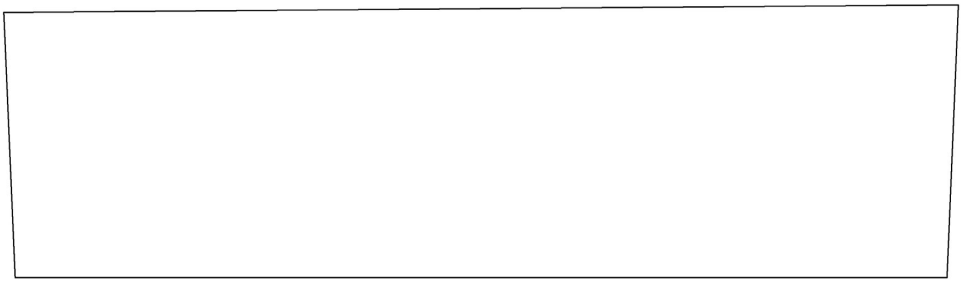
## 神社１　産泰神社－３



（表）



（裏）



左高180㎜、右高175㎜、上巾630㎜、下巾615㎜、材質：杉
**拝殿**　文化11年(1814)　塗師棟梁棟札

## 神社１　産泰神社－４

奉新造上随神門成就上棟之所
五方ヱ黄神　玉姫神　大宮賣女神　審近棟梁貳　山口宗吉　白井定吉
天保四癸巳年三月吉日
神主　鯉登豊前守藤原冨房代

屋船　句句廼智命　彦狭智命　豊受姫命　手置性肩命
以我行神力　神道加持力　神変神通力
元上霊寶神道加持

（表）　（裏）

総高489㎜、肩高474㎜、上巾115㎜、下巾100㎜、厚10㎜

**神門**　天保４年(1833)　棟札

奉新造上金比羅宮御拝殿成就上棟村中安全□
文化七己午年
五方黄神　玉姫神　大宮賣女神　神主鯉登大内蔵正代
藤原泰廣三十三才奉行

屋船　句々廼智命　彦狭智命　豊受姫命　手置帆肩命
以我行神力　神道加持力　神変神通力
元上霊寶神□加持

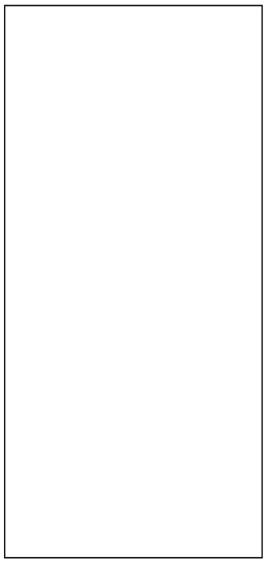
（表）　（裏）

総高457㎜、肩高440㎜、上巾125㎜、下巾125㎜、厚９㎜

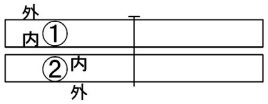
**金刀比羅宮**　文化７年(1810)　棟札

## 神社１　産泰神社－５

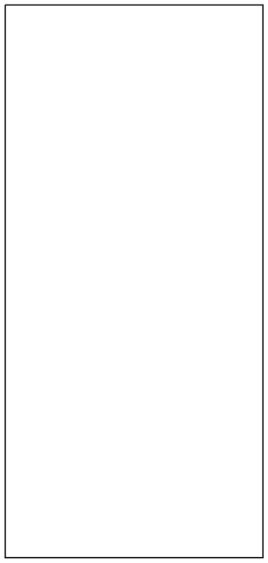
（①-内）

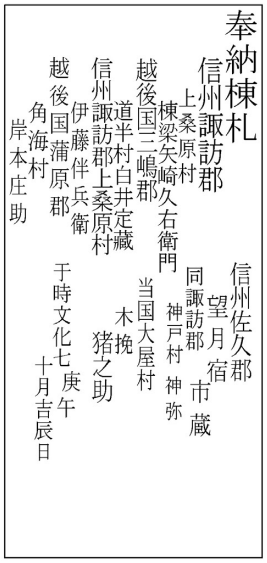


（②-外）



（①-外）



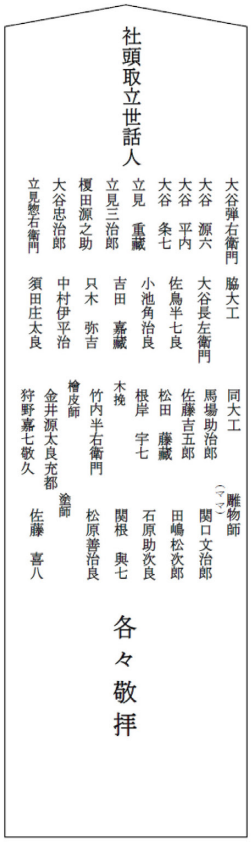



（②-内）

総高365㎜、巾170㎜、厚18㎜、材質：杉

**金刀比羅宮**　文化７年(1810)　奉納棟札

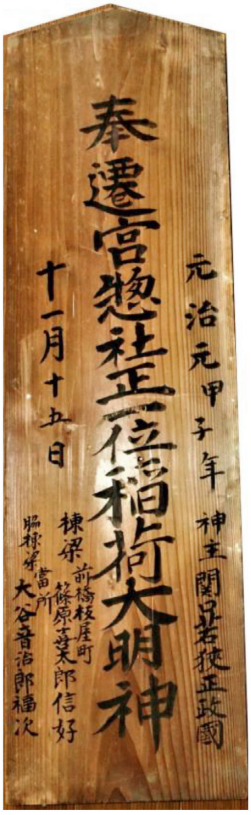
## 神社４　（植野）稲荷神社

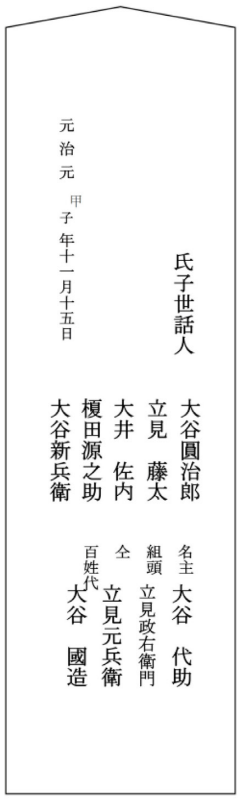



（表）　（裏）

総高869㎜、肩高844㎜、上巾215㎜、下巾215㎜、厚８㎜、材質：杉

本殿　明和７年(1770)　棟札



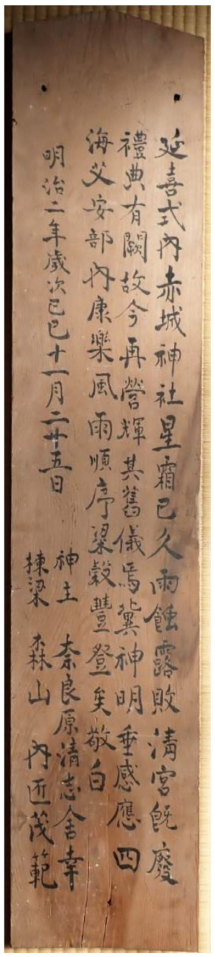

（表）　（裏）

総高908㎜、肩高872㎜、上巾236㎜、下巾236㎜、厚22㎜、材質：杉

拝殿　元治元年(1864)　再建棟札

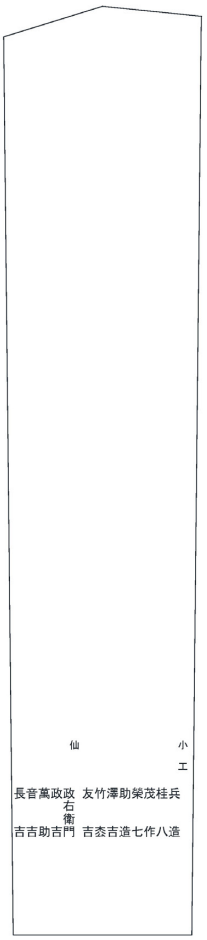
## 神社11　三夜沢赤城神社

（表）



延喜式内赤城神社星霜已久雨蝕露敗清宮既廢
禮典有闕故今再營輝其舊儀焉冀神明垂感應四
海艾安部内康樂風雨順序梁穀豐登矣敬白
明治二年歳次己巳十一月二十五日　神主　奈良原清志舍幸
棟梁　森山　内匠茂範

（裏）



総高1,125㎜、肩高1,113㎜、上巾240㎜、下巾217㎜、厚９㎜

**本殿**　明治２年(1869)　棟札

〔県重文　三夜沢赤城神社本殿〕

（中略）

三寅丙　今年諸家諸国神社御朱印御改

四卯丁　今年諸国風邪ハヤル

同年正月成縁上京佐渡守正六位下　勅許上毛

初官也

寛延元辰戊　今年八月霖雨降続キ田方不熟厩橋領大方枯穂

百姓一揆起リ本城エ強訴ス　領内騒動大方ナ

ラス　同年七月十八日年号改元　琉球朝鮮使

来

二巳己　今年正月十五日酒井家播州所替　同年五月廿

八日松平喜八郎引移り厩橋領主ナリ　同年稲

青立餓渇也　伊勢大神宮御遷宮利根川荒川大

水

三午庚

宝暦元未辛　今年四月惣門造立願主月田村源四郎建立大工

田面村五郎左衛門月田村与七棟梁ナリ　別記

在リ　同十一月五日改元在　同年妙義山社立

大工武州玉井村今村修理

二壬申　今年十一月朔日月田村松村起発テ永代人々神

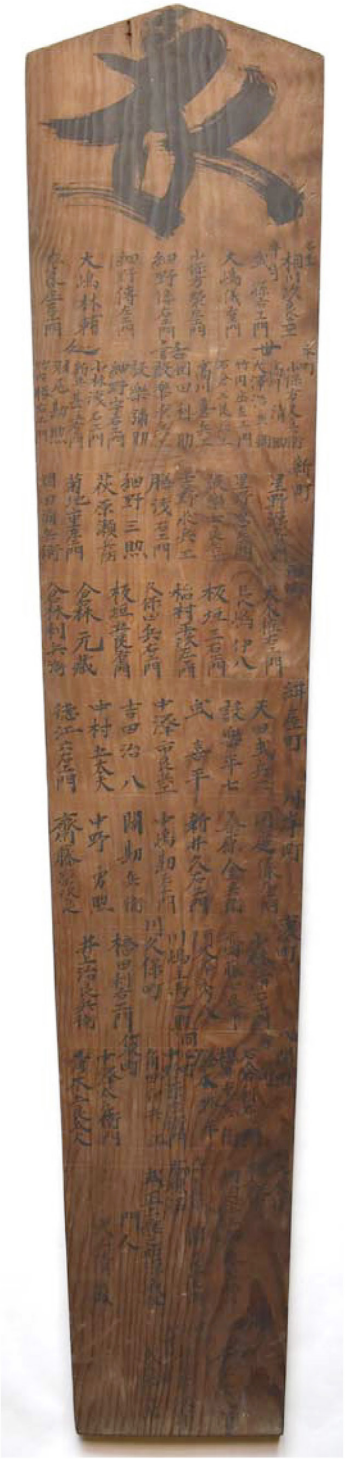
楽始修行

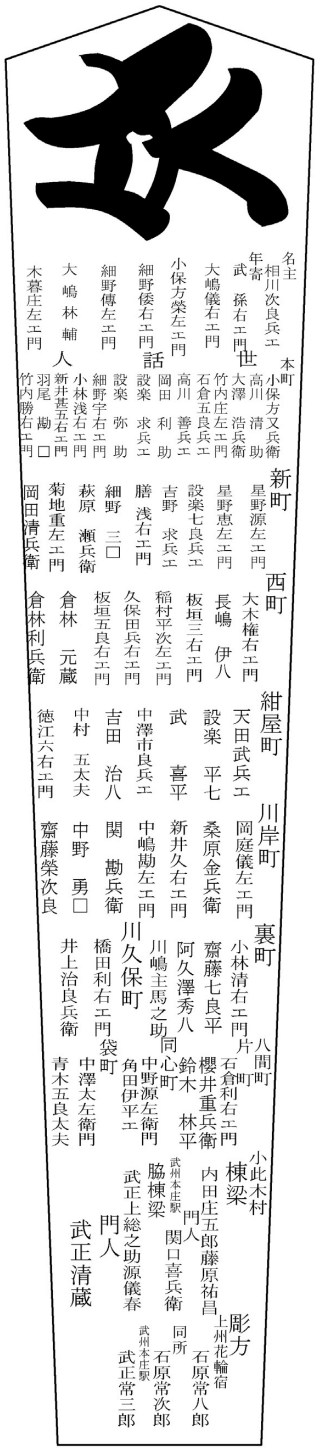
三癸酉　今年宮造替催ス　諸国痳疹ハヤリ人多ク失ヌ

**惣門**　宝暦元年(1751)　年代記

（『宮城村誌』より）

## 神社13　伊勢崎神社



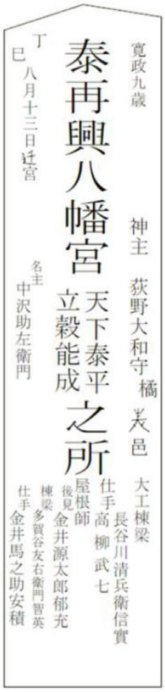



（表）　　（裏）

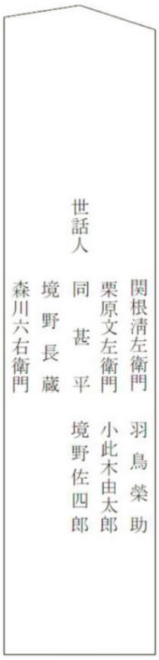
総高765㎜、肩高931㎜、上巾207㎜、下巾137㎜、厚11㎜、材質：杉

**本殿**　嘉永元年(1848)　棟札

## 神社14　(柴)八幡神社




（表）




（裏）

総高613㎜、肩高602㎜、上巾143㎜、下巾143㎜、厚11㎜、材質：桐

**拝殿、幣殿**　寛政９年(1797)　棟札

## 神社19　(平塚)赤城神社

永禄十二巳年
再建立
寛文四辰年
中興再建立
嘉永六丑年
九月吉日

**本殿**　嘉永６年(1853)　擬宝珠刻銘

## 神社21　(渋川)八幡宮

慶長七　施主
建立　八幡宮　入沢新左右門吉廣
壬寅天　敬白

寛永三丙寅年
圓舜通顔道村居士覚霊
八月十九日

（表）　慶長７年(1602)　　（裏）　寛永３年(1626)

総高1,150㎜、石碑高750㎜、巾450㎜、厚500㎜、材質：石

**本殿**　慶長７年(1602)　石碑刻銘

## 神社22　(中村)早尾神社

裏面記載なし

正德三　癸巳歲
五月上旬
上劦群馬郡
棟梁
神山町　奥原善兵衛
中村　木村傳右門
有間　青木武兵衛
有間　岸　弥市
木引
平川　井上仁左右門
名主　木村新右門
當所
組頭　大谷平八郎
石田勘右門
真下江右門
木村市兵左右門
見城五左右門
真下兵左右門
名主　大谷惣兵衛
組頭　飯塚藤兵衛

横1,200㎜、縦760㎜、材質：杉
**本殿**　正德３年(1713)　小屋梁墨書

小屋梁下面墨書　　祈祷札　(表)　　祈祷札　(裏)

総高815㎜、巾148㎜、厚４㎜、材質：桧
**本殿**　正德３年(1713)　棟札

## 神社23　(半田)早尾神社

（表）　　（裏）

総高785㎜、肩高768㎜、上巾232㎜、下巾218㎜、厚4.5㎜、材質：杉

**本殿**　文化14年(1817)　棟札

（翻刻は渋川市の建造物より）

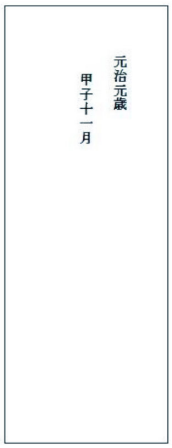
## 神社24　武内神社

上州郡馬郡
祖母嶋村
正一位
宿根大明神
御寶前
寶永八辛卯歳
三月吉日
願主
福嶋七兵衛

**本殿**　宝永８年(1711)　高欄擬宝珠刻銘

## 神社25　(行幸田)甲波宿祢神社

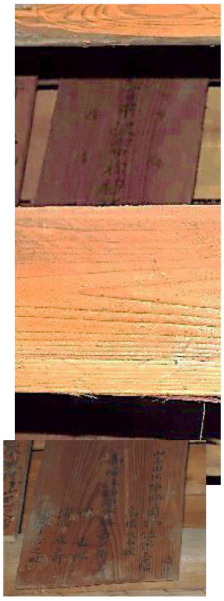
棟札１

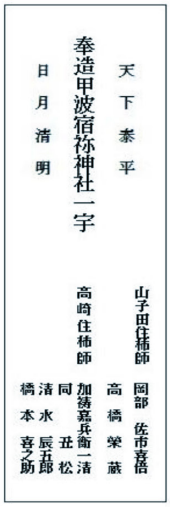


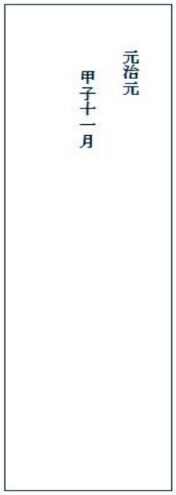

(表)　(裏)

総高767㎜、肩高767㎜、上巾283㎜、下巾283㎜、材質：杉

棟札２



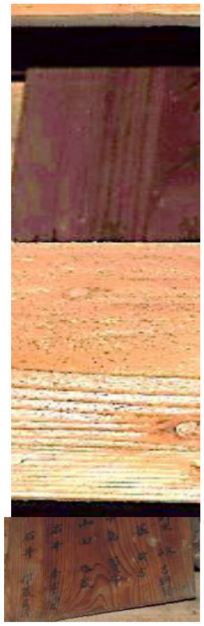


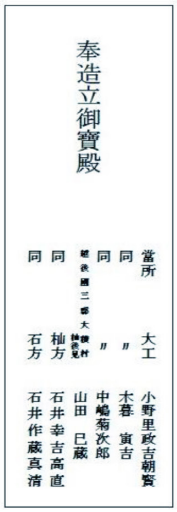




(表)　(裏)

総高761㎜、肩高761㎜、上巾236㎜、下巾236㎜、材質：杉

棟札３





(表)　(裏)

総高894㎜、肩高894㎜、上巾267㎜、下巾267㎜、材質：杉

**本殿、幣殿、拝殿**　元治元年(1864)　棟札
(『渋川の建造物』昭和63年発行より)

## 神社26　(川島)甲波宿祢神社

この後の社殿の改築については、宮所蔵の拝殿の棟札の裏側に「弘化二乙巳年霜月十七日　氏子繁昌専禱所」とあるので、弘化二年（一八四五）に現在の拝殿がつくられたと考えられている。

明治十三年の「神杜明細帳原簿」（前出）には社殿の大きさについて、「社殿間数　本杜間口六尺・奥行五尺　屋根銅葺　上屋無シ　拝殿間口四間・奥行二間半　屋根銅葺」とあり、神社蔵の大正五年の「神社社記」が全く同じで、最近調査の『渋川市の建造物』の計測でもコンマ以下の違いだけで、本殿は天明期、拝殿は弘化期の建造としている。

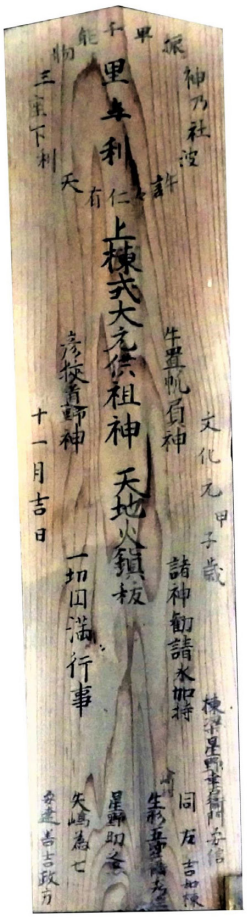
弘化二年の棟札の中にある「大工練梁　松岡出雲正　藤原富盛」は、子持村空恵寺本堂建築（天保六年）の棟札の棟梁名にもある。また彫工棟梁は、この棟札が「武州中仙道玉ノ井邑（熊谷市玉井町）住　小林丑五郎正路外」であるのに対し、空恵寺は「彫工　武州熊谷駅　小林源八正俊外」となっている。この彫工師小林一族は寛政から文久年代にかけて、上越地方で活躍した人達であることを、青木吉は「郷上渋川十七号」の中で詳しく説いている。

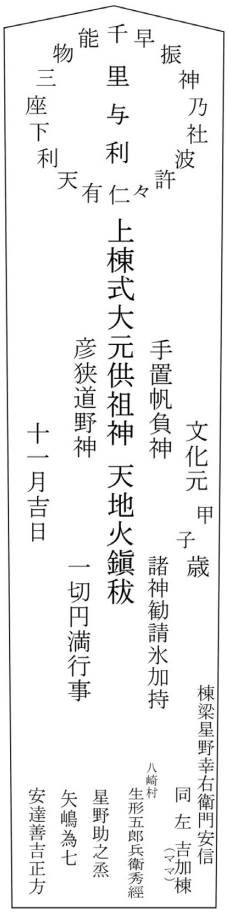
なお、この弘化の改築以前の文化七年（一八一〇）に金井の大工の棟梁である岸舜興（別項・江戸期の文化）が、「式内十二座随一　甲波宿祢御神社官相択地判断之章」（同社蔵）を神社宛に提出している。社地の相をみているのである。

この社の修理などについては、前出「神社社記」や明治三十二年の「郷社甲波宿祢神社建築物調」（同社蔵）にあるが、安政三年（一八五六）に屋根を銅葺にかえ、明治十三年（一八八〇）に玉垣などがつくられ、大正十四年（一九二五）には屋根の銅板葺を再度行っている。

**拝殿、幣殿**　弘化２年(1845)　棟札
（「渋川市誌２」より）

## 神社27　(下南室)赤城神社

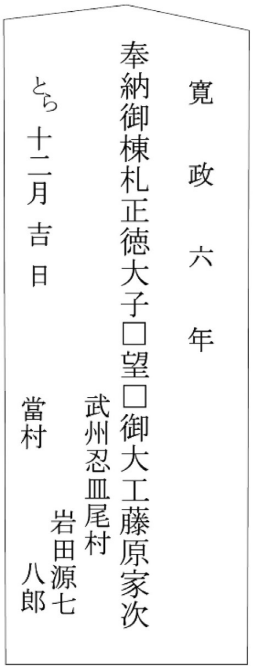


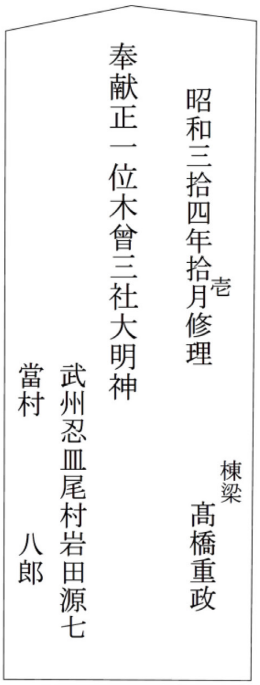



裏面剥し不可の為、不明

総高730㎜、肩高709㎜、上巾18㎜、
下巾167㎜、厚4.5㎜、材質：杉
**本殿**　文化元年(1804)　棟札

## 神社28　木曾三社神社－1






(表)　　(裏)　※修理時書加え

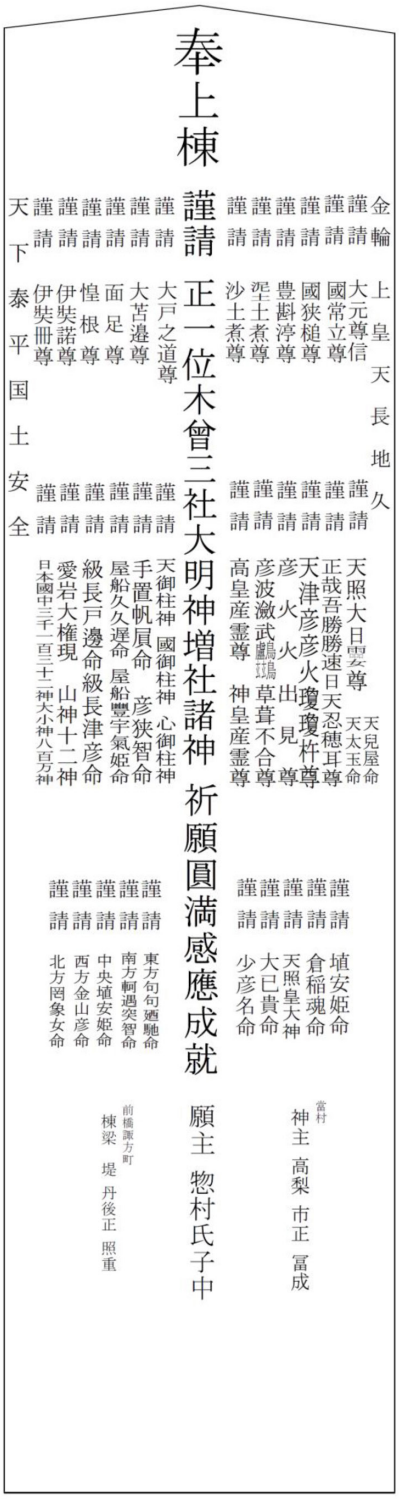
総高360㎜、肩高346㎜、上巾134㎜、下巾132㎜、厚５㎜、材質：杉
**本殿**　寛政６年(1794)　棟札

## 神社28　木曾三社神社－2

奉上棟

謹請　正一位木曾三社大明神　増社諸神　祈願圓満感應成就　願主　惣村氏子中

（表）



奉上棟

謹請　正一位木曾三社大明神増社諸神　祈願圓満感應成就

願主　惣村氏子中

金輪　上皇　天長　地久

謹請　大元尊信　國常立尊　國狹槌尊　豐斟渟尊　埿土煮尊　沙土煮尊

謹請　天照大日孁尊　天太玉命　天忍穂耳尊　天津彦彦火瓊瓊杵尊　彦火火出見尊　彦波瀲武鸕鷀草葺不合尊　高皇産靈尊　神皇産靈尊

謹請　埴安姫命　倉稲魂命　天照皇大神　大巳貴命　少彦名命

謹請　大戸之道尊　大苦邊尊　面足尊　惶根尊　伊奘諾尊　伊奘冊尊

謹請　天御柱神　國御柱神　心御柱神　手置帆負命　彦狹智命　屋船久遅命　屋船豐宇氣姫命　級長戸邊命　級長津彦命　愛岩大権現　山神十二神　日本國中三千一百三十二神大小神八百万神

謹請　東方句廼馳命　南方軻遇突智命　中央埴安姫命　西方金山彦命　北方罔象女命

天下泰平国土安全

當村　神主　高梨　市正　冨成

前橋課方町　棟梁　堤　丹後正　照重

寛政六甲年

梵天帝釋四大天王

寅十一月吉日

當國群馬郡新井村

大工棟梁　松岡出雲正増浮（花押）

門弟　脇棟梁　大河原茂七

清水　栄次

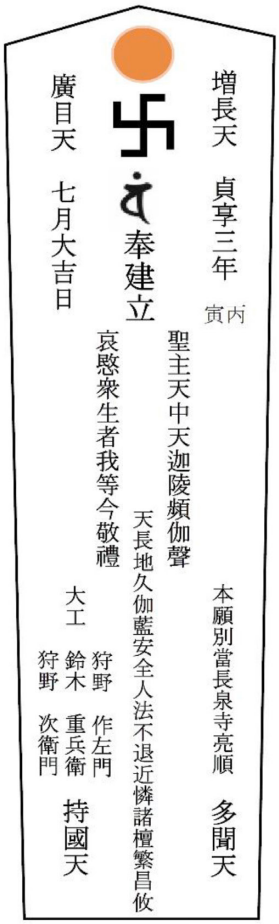
萩原　与吉

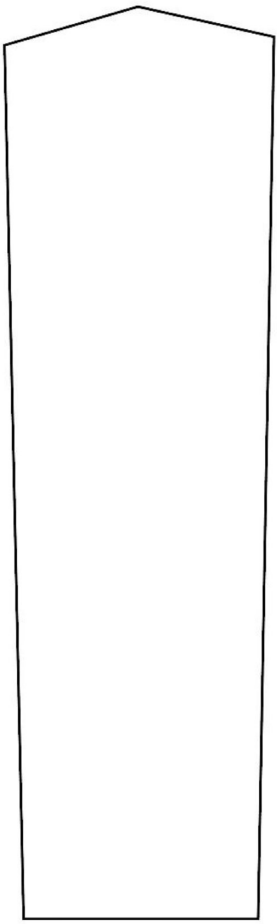
（裏）

総高846㎜、肩高830㎜、上巾222㎜、下巾222㎜、厚7.5㎜、材質：杉

**本殿**　寛政６年(1794)　棟札

## 神社30　(中郷)菅原神社



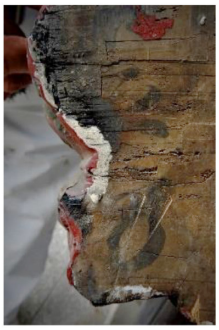


(表)　　(裏)

総高870㎜、肩高850㎜、上巾210㎜、下巾195㎜、厚８㎜、材質：杉

**本殿**　貞享３年(1686)　棟札

## 神社31　(津久田)赤城神社



文次良

安永三年十一
月本殿木鼻

昭和32年(1957)社殿が全焼、本殿が半焼した。その本殿の向拝に取付けてあった、被災した木鼻

**本殿**　安永３年(1774)　向拝木鼻墨書

## 神社32　七社神社

（表）　（裏）

総高570㎜、肩高550㎜、上巾183㎜、下巾148㎜、厚12㎜、材質：杉

**本殿（七社大明神）**　正徳４年（1714）　棟札

## 神社33　常将神社

（表）　（裏）

**本殿**　明和９年（1772）　棟札

## 神社35　(長岡)大宮神社

寛政四歳
社殿新築　内宮、其(みずのえ)子　當社
九月十二日　神主　森田大和守
藤原重信

（表）

一天太平　社頭康榮
奉正遷宮大宮大神鎮座加持郷中安全攸
常磐堅磐守幸賜陪

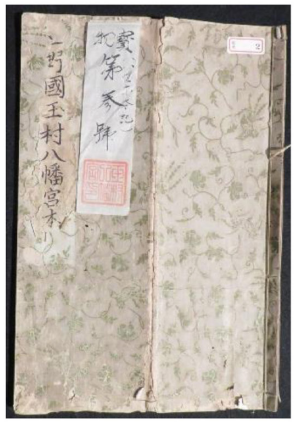
（裏）

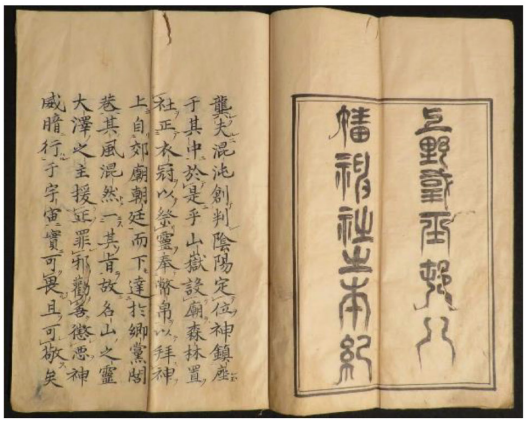
総高358㎜、肩高345㎜、上巾80㎜、下巾64㎜、厚８㎜、材質：杉
**本殿**　寛政４年(1792)　棟札

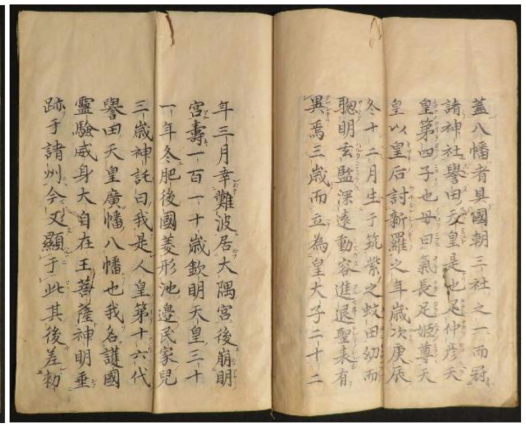
## 神社40　(北下)諏訪神社

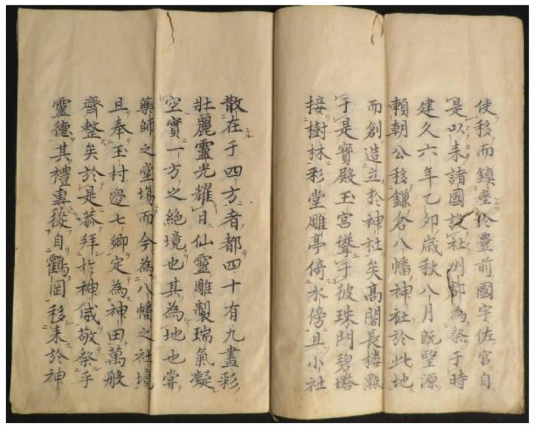
寶暦七年丁丑　□
上劔上野田村

**本殿**　宝暦７年(1757)　隔壁上部墨書





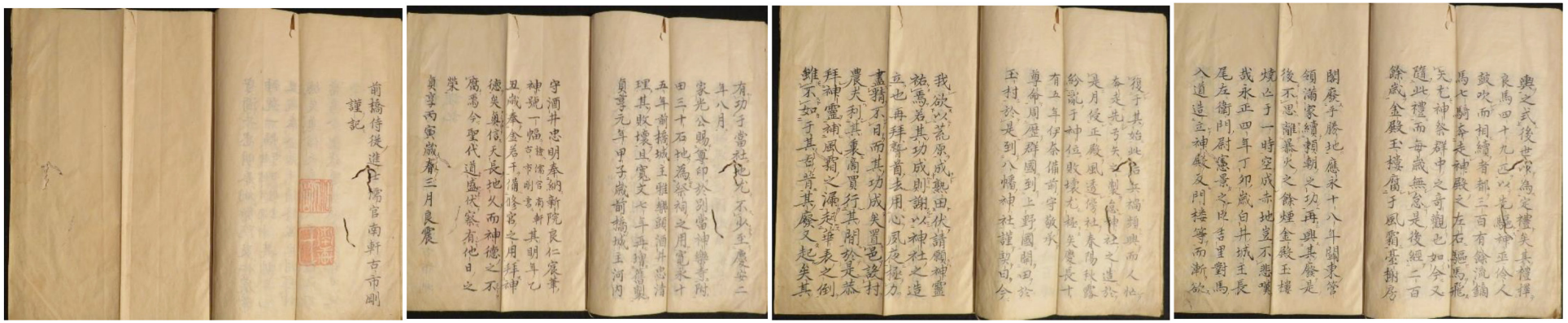




「……于レ時建久六年乙卯歲秋八月既望源頼朝公移ニ鎌倉八幡神社ヲ於此地ニ而創造ニ立於神社ヲ一矣。高閣長楼點レ于レ是宝殿玉宮聳レ于レ彼。……」

上野国玉村八幡宮本記　貞享３年(1686)　古文書　1／2
※本殿　慶長15年(1610)
(『玉村八幡宮社誌』より)

神社44　玉村八幡宮－2

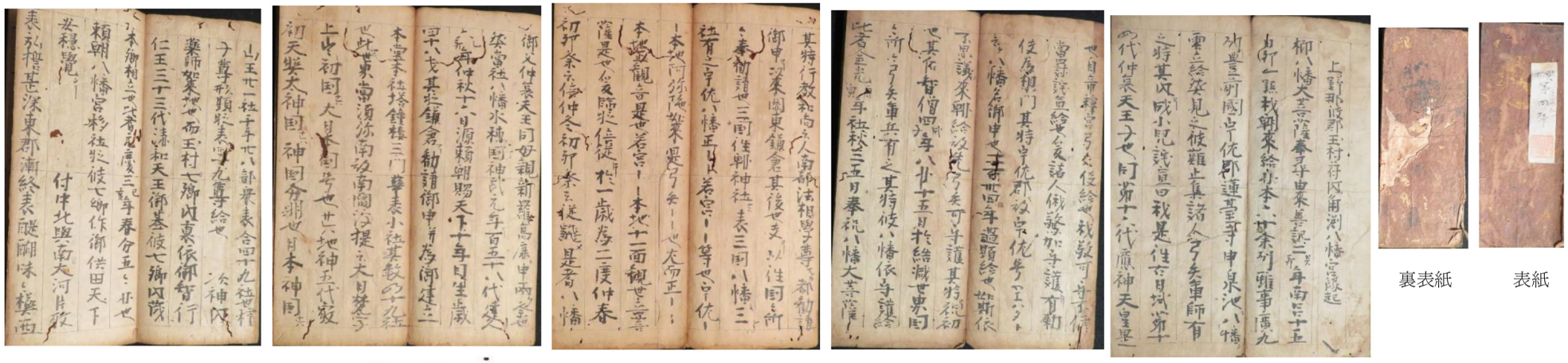


「……是後経二百餘歳一金殿玉楼腐二風霜一台榭房閣廢二勝地一。應永十八年關東管領満家續二頼朝之功一再興二其廃。是後不レ思離二暴火之餘煙一金殿玉楼焼三亡于一時一空成二赤地一。豈不レ悲―嘆哉。永正四年丁卯歳白井城主長尾左衛門尉憲景之臣吉里對馬入道造二立神殿及門楼等一而漸欲レ復二其始一。……」

「……慶長十有五年伊奈備前守敬承二尊命一周二歴群國一到二上野國一開二田於玉村一　於レ是到二八幡神社一謹契曰今我欲下以二荒原一成中熟田上　伏請願神霊祐レ焉　若其功成則謝以二神社之造立也再拝稽首去　用二心夙夜一極レ力尽レ精　不レ日而其功成矣　……」

「……至二慶安二年八月一　家光公賜二尊印於別当神樂寺一附二田三十石地一為二祭祠之用一。寛永十五年前橋城主雅楽頭酒井忠清理二其敗壊一且寛文七年再増二旧製一。貞享元年歳甲子歳前橋城主河内守酒井忠明奉二納新院良仁宸筆神号一幅一。（検儒管南軒古市剛書）　其明年乙丑歳奉二金若干一備二修宮之用一拝二神徳一矣。……」

上野国玉村八幡宮本記　貞享３年(1686)　古文書　2／2
※本殿　慶長15年(1610)
（『玉村八幡宮社誌』より）

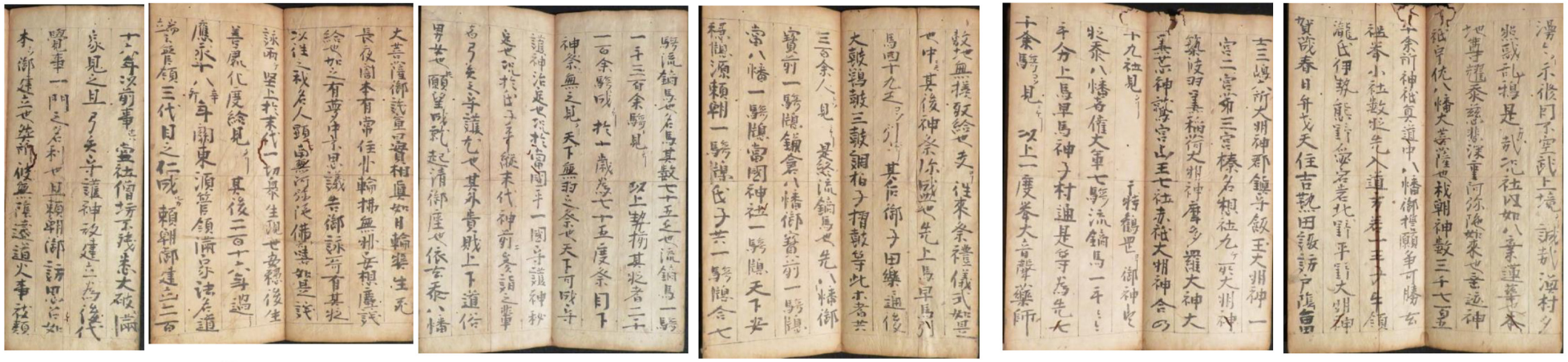


裏表紙　表紙

「……然當社八幡水穂国神武元年百五十八代建久六乙卯年仲秋十六日源頼朝賜天下十年目生歳四十八才其時鎌倉勧請申并為御建立。本堂本社塔鐘楼三門華表小社其数四十九社也……」

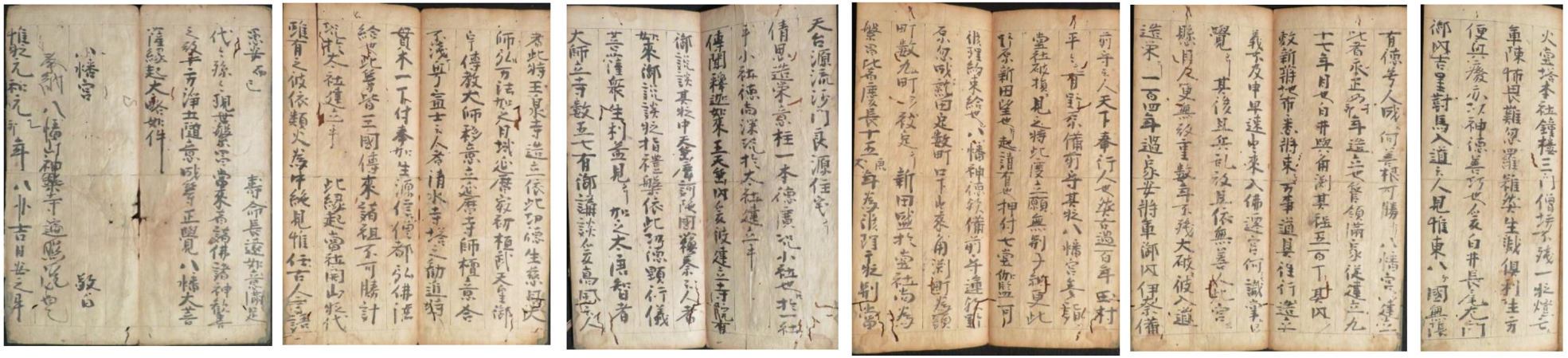
**本殿**　元和元年(1615)　古文書(角渕八幡宮縁記)　1 / 3
(『玉村八幡宮社誌』より)

神社44　玉村八幡宮－4



「……其後二百十六年過ヲ應永十八辛卯年關東源管領満家法名道端云管領三代目之仁成ルカ頼朝御建立二百十六年以前事ナレバ堂社僧坊不残悉大破ス。満家見之且弓矢守護神故建立為後代覺事一門之名利也。……」

本殿　元和元年(1615)　古文書(角渕八幡宮縁記)　2 / 3
(『玉村八幡宮社誌』より)

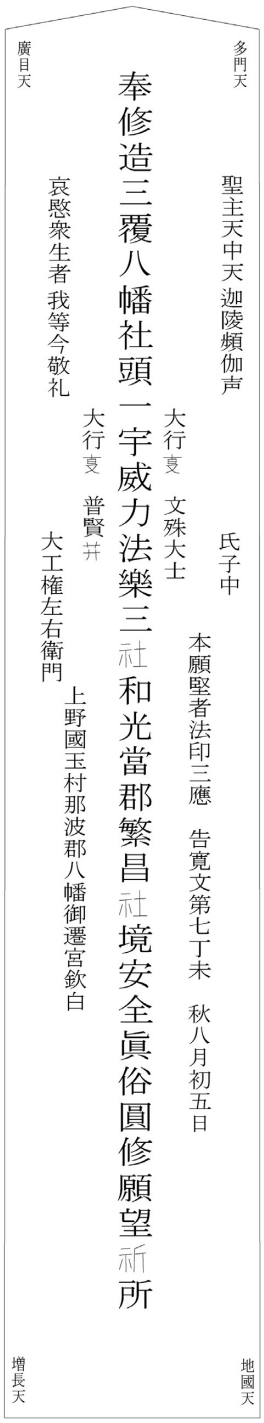


「……爰白井長尾左工門御内吉里對馬入道云人見惟東八國無陰有
徳号人成何善根可勝八幡宮建立。比者永正四丁卯年造立也　管領
満家従建立九十七年目也。……」

「……彼入道造栄一百四年過家安將軍御内伊奈備前守云人天下奉
行人也。然古過百年玉村平々有野原。備前守其時八幡宮参詣堂
社破捐。見之時此度立願無別子細更此野原新田望也起請有也。押
付七堂伽藍可修理約束給也。八幡神徳歟備前守運歟野原忽成熟
田。定数町町出来。角淵町為頭町数九町被定。新田盛於堂社尚
為盤昌。比者慶長十五庚寅年為修理。于時別当天台源流沙門良源住
宅。倩思造栄意柱一本徳広況小社也於一社乎。小社徳尚深況太社
建立乎。……」

本殿　元和元年(1615)　古文書(角渕八幡宮縁記)　3 / 3
(『玉村八幡宮社誌』より)

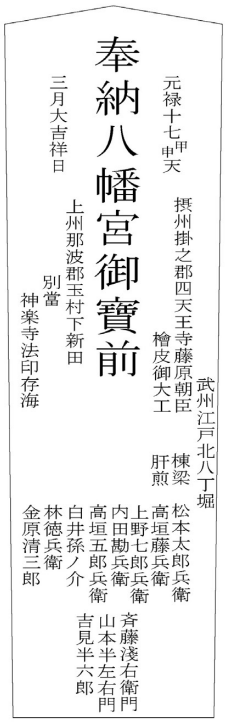
## 神社44　玉村八幡宮－6




（表　裏面記載なし）

総高1,550㎜、肩高1,525㎜、上巾310㎜、
下巾312㎜、厚10㎜

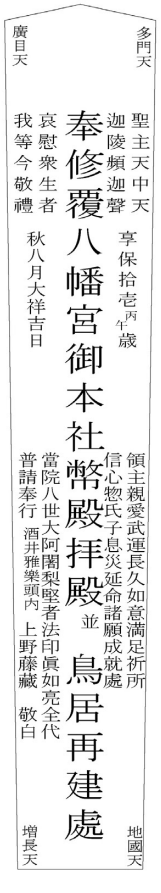
**本殿修理**　寛文７年(1667)　棟札
（国重文　玉村八幡宮本殿　附棟札１　1／6）

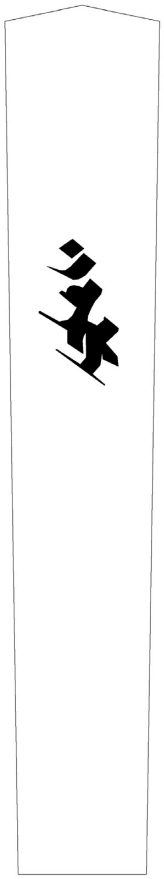



（表　裏面墨書なし）

総高426㎜、肩高415㎜、上巾133㎜、下巾123㎜、厚13㎜、材質：杉

**本殿屋根葺替**　元禄17年(1704)　棟札
（国重文　玉村八幡宮本殿　附棟札２　2／6）



（表）　（裏）

総高764㎜、肩高750㎜、上巾136㎜、下巾113㎜、厚11㎜、材質：桐

**本殿・拝殿・幣殿等の修理**　享保11年(1726)　棟札
（国重文　玉村八幡宮本殿　附棟札３　3／6）

## 神社44　玉村八幡宮－7

（表）

多門天
元文三戊午季　領主御武運長久如意満足祈所　地國天
聖主天中天　迦陵頻迦聲　從酒井雅楽下賜三拾五両并足代竹木人夫以積下之
奉修覆八幡宮御本社幣殿拝殿願望成就之所
哀慰衆生者　我等今敬禮　信心惣氏子等息災延命求願圓満祈所
四月初九日　當院第八世堅者法印亮全　謹白
増長天　廣目天

（裏）

當町大工　興五兵衛
同　宇右衛門
高崎檜物町
柿屋裕屋　加兵衛

総高874㎜、肩高850㎜、上巾270㎜、下巾239㎜、厚12㎜

**本殿・拝殿・幣殿の修理**　元文３年(1738)　棟札

（国重文　玉村八幡宮本殿　附棟札４　4/6）

（表）

（梵字不明）
聖主天中天
迦陵頻迦聲　寛延四辛未歳　信心惣氏子息災延命諸願成就所
奉修覆八幡宮御本社屋根社内繁榮富貴圓満祈處
哀慰衆生者
我等今敬禮　四月一五日　當院八世大阿闍梨堅者法印亮全代
（梵字不明）

（裏）

焉寛延貳己巳季前橋城主トシテ松平大和守殿藩劦姫路ヨリ入替リ
移ル今年再前橋領地ニ成ル依之當社御修覆之義先例ヲ以テ午三月ヨリ
数度願候得共不相叶ソロニ付檀中惣氏子相談之上當寺什金拾両
餘ヲ指加工其上氏子村之助力を以て今修覆事
上之野列那波郡藤岡領玉村下新田八幡山遍照院　神楽寺　亮全　花押

総高804㎜、肩高788㎜、上巾147㎜、下巾136㎜、厚４㎜、材質：杉

**本殿の屋根葺替**　寛延４年(1751)　棟札

（国重文　玉村八幡宮本殿　附棟札５　5/6）

## 神社44　玉村八幡宮－8

（表）

聖主天中天迦陵頻迦聲　明和八竜宿辛卯載

奉造立八幡宮御宮殿壱宇天下泰平國家豊饒氏子繁榮子孫永長寄捨施財信男信女萬願成就祈所

哀慰衆生者我等今敬禮　極月初五日

多門　持國　増長　廣目

本社
天井板張　火燈口　唐戸六本新規　虹梁一丁新規　幣串貳本同断　薄椽五枚同断　箱埋三間波免張同断　登埋新規　箱棟夜根修補　波免四間杁板張　同四間張付新規　雨椽拾壹間新規　華表家根袖柱等繕

拜殿
紺紙八軸表紙修補　軸壹興六早川幾右衛門寄附　波免壹間杁板張足　菊燈貳本新　波免五間張付新規

幣殿
本社家根北側檜皮葺　以御修料金惣葺替　末社熊野宮田主馬藏修補

御宮殿願主　敦堂良然　為春性院辛然□運長　金貳両　發起五丁目　木嶋清兵衛　一金拾三両　無盡壹口　比内禮金連中寄進

神楽寺十一世義傳代　御宮殿良材寄捨水澤寺貫隆

遷宮導師現住沙門義傳

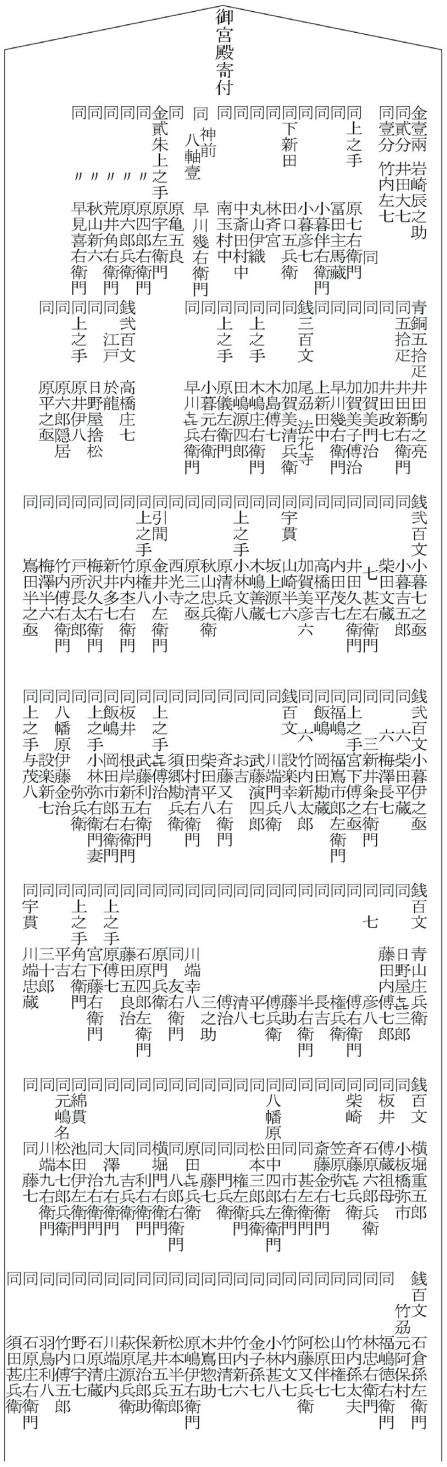
衆僧
長松寺　清泰寺　水澤寺　薬王寺　観音寺　東榮寺　法蓮寺　普門寺

御宮殿棟梁　窪田邑　清水谷掃部

御家根師　高崎檜皮屋嘉兵衛

総高1,700㎜、肩高1,670㎜、上巾325㎜、下巾325㎜、厚10㎜、材質：檜
**宮殿の新造、本殿・拝殿・幣殿の修理**　明和８年(1771)　棟札
（『玉村八幡宮社誌』より　国重文　玉村八幡宮本殿　附棟札６　６/６）

## 神社44　玉村八幡宮－9



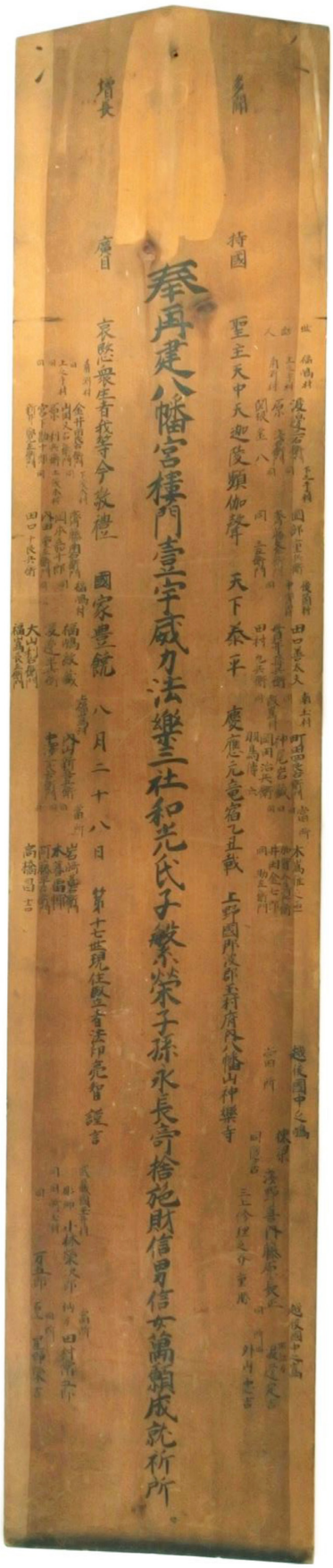
（裏）

総高1,700㎜、肩高1,670㎜、上巾325㎜、下巾325㎜、厚10㎜、材質：檜

**宮殿の新造、本殿・拝殿・幣殿の修理**　明和８年(1771)　棟札

（『玉村八幡宮社誌』より　国重文　玉村八幡宮本殿　附棟札６　６/６）

## 神社44　玉村八幡宮 -10



多聞　持國　聖主天中天迦陵頻伽聲　天下泰平　慶應元竜宿乙丑載　上野國那波郡玉村府内八幡山神樂寺

奉再建八幡宮樓門壹宇威力法樂三社和光氏子繁榮子孫永長寄捨施財信男信女萬願成就祈所

増長　廣目　哀愍衆生者我等今敬禮　國家豊饒　八月二十八日　第十七世現住堅者法印亮智恵謹言

世話人
福嶋村　渡邊三右衛門
上之手村　原淺右衛門
角渕村　関根金八
下之手村　岡部重兵衛
同　齋藤文左右衛門
同　三左衛門
後箇村　田口善太夫
中齋田村　貫井孫兵衛
同　田村九兵衛
南玉村　町田四良右衛門
同　神尾岩藏
飯鳥村　岡田治兵衛
同　羽鳥傳六
當所　木鳥雅之亟
同　加賀美清兵衛
同　井田金七郎
同　助左衛門
越後國中之嶋　棟梁　淺野喜内藤原長正
同隠居　三上修理之介重勝
越後國中之嶋　世話方　渡邊定吉
同所　外山忠吉

角渕村　金井市良右衛門
同　山田又右衛門
上之手村　原利兵衛
同　宮下勘十郎
同　新井覺左衛門
下茂木村　齋藤角右衛門
同　岡本嘉十郎
上茂木村　内田重左衛門
同　田口十良兵衛
福嶋村　福嶋紋藏
同　渡邊半兵衛
同　大山利右衛門
福嶋長左衛門
上福嶋村　内山新吾兵衛
同　中澤三良右衛門
當所　岩崎甚右衛門
同　木暮雷輔
同　阿藤平右衛門
高橋昌吉
武藏國玉井村　彫師　小林榮次郎
同国崎玉村　万五郎
當所　柚方　田村常五郎
同　石工　星野榮吉

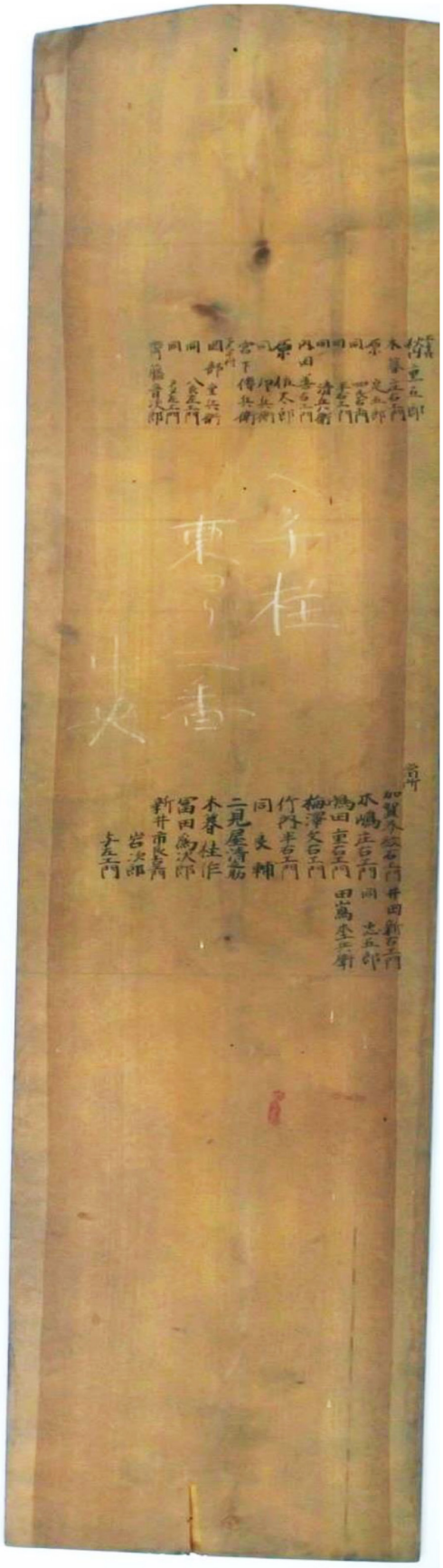
（表）

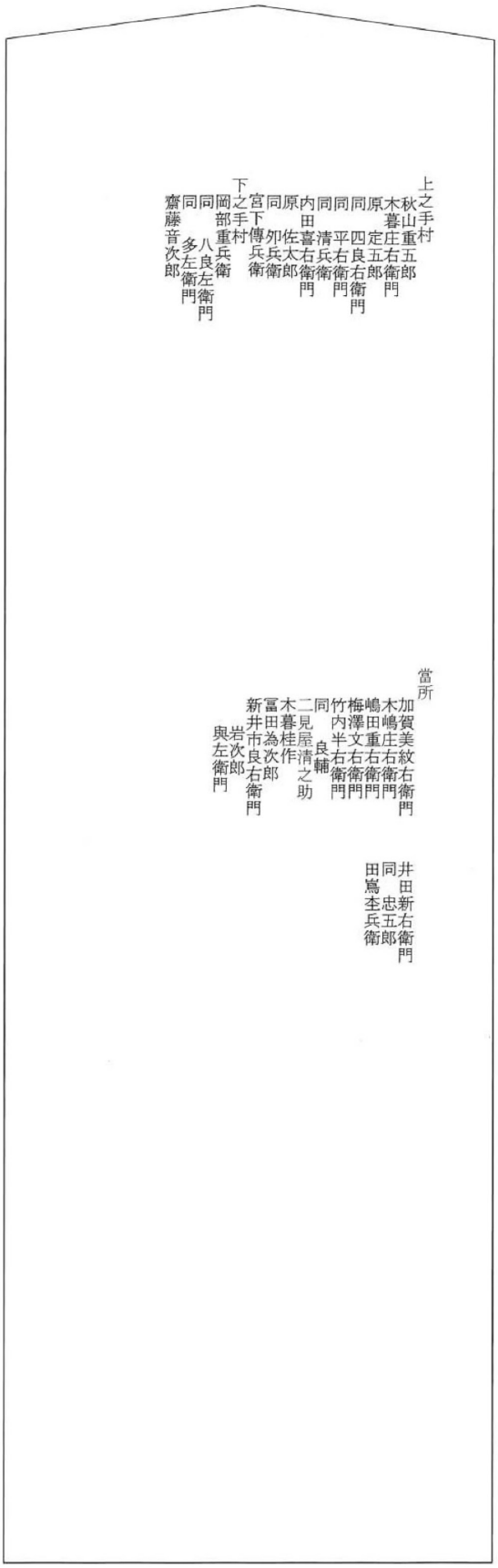
総高1,700㎜、肩高1,670㎜、上巾325㎜、下巾325㎜、厚10㎜、材質：檜

**随神門**　慶応元年(1865)　棟札

（『玉村八幡宮社誌』より）

## 神社44　玉村八幡宮 -11






（裏）

総高1,700㎜、肩高1,670㎜、上巾325㎜、下巾325㎜、厚10㎜、材質：檜

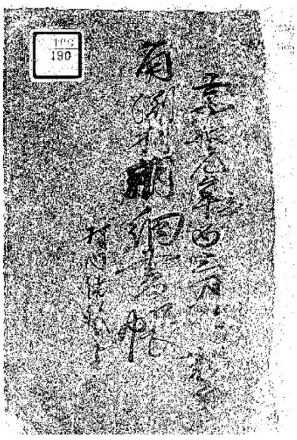
**随神門**　慶応元年(1865)　棟札

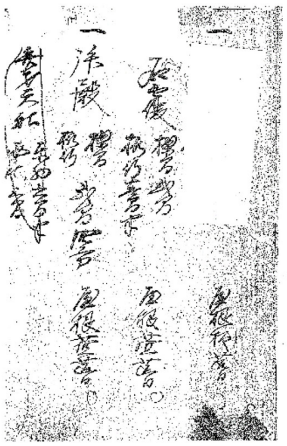
（『玉村八幡宮社誌』より）

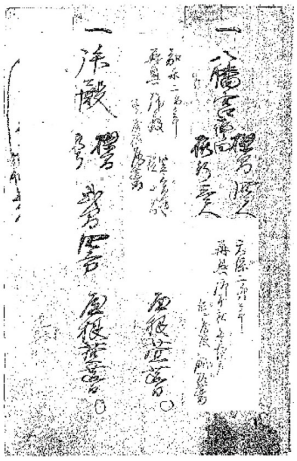
## 神社45　(角渕)八幡宮

天保二〇卯年
四月吉日
當国那波郡
角渕村
名主
山田輪蔵
同
金井市郎右エ門
組頭
高橋市良左エ門
関根金八
茂木伊左エ門
高橋弥五左エ門
齋藤兵右エ門
中野四兵衛

**本殿**　天保２年(1831)　高欄擬宝珠刻印







一
八幡宮南向　梁間四尺　屋根板葺○
桁行三尺　梁間弐間
右覆　桁行壱間半　屋根茅萱葺○
一
拝殿　桁行　梁間　弐間四方　屋根茅萱葺○
東西六間半
弁財天者社
西北三間

付箋
天保二卯
再興御本社五尺四方
但屋根銅板葺

付箋
嘉永二酉年
再興拝殿　縦三間半　横二間
但屋根瓦葺

**本殿**　天保２年(1831)　**拝殿**　嘉永２年(1849)　『関根家文書』
(『玉村町誌　別巻Ⅱ　玉村町の文書』昭和63年３月より)

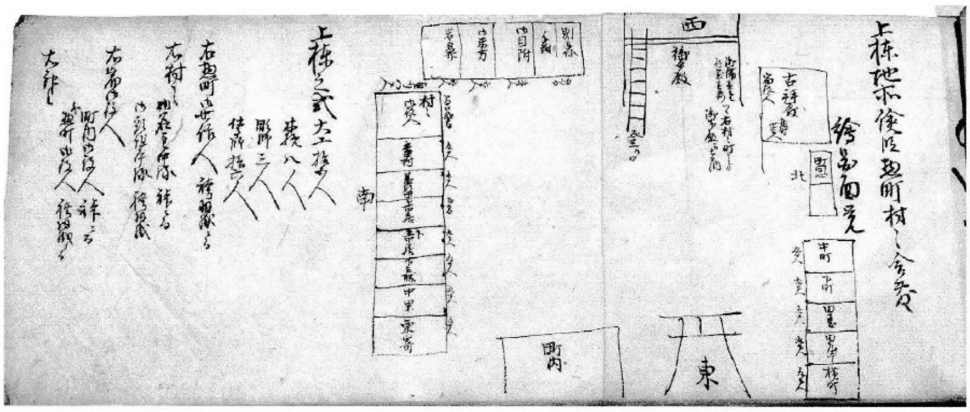
## 神社47　あら町諏訪神社

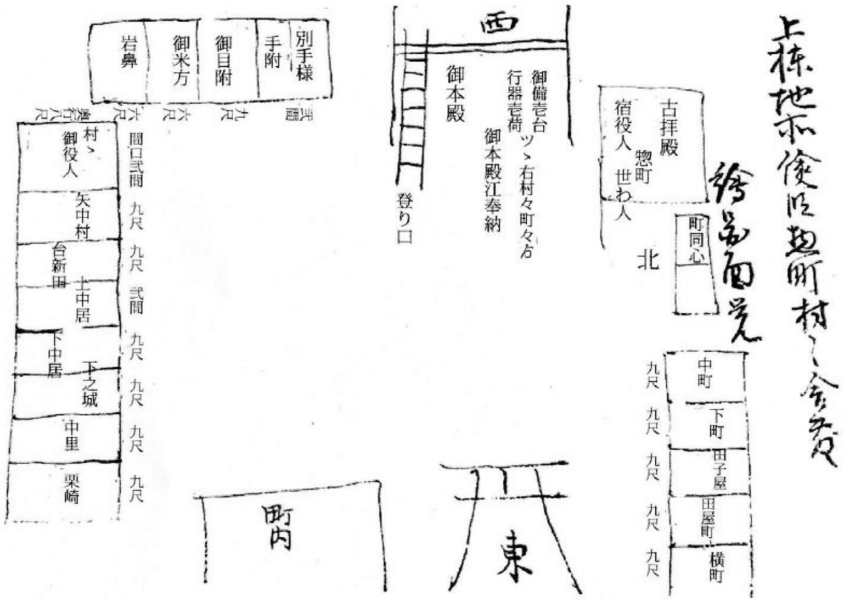
文化十一年
初夏良且
造営

**本殿**　文化11年(1814)　礎石刻銘

## 神社48　倉賀野神社－1

『上棟地所俠段惣町村々舎敷絵図面覚』
元治二年三月十九日（一八六五）
『納戸日記諸控簿』






上棟之式　大工拾五人
木挽八人
彫師三人
仕事師拾六人
右惣町御世話人　袴羽織三而
右村々之

御名主中様　裃二而
御頭組中様　袴羽織
右宿御役人
町内御役人　裃二而
外
惣町御役人　袴羽織二而
右神主

『上棟祝儀諸職連名』
元治二年三月十九日
『納戸日記諸控簿』

上棟御祝儀大工連名

一　金壱両也　後見　宮寺大炊
一　金弐分也　棟梁　斎藤与吉
一　同　堀　多吉
一　同　同　並木幸吉
一　同　同　森村由五郎
一　金壱分也　関口伊勢松
一　同　武井弥蔵
一　同　源吉
一　同　吉五郎
一　同　喜助
一　金弐朱也　茂八
一　同　武七
一　同　直吉
一　同　文蔵
一　同　仙蔵
〆十五人
此代　金四両三分弐朱也　大工拾五人
一　金三分三朱也　賄料
但し壱人ニ付銀壱朱ツゝ　代渡し
一　上酒半樽　大工拾五人渡ス
彫師連名
高崎金十郎事

以下、省略

本殿　元治２年(1865)　上棟　古文書
〔翻刻は髙木直明氏(倉賀野神社宮司)による〕

## 神社48　倉賀野神社－2

（表）

天下泰平
奉葺壹宇処
高崎住柿師
加藤嘉兵衛六代孫一清
日月清朋

（裏）

慶應元乙丑
八月

**本殿**　慶応元年(1865)　棟札

⑲『上棟祝儀記』明治八年十月
No.34『上棟入費帳』

上棟祝儀記

大工

一金二円五拾銭　宮寺増吉（僧力）
藍縦縞
綿入壹枚

一金二円五拾銭　斎藤与吉
長半天　壹枚
手拭壹筋
三尺帯壹筋

一金壹円　同　政吉
右同断

一金壹円　直吉
同　同断

一金壹円　花形吉五郎
同断

一金壹円　中町　要助
同断

一金壹円　下町　幸七
同断

一金壹円　同　□□（破損）
同断

一金壹円　源□（破損）
同断

一金五拾銭　德治郎
切半天壹枚
手拭壹筋
三尺帯壹筋

一金五拾銭　文三

同断

一金五拾銭　又吉
同断

一金五拾銭　嘉治郎
同断

一金五拾銭　庄七
同断

〆金拾四円五拾銭
長半天八枚　大工中
切半天五枚
金壹円七拾五銭　十四人
〆外二　肴料
酒壹本

一金壹円　小金澤和三郎
長半天壹枚
手拭壹筋
三尺帯壹筋

一金壹円　宮下源治郎
長半天壹枚
手拭壹筋
三尺帯壹筋

一金壹円弐拾五銭　同　平治郎
切半天壹枚
手拭壹筋
三尺帯壹筋

一金二拾五銭　小金澤庄三
同断

一金二拾五銭　宮崎　勘三
同断
金壹円七拾五銭
〆長半天弐枚　町内
切半天三枚　師事子

三尺帯五筋
金壹円八十七銭五厘十五人賄代
酒　壹斗五升
本挽

一金壹円二十五銭　宮下市太郎
長半天壹枚
手拭壹筋
三尺帯壹筋

一金五拾銭　同藤治郎
切半天壹枚
手拭壹筋
三尺（破損、帯壹筋力）

一金五拾銭　梅吉
同断

〆金弐円二十五銭
金壹分弐朱　三人　賄代
酒三升

彫物師　信州善光寺

一金壹円二十五銭　北村喜代松
長半天壹枚
手拭壹筋
三尺帯壹筋

一金壹円五拾銭　高崎檜物町
同断　石川兼治郎

一金五拾銭　平塚　源重郎
切半天壹枚
手拭壹筋
三尺帯壹筋

一金五拾銭　伊勢崎　松五郎
同断

〆金三円七拾五銭
金五拾銭　賄代
酒五升

一金弐円五拾銭
惣町　師事子　拾人

一金五拾銭　田中　新井金十郎
金弐朱　賄代
〆金三拾円七拾七銭五厘

外二
金壹分　森村弥蔵
手拭壹筋

**拝殿**　明治８年(1875)　上棟　古文書
〔翻刻は髙木直明氏(倉賀野神社宮司)による〕

## 神社49　小祝神社

（表）

粟能葉に乗りし
昔越えるおもひ出でて
深くぞたのむ
元乃誓ひ越
詮房

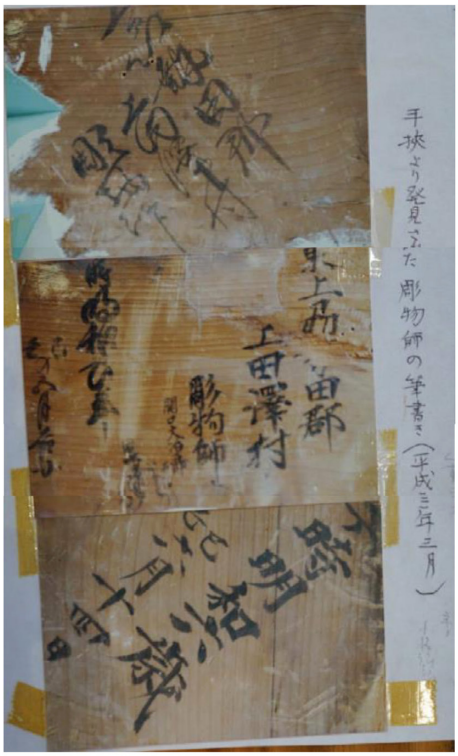
（裏）

高崎城主
間部越前守詮房
粟穂御歌　御書
粟歌繪

掛巻母恐伎小祝神社乃本社往昔
木村三寺尾合戦乃際尓焼伎其跡小
許本社アリ蓋シ別當石昌寺現住亮
珍正徳二壬午年春領主間部越前
守殿延喜式内上野國十二社ノ其一タル
云云上申シテ如此本社再建享保ニ丁亥
年穐終フス
上棟祭尓被為有奉納此粟穂額候
別當
享保二年　石昌寺第四世
丁亥九月十九日　現住亮珍書

**本殿**　享保２年(1717)　奉納額墨書

## 神社50　(山名)八幡宮



東上刕勢田郡
上田澤村
彫物師

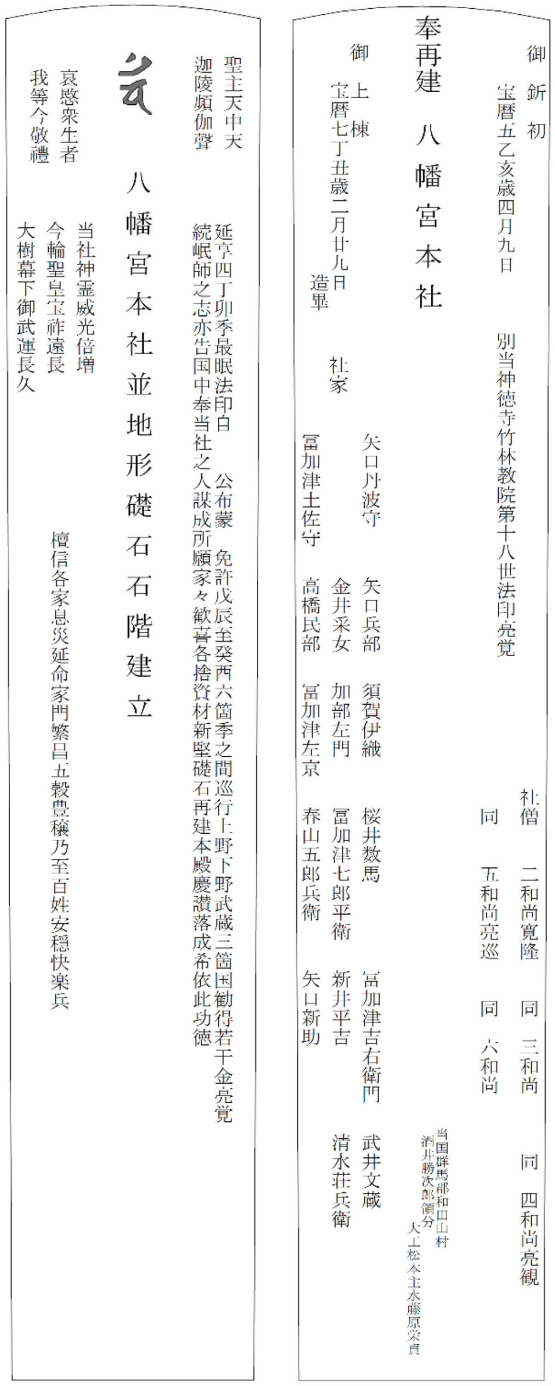
東上刕勢田郡
上田澤村
彫物師
関口文次郎
□□□□

于時明和六歳
巳
丑　六月十四日

時明和六年
巳
丑の五月吉日

**本殿**　明和６年(1769)　手鋏墨書
（写真は高崎市教育委員会提供）

## 神社52　(八幡)八幡宮



御新初
宝暦五乙亥歳四月九日　別当神徳寺竹林教院第十八世法印亮覚
奉再建　八幡宮本社
御上棟
宝暦七丁丑歳二月廿九日造畢　社家
矢口丹波守　矢口兵部　須賀伊織
冨加津土佐守　高橋民部　冨加津左京
金井采女　加部左門　桜井数馬
春山五郎兵衛　矢口新助
冨加津吉右衛門　武井文蔵
冨加津七郎平衛　新井平吉　清水荘兵衛
社僧　二和尚寛隆　同　三和尚　同　四和尚亮観
同　五和尚亮巡　同　六和尚
当国群馬郡和田山村
浜井勝次郎藤分
大工松本主水藤原栄貫

聖主天中天
迦陵頻伽聲
延享四丁卯季最眠法印白　公布蒙　免許戊辰至癸酉六箇季之間巡行上野下野武蔵三箇国勧得若干金亮覚
続眠師之志亦告国中奉当社之人謀成所願家々歓喜各捨資材新堅礎石再建本殿慶讃落成希依此功徳
八幡宮本社並地形礎石石階建立
当社神霊威光倍増
今輪聖皇宝祚遠長
大樹幕下御武運長久
哀愍衆生者
我等今敬禮
檀信各家息災延命家門繁昌五穀豊穣乃至百姓安穏快楽長

(裏)　(表)

総高1,391㎜、肩高1,3770㎜、上巾248㎜、下巾236㎜、厚12㎜
**本殿**　宝暦７年(1757)　棟札
(『新編高崎市史　資料編14社寺』より)

奉寄進
地形礎石石垣
石階一式
施主
上豊岡村
飯野善治郎佳久
寶暦七丑歳
二月吉日

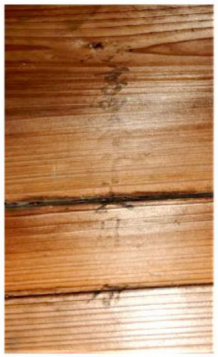
**本殿**　宝暦７年(1757)　亀腹刻銘

當國一ノ宮上ノ町
檜皮大工棟梁　藤原朝臣家次門人　工藤宮内
新堂奉葺
御本地堂
享和元年
辛酉八月大吉祥日
葺師　信州桑本城下　斉藤忠江衛
葺師　同京都皇城　藤本嘉兵衛

総高323㎜、上巾267㎜、下巾269㎜、厚27㎜
**天満宮**　享和元年(1801)　銘札墨書

安永四
乙未十二月吉日
奉寄進
高崎城内
飯野善治郎源佳久

**地主稲荷神社**　安永４年(1775)　亀腹刻銘



延享四□□□六月□□

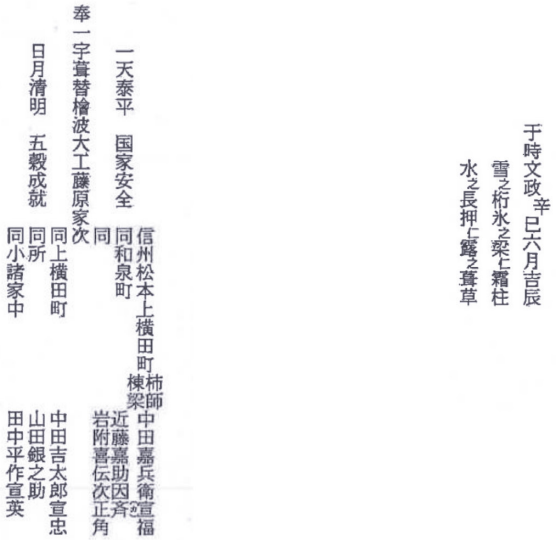
**日枝神社**　延享４年(1747)　床下墨書

## 神社56　榛名神社－1

総高1,664㎜、背高1,629㎜、上巾315㎜、下巾250㎜、厚19㎜、材質：檜

**本殿・幣殿・拝殿**　文化３年(1806)　棟札

（『国指定説明書』より翻刻写し）




総高1,670㎜、巾320㎜、厚19㎜、材質：檜

**本殿・幣殿・拝殿**　文政４年(1821)　棟札

（『国指定説明書』より翻刻写し）

## 神社56　榛名神社－2

大棟梁
當國富岡村原山
清水和泉正
藤原兌賢

脇棟梁
原山村清水八市重吉
下柴村小沢熊太郎

雕工本庄宿
武政常三郎
大羽免熊谷宿

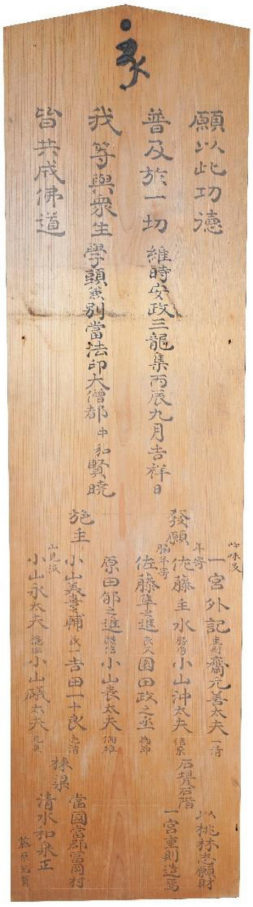
彫工小琳斉

屋根師　當所
小山巳之吉
高崎檜皮屋亀吉

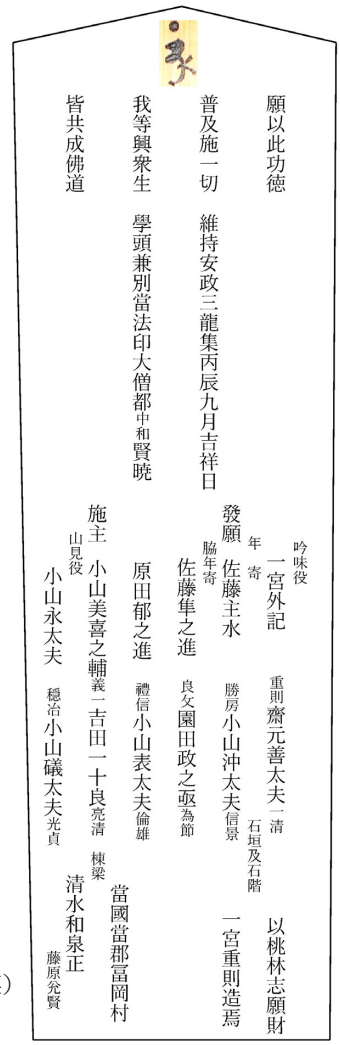
安政三丙辰歲
九月日

**双龍門**　安政３年(1856)　箱棟墨書
（公益財団法人文化財建造物保存技術協会写真提供）

（表）



願以此功德
普及於一切　維時安政三龍集丙辰九月吉祥日
我等與衆生　學頭兼別當法印大僧都中和賢暁
皆共成佛道



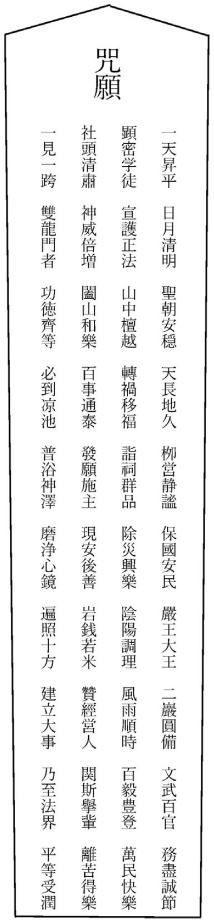
願以此功德
普及施一切　維持安政三龍集丙辰九月吉祥日
我等與衆生　學頭兼別當法印大僧都中和賢暁
皆共成佛道

吟味役
一宮外記　重則齋元善太夫一清
年寄　佐藤主水　石垣及石階　以桃林志願財
發願　佐藤隼之進　勝房小山沖太夫信景　一宮重則造焉
脇年寄　良久園田政之亟為節
施主　原田郁之進　禮信小山表太夫倫雄
小山美喜之輔義一吉田一十良亮清　棟梁　當國當郡富岡村
山見役　小山永太夫　穩治小山礒太夫光貞　清水和泉正
藤原兌賢

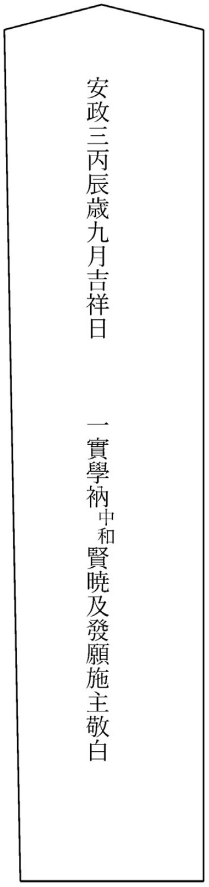
（裏）

総高1,302㎜、背高1,272㎜、上巾346㎜、下巾346㎜、厚10㎜
**双龍門**　安政３年(1856)　棟札

## 神社56　榛名神社－3




（表）



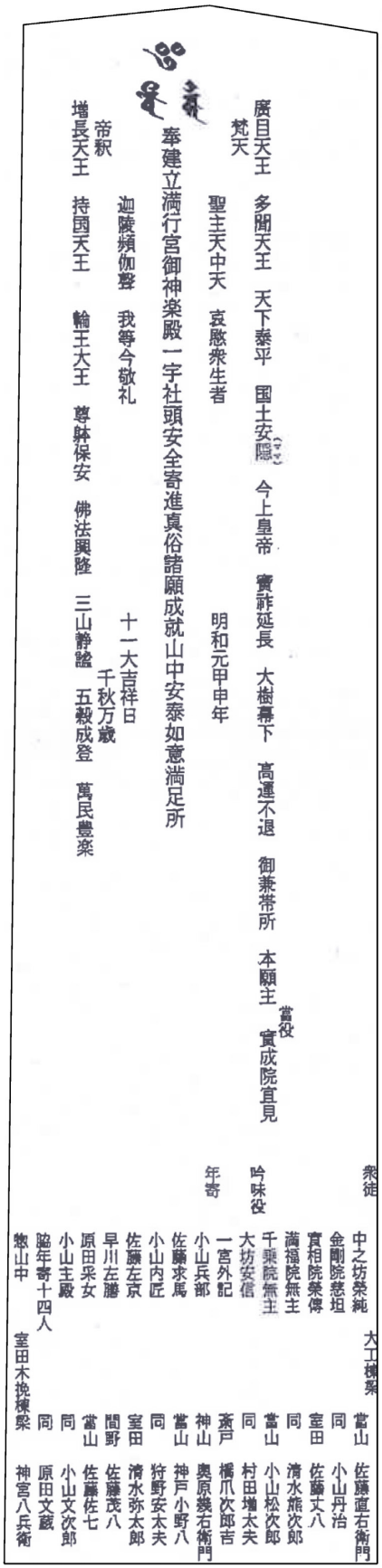

（裏）

総高1,300㎜、背高1,270㎜、上巾348㎜、下巾345㎜、厚13㎜

**双龍門**　安政３年(1856)　棟札

## 神社56　榛名神社－4

（表）




（裏）

廣目天王　多聞天王　天下泰平　国土安隠　今上皇帝　寶祚延長　大樹幕下　高運不退　御兼帯所　本願主　當役
梵天　聖主天中天　哀愍衆生者　明和元甲申年　實成院宜見
奉建立満行宮御神樂殿一宇社頭安全寄進眞俗諸願成就山中安泰如意満足所
迦陵頻伽聲　我等今敬礼　十一大吉祥日　千秋万歳
帝釈　増長天王　持国天王　輪王大王　尊躰保安　佛法興隆　三山静謐　五穀成登　萬民豊樂

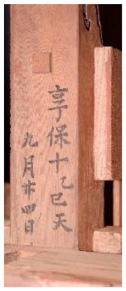
吟味役
年寄
一宮外記
小山兵部
佐藤求馬
小山内匠
佐藤左京
早川左膳
原田采女
小山主殿
脇年寄十四人
惣山中

衆徒
中之坊榮純
金剛院慈垣
實相院榮傳
滿福院無主
千乗院無主
大坊安信

大工棟梁
當山　佐藤直右衛門
同　小山丹治
室田　佐藤丈八
同　清水熊次郎
當山　小山松次郎
同　村田増太夫
斎戸　橋爪次郎吉
神山　奥原幾右衛門
當山　神戸小野八
同　狩野安太夫
室田　清水弥太郎
間野　佐藤茂八
當山　佐藤佐七
同　小山文次郎
同　原田文蔵
室田木挽棟梁　神宮八兵衛

総高1,971㎜、背高1,954㎜、上巾315㎜、下巾293㎜、厚25㎜、材質：檜
**神楽殿**　明和元年(1764)　棟札
（『国指定説明書』より翻刻写し）

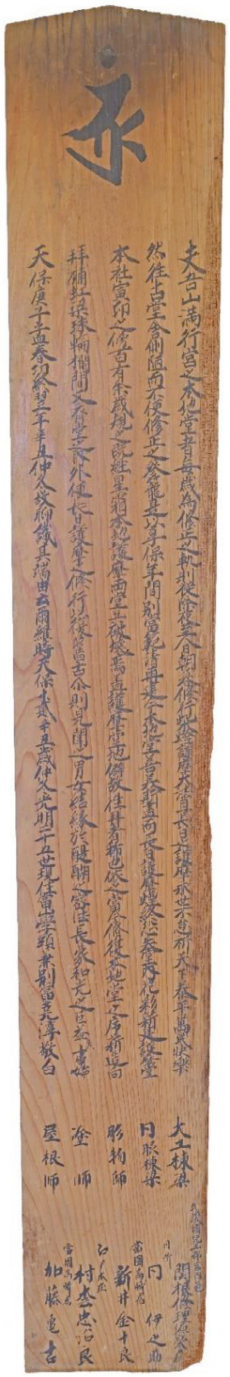
## 神社56　榛名神社－5




享保十乙巳天
九月廿四日

享保十乙巳天
九月吉祥日

**国租社**　享保10年(1715)　棟札、部材彫刻
（公益財団法人文化財建造物保存技術協会写真提供）



（表）

聖主天中天
迦陵頻伽聲
哀愍衆生
我等今敬禮
天下泰平風雨順時　天保十貳辛丑歲十一月吉祥日
奉脩復御本地堂一宇令法久住神威倍增彼
怨親平等抜苦與樂　光明貳十五世現住學頭兼別當堯淳

（裏）

夫吾山満行宮之本地堂者毎歳為修正之軌則従除夜至八日朝暮修行柴燈護摩大法且長是護摩永世不怠祈天下泰平萬民快楽
然往古堂舎側陋而不便修正之參籠是以享保年間別当範清再建今本地堂善美斯盡而長日護摩煙終恐失堂内花彩新建護摩堂
本社寅卯之傍百有余歳規之既経星霜本地護摩両堂共破壊焉蓋護摩堂地僻故往拝者稀也依之當今修復本地堂之序新造向
拝補虹梁珠輪欄間又斎堂之内外便長日護摩之修行以復舊古爾則見聞之男女結縁於醍醐之密法長蒙和光之巨益矣事始
天保庚子孟春功終翌年辛丑仲冬故聊識其端由云爾維時天保十貳辛丑仲冬光明二十五世現住當山学頭兼別当堯淳敬白

大工棟梁　武蔵国児玉郡宮内邑
同脇棟梁　同所
彫物師　當国高崎宿
塗師　江戸本庄
屋根師　當国高崎宿

関根修理源栄房
同　伊之助
新井金十良
村松忠治良
加藤亀吉

総高1,392㎜、背高1,376㎜、上巾240㎜、下巾212㎜、厚11㎜、材質：檜
**国租社**　天保12年(1841)　棟札
（『国指定説明書』より翻刻写し）

## 神社57　郷見神社

多聞天　聖衆天中天　迦陵頻伽聲　大行支文殊菩薩　持國天
奉再建諏訪大明神御宮一宇安政七庚申歳三月吉祥日
廣目天　哀愍衆生者　我等今敬禮　小行支普賢菩薩　増長天

（表）

大工両棟梁
當國村　清水和泉正藤原充賢
當　村　山田隼人正藤原忠賢
□□檜田屋亀吉
□□小山義之助
□□清水折□
□□渡邉□□
同　永井嘉蔵
同　高橋平吉
同　清水□□
□□□□
□□□□
別當金剛山遍照院亮満代
當村脇棟梁　山田宅次良藤原忠為
武州熊谷彫師　小林源七郎
山田□□□
山田□□□□□
山崎熊之助
□□□□
小澤□太□
□□
清水國吉
武州箱田
原口長之助
清水□□
□□□
□千吉
□□
氏　富澤勘平
子　富沢勘十郎
富沢喜善次
世　忰田市左衛門
話　忰田佑次右衛門
富沢市郎右衛門
人　富沢善吉
清水茂兵衛
富澤紋右衛門
名主　富澤又右衛門
組頭　忰田半左衛門

（裏）

総高900㎜、上巾250㎜、下巾336㎜、厚20㎜、材質：杉
**本殿**　安政７年(1860)　棟札

## 神社59　石上神社

石上神社　再建上棟記

越後國古志郡長岡驛　同國同驛
棟梁森與市左衛門高世　脇棟梁　安達甚蔵
當國群馬郡上三ノ倉村　同世話人鈴木熊吉　屋根職　宮嶋富蔵
絵圖引棟梁松田権次郎　同弟子貳人　村井庄蔵　信濃國高井郡
川上辰五郎　石工小布施村　柿嶋真吉

木挽

土屋新十郎　當國雄氷郡
角貝治三郎　水沼村之内
上野勘七　家相吉
三輪榮三郎
小川四平　木挽四人寄附
小池市太郎　嶋崎定吉
後藤半四郎　同所　寄付壱人ゝ
野口三郎次　土屋与茂吉
同　庄平　土屋藤造
中野寅吉　土屋亨之助
同　七蔵　飯嶋園蔵
内堀角太郎　同　兼次郎
同　傳五郎

當村氏子先山仙方　先山人負　佐藤庄内
頭取野口金平　佐藤重五郎　野口音次郎
下村文太郎　上野清吉　嘉辺五郎平
材木并石出人員数　同　甚三郎　下村吾七
惣氏子千五百拾人　下村甚平　同　谷蔵

即位紀元二千五百三十五明治八乙亥年
冬十二月二十二吉祥日　建立之

（表）　（裏）

総高820㎜、上巾238㎜、下巾240㎜

**本殿**　明治８年(1875)　上棟棟札

石上大神再建上棟

紀元二千五百三十六明治九丙子年

三月吉祥日祝賀

村吏発願　上野忠平
土屋金十郎
上野源吾
同　善平

祠掌　朝香山井連

発願世話方

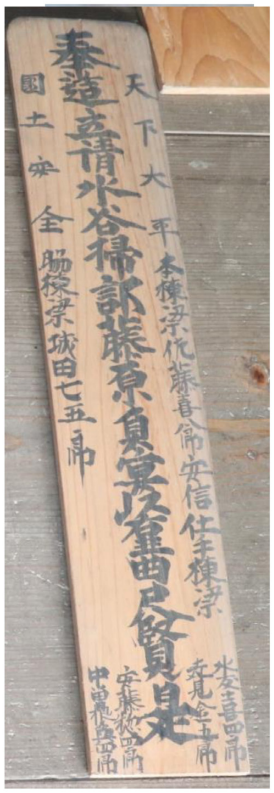
土屋新十郎　佐藤重五郎　野口吉平
同　五平次　同　金平
同代次郎　同　三郎次
追川源太郎　野口植三郎
同善衛　追川忠三郎
同長太郎　上野権次郎
同永井丈吉
同市次郎　戸塚彦三
同朝香正太郎
同下村六郎
同文太郎
上野利惣□
同長吉

紀元二千五百三十六年
明治九丙子春三月八日上棟

（表）　総高780㎜、上巾235㎜、下巾240㎜　（裏）

**本殿**　明治９年(1876)　棟札(工匠)

## 神社62　椿名神社－1



天下泰平　本棟梁佐藤喜八朗安信
奉造立清水谷掃部藤原真宴以□曲尺賢是　水友喜四郎　赤見金五郎　安藤惣四郎　中曽根與四郎
國土安全　脇棟梁城田七五郎

（表）

武州村金屋村屋根統領倉林源七仕手　高橋彦右衛門　東上州長岡村住
明和三歳戌霜月良辰棟梁當国室田人
上原小太良　彩色屋　平兵衛
權田　熊久保村　矢野五郎八　信州　小右衛門　當国松井田
長井村　杣山取統領　萩原万太郎　石工　高遠　源之助　錺屋　半八郎

（裏）

総高847㎜、上巾170㎜、下巾145㎜、厚10㎜、材質：檜
本殿　明和３年(1766)　棟札

天下泰平　願主名主佐藤勘兵衛　中嶋三左衛門　丸山唯七　佐藤庄左衛門　武藤儀右衛門
奉造立正一位満行宮大権現守護大願成就別當正福院
國土安全　名主池田友次郎　塚越十兵衛　丸山十郎兵衛　池田幸八　佐藤庄右衛門

（表）

明和三歳
丙戌霜月吉祥日
上野國群馬郡權田村惣氏子
白　敬

（裏）

総高847㎜、上巾173㎜、下巾147㎜、厚12㎜、材質：檜
本殿　明和３年(1766)　棟札

## 神社62　椿名神社－2

天下泰平　世話人佐藤勘兵衛中嶋喜代助池田九兵衛　組頭
奉拝殿造立正一位満行大権現宮守護郷中氏子安全別當正福院　長兵衛
國土安全　名主池田長左衛門同佐藤藤七中嶋三左衛門　同　七弥　同　米八

（表）

嘉永三年
庚戌正月吉祥日　發願主權田山七世了觀敬白

（裏）

総高847㎜、上巾173㎜、下巾147㎜、厚12㎜、材質：檜
拝殿　嘉永３年(1850)　棟札

岡象女神
奉上棟正一位満行大権現拝殿造立大光尊神擁護社内安寧　棟梁　藤井繁蔵　脇棟梁　丸山住連蔵
五帝龍神　牧野時五郎　加部弁治郎　市川冨吉

（表）

于時
嘉永三歳
庚戌正月吉良辰

（裏）

総高847㎜、上巾170㎜、下巾146㎜、厚12㎜、材質：檜
拝殿　嘉永３年(1850)　棟札

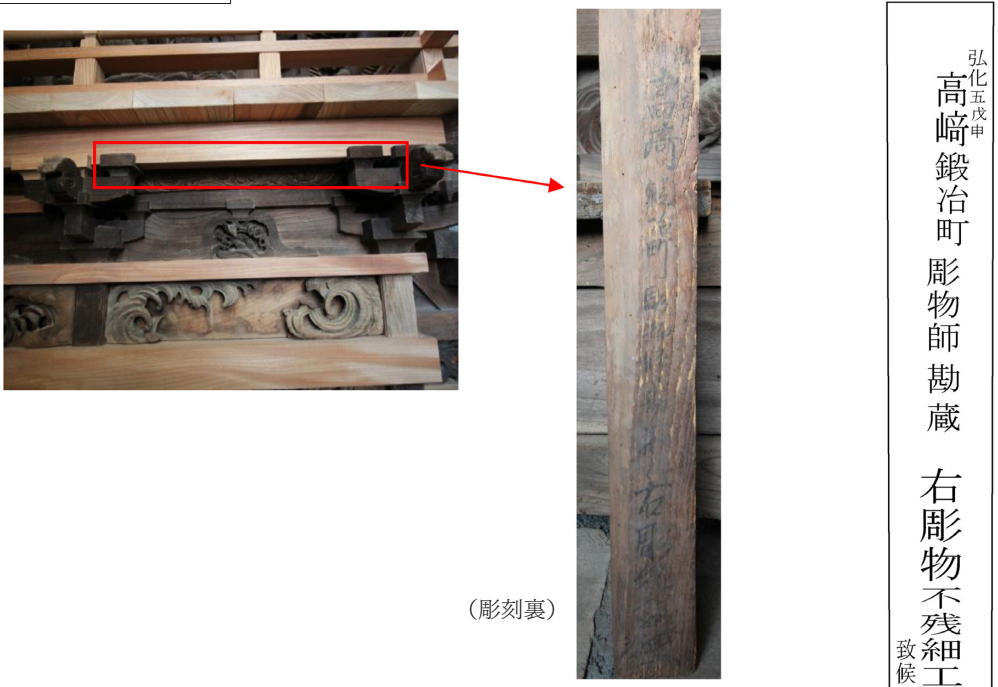
## 神社63　(生原)北野神社

（表）　（裏）

総高1,100㎜、肩高1,060㎜、上巾290㎜、下巾230㎜、厚４㎜、材質：杉

本殿　文久元年(1861)　棟札

## 神社68　(吉井)八幡宮




（彫刻裏）

総高685㎜、巾75㎜、厚80㎜、材質：欅

本殿　弘化５年(1848)　床下彫刻裏面墨書

## 神社69　辛科神社

（表）

封　封

大壇那藤原朝臣倉橋内通之助久盛

奉造立正位辛科太神社穢比土安穏天人常充満

寛文元辛丑天　霜月吉祥日

奉行中河中兵衛　封
大工渡邊市良兵衛

神主　神保兵庫　封

（裏）

総高755㎜、肩高755㎜、上巾180㎜、下巾180㎜、厚８㎜、材質：檜

**本殿**　寛文元年(1661)　棟札

（表）

一郡惣社

奉建立隨臣門

寛政九戊午年十一月吉日

棟梁　神保宗右衛門

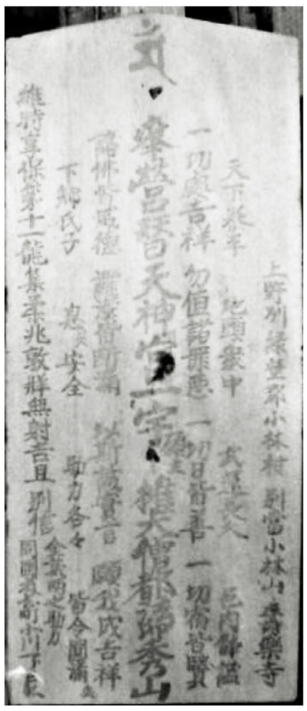
世話人　神保和泉守
榊原河内□
神保瀬兵衛
木村主水
神保清蔵
関口善兵衛

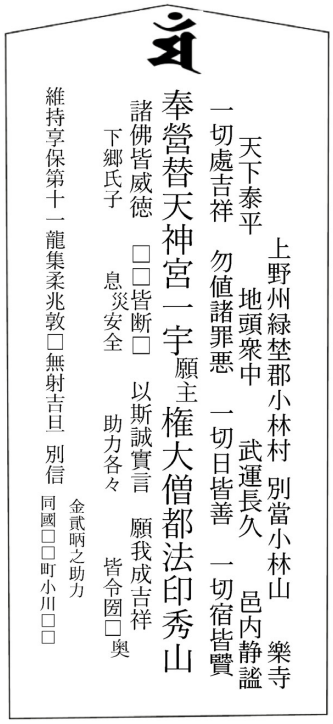
（裏）

総高755㎜、肩高755㎜、上巾180㎜、下巾180㎜、厚８㎜、材質：檜

**隨神門**　寛政９年(1797)　棟札

## 神社71　大塔寺天満宮






（表）

**本殿**　享保11年(1726)　棟札

（『藤岡市報告書』より）

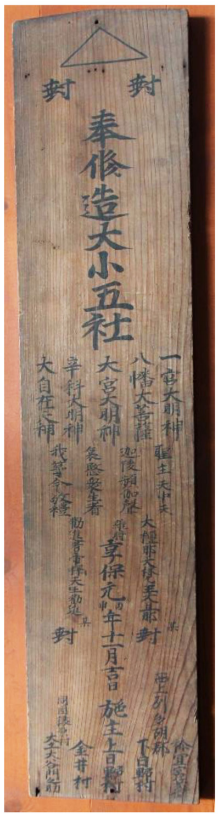
## 神社72　(秋葉)諏訪神社

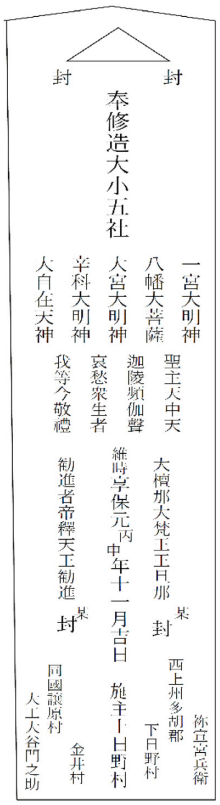
安永九歳
庚子
霜月
吉日

當所
岸
幸

**拝殿**　安永９年(1780)　向拝礎石

## 神社73　地守神社






（表）

（裏）

総高1,060㎜、肩高1,055㎜、上巾184㎜、下巾184㎜、厚15㎜、材質：欅

**大宮大神宮**　享保元年(1716)　棟札

## 神社77　一之宮貫前神社－1

卍
奉造立一宮抜鉾大明神御寶殿所
聖主天中天　願主征夷大将軍従一位左大臣源家光公敬白
迦陵頻伽聲
哀愍衆生者　御奉行　小幡孫一郎平朝臣直之
我等今敬禮　岡上甚右衛門尉藤原朝臣影親
寛永十二年乙亥霜月廿一日
御大工　鈴木近江守藤原朝臣長次
木原木工允藤原朝臣義久

（表）

権神主　一宮志摩守磯部氏貞
棟梁　鈴木庄三郎藤原朝臣安久
鈴木小十郎藤原朝臣
竹松平兵衛尉重長
細権丞之常
下奉行　関口志摩守吉行
梅沢十郎右門尉昌景
土屋吉左衛門尉景成
田口善兵衛尉正成
村上三右衛門尉景吉

（裏）

総高1,740㎜、肩高1,695㎜、上巾305㎜、下巾305㎜、厚さ34㎜、材質：檜

**本殿建立**　寛永12年(1635)　棟札

卍
奉再興一宮抜鉾大神御寶殿收
聖主天中天　願主　征夷大将軍内大臣正二位源綱吉公　敬白
迦陵頻伽聲
哀愍衆生者　御奉行　井上助之進藤原朝臣利盛
我等今敬礼　池田新兵衛尉源朝臣重富
元禄十一戊寅年九月七日

（表）

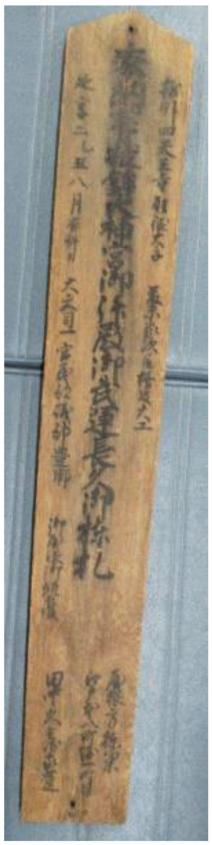
御被官　大石忠左衛門藤原朝臣高重
大宮司　一宮修理磯部氏明
棟梁清水徳右衛門正直

（裏）

総高928㎜、肩高908㎜、上巾182㎜、下巾170㎜、厚さ16㎜

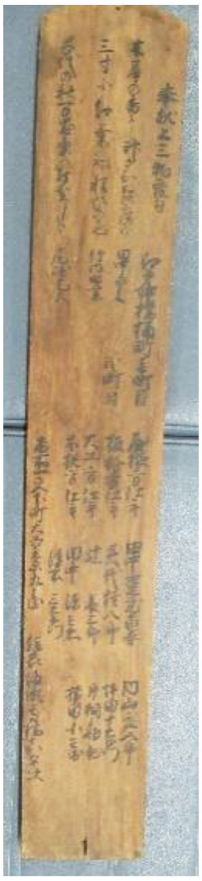
**本殿修理**　元禄11年(1698)　棟札

## 神社77　一之宮貫前神社－2



（表）

摂州四天王寺聖徳太子　藤原家次臣檜皮大工
奉納寶抜鉾大神宮御拝殿御武運長久御棟札
延享二乙丑八月吉祥日　大宮司一宮民部磯部豊郷　御屋根御修覆
屋根方棟梁
江戸本八丁堀一町目
田中久兵衛家豊



（裏）

奉献上三物發句　江戸中橋桶町壱町目　屋根方仕手　田中豊蔵家春　内山庄五郎
木犀の香に神さひぬ修覆哉　田中家春　弐町目　板枌方仕手　矢代権八郎　坪田十右衛門
三寸に紅葉や悦ひの色　竹内昭業　大工方仕手　辻長三郎　片桐勘助
千代の秋万歳楽の聲かしく　尾崎光久　木挽方仕手　田中源兵衛　横田小兵衛
後所三右衛門
当初一宮下町大工笠原久兵衛　信易海瀬高橋嘉平次

総高820㎜、肩高791㎜、上巾132㎜、下巾1105㎜、厚さ143㎜
**拝殿屋根替**　延享２年(1745)　棟札

## 神社78　横瀬八幡宮

寛永十二年亥ノ九月吉日
津国大田郡内郡山村住人　山中八兵衛
むかしより　たちたる門は　たかくなり
おがむ明神　あらたなりけり
かきおくも　かたみとなれや　ふでのあと
我はむさしの土となるらん

**楼門**　寛永12年(1635)　棟札
（『一之宮貫前神社社誌』より）

解読不可

（表）

角釘

洗浄・研磨されていて解読不可

（裏）

丁時貞享三丙寅年九月十五日
法印高存敬白。

総高549㎜、肩高537㎜、上巾120㎜、下巾96㎜
**本殿**　貞享３年(1686)　棟札

## 神社80　妙義神社－1

（表）　（裏）

総高1,170㎜、肩高1,138㎜、上巾257㎜、下巾248㎜、厚23㎜、材質：檜

**本殿・幣殿・拝殿**　宝暦６年(1756)　附指定棟札

（『妙義神社修理工事報告書』より翻刻のみ転載）

（表）　（裏面文字なし）

御造営諸方御用達
當國高井郡　永傳七水道町
當山大本工主計尚吉　棟梁
松本四郎　仕手四拾弐人
塩江野善四郎本由　大工仕手頭
同山本勘四郎義則　断
江戸彫師政成　物師　棟梁
安藤利助　仕手拾人
當山梅崎弐拾人　木次郎兵衛只雅　挽棟梁
小久保文治郎安氏　江戸塗師志久　棟梁
亀甲屋甚兵衛　仕手三拾弐人
萩原又四郎忠幸　江戸錺方棟梁金長
山本佐助　仕手拾弐人　大森長次郎盛行
大橋平三郎義包　江戸銅屋根錺　仕手拾五人　棟梁
中沢市之丞　江戸絵師　仕手拾人　燕州
高嶋五兵衛吉清　江戸箔押　仕手八
鳥羽孫七　信州松本柿屋根棟梁　仕手拾人　金次
下野佐野鋳師　丸山善太郎昭毎
當國村塗師　尻常右衛門吉房　綿　野
信州高遠石切棟梁　仕手伊藤伊右衛門則堅　絵具屋吉兵衛長榮
當山大工棟梁　畳屋八郎兵衛幸春
高崎畳太兵衛吉光
江戸車力頭　横田平三郎久長　鳶之者三拾人
江戸諸御銅物御用達　関岡五郎兵衛忠通
高崎取次御用達　金村半兵衛利輝
寳暦六丙子年十二月朔日

縦285㎜、横1,180㎜、厚25㎜、材質：檜

**本殿**　宝暦６年(1756)　附指定銘札

（『妙義神社修理工事報告書』より翻刻のみ転載）

## 神社80　妙義神社－2

宝暦六年　子八月
宝暦六□□
信濃国信州□□村石川□□□
□□□□□□

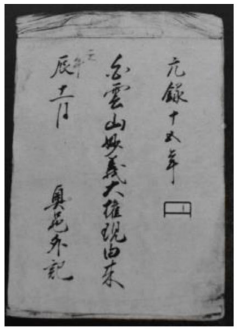
**唐門**　宝暦６年(1756)　屋根裏銅板裏面墨書裏面

西北隅柱金襴巻金具裏面墨書

信濃国信州小□□加沢村
関新□□
□□□□□

佐助
かん助
長吉
儀右衛門
御から門一まき
江戸深川錺屋藤二郎
御金物
平八
三郎衛門
惣衛門
傅兵衛
かん六
ほうれき七年

**唐門**　宝暦７年(1757)　西北隅柱金襴巻金具裏面墨書



一
妙義大権現御宮高田小次
郎殿御老母御建立弐間四面
茅咲(ママ)明歴二年申ノ十月三日
長清様御建立成就仕候
御宮廻山を切高サ八尺壱丈
二通り切石ニて石がき仕御宮
東向御内陳(ママ)弐間九尺石之間
弐間九尺御宮とち葺きゐ(カ)
らぎ拝殿弐間四面御拝
弐間に九尺色々ほりものさい
しき天井共に金柱十四本
力神門随神門廻廊神楽殿
弐間半五間太々神楽施主小屋

**波己曾社殿・随神門・袖廻廊**　明暦２年(1656)　白雲山妙義大権現由来
(『妙義神社修理工事報告書』より転載)

安永二年
癸巳
十二月立

**総門**　安永２年(1773)　小屋裏束墨書
(『妙義神社修理工事報告書』より転載)

奉納額持ち送り

同上裏面彫刻銘

山ノ神住
七十一翁
豊琳齋

総高450㎜、総巾600㎜、厚350㎜、材質：欅
奉納額持ち送り彫刻

## 神社80　妙義神社－3

（懸魚）

宝暦六丙
四月□日
南方
壱～□

（破風金物）

奉
寶暦六□□□□□
奥村□義陳入墨

**神楽拝観所**　宝暦６年(1756)　部材墨書
（解体工事資料より）

卍
奉改造妙義白雲山高顯院石塔寺
聖主天中天　安政三丙辰年
迦陵頻迦聲
現住無障金剛亮道
奉行　北條嘉藤治忠敬
山口大助將順
下奉行　西鴨正之進至盛
棟梁　安藤志摩藤原一親
脇棟梁　安藤三平藤原成美
村上喜三郎藤原道天
哀愍衆生者　我等今敬禮
九月二十八日

（表）

杣棟梁　金井利吉藤高
仕手頭取　齋藤芳五郎□□
柿師棟梁　吉澤吉右衛門□成
仕事師　上原資治郎義武
社役　惣中
町方

（裏）

総高1,024㎜、肩高1,006㎜、上巾288㎜、下巾266㎜、厚10.6㎜、材質：檜
**御殿・社務所**　安政３年(1856)　棟札
（『妙義神社修理工事報告書』より）

## 神社80　妙義神社－4

卍
奉改造妙義白雲山石塔寺高顯院
聖主天中天　安政三丙辰年
迦陵頻迦聲
現住無障金剛亮道
奉行　北條嘉藤治忠敬
山口大助將順
下奉行　西鴨正之進至盛
棟梁　安藤志摩藤原一親
脇棟梁　安藤三平藤原成美
村上喜三郎藤原道天
哀愍衆生者
九月二十八日　我等今敬禮

（表）

杣棟梁　金井利吉重高
仕手頭取　齋藤芳五郎□□
柿師棟梁　吉澤吉右衛門□成
仕事師　上原資治郎義武
社役　惣中
町方

（裏）

総高936㎜、肩高910㎜、上巾258㎜、下巾238㎜、厚12㎜、材質：檜

**御殿・社務所**　安政３年(1856)　棟札

## 神社82　高太神社

卍
奉修覆山王宮大願成就惣氏子繁昌祈所
天長地久
寛政五癸丑天　別當　眞福寺
修覆世話人　横尾長太夫
國土安全
九月十四日　大工　矢野市五郎　直砂孫八
佐藤助太郎
天台沙門道師戒静寅白
矢嶋喜兵衛　目六右衛門　上原左衛門　鳥之衛門　神木又左衛門　矢部久之助　佐藤三郎　米新照　真砂野又右衛門　天久右衛門　横井角之丞　青井左衛門　今井甚市郎　田四之郎

（表）

信心堅固
如意満足

信心堅固
如意満足

（裏）

総高860㎜、肩高855㎜、上巾173㎜、下巾169㎜、厚14㎜、材質：杉

**本殿**　寛政５年(1793)　棟札

## 神社85　(松井田)八幡宮

大行事帝釋天王小行事四大天王　當宿
奉造立聖徳太子堂
聖主天中天加陵頻伽肇哀哀愍衆生者我等今敬礼　工匠
久保田弥兵衛　小林李右衛門
関口仲右衛門　神部権兵衛
伊藤紋蔵　悴田宇吉
萩原源助　木挽小峯彦八
同　徳兵衛　山田喜右衛門
瀬間吉兵衛　安藤丈七

(表)

當郷工匠建立之懇志得於時勧奨諸人経営功記
伏願者以此功徳令郷内安穏諸人快楽匠繁昌給而耳
本尊像者數年在于當山千手観音堂而幸哉今入仏
供養記　上野國碓氷郡松井田驛
維特寛政十二星舎庚申正月二十有八日　龍本山不動密寺現住法印圓海誌焉

(裏)

総高835㎜、肩高780㎜、上巾150㎜、下巾150㎜、厚さ30㎜、材質：欅
**六角堂(太子堂)**　寛政12年(1800)　棟札

## 神社87　土生神社

天下泰平風雨順調
奉造立土生大明神
國土安全五穀成就
社守茂木長門正
願主惣氏子中

(表)

寛政四壬子四月二日

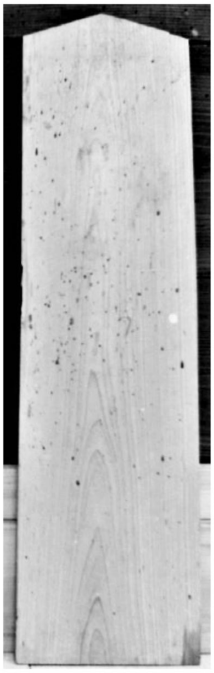
(裏)

総高855㎜、肩高810㎜、上巾170㎜、下巾150㎜、厚15㎜、材質：檜
**本殿**　寛政４年(1792)　棟札

## 神社91　檜沢神社

奉造立萱明神社頭天下太平國家豊饒所
諸天善神守護
社職
公藤伊勢守
社職
公藤出雲守
干時享保七壬寅天三月吉辰

（表）



（裏）

総高750㎜、肩高721㎜、上巾197㎜、下幅198㎜

**本殿**　享保７年(1722)　棟札

（『桧沢神社本殿建築調査報告書』南牧村教育委員会より転写）

## 神社98　須賀神社

奉
上棟天御中主命宮營永久
家船句々奴智命
手置帆負命
岡象女命
家船豊受姫命
八大龍王
大山津美命
當國巻郡四万村
棟梁　田村若狭正源喜之
脇棟梁
山田茂八壽久
田村照之遠喜信
蜂須賀初五郎
田村愛蔵
山口弟吉
宮崎七四郎
阿部拾五郎
山口平吾
浅見與三郎
群馬群新井村
同與市
柳町
仙棟梁
下之町
彫工棟梁
河原久登
熊岡
花輪村
同
青柳藤七
同音蔵
石黒仁作
坂口榮吉
関安太郎義正
小川專蔵長義
小林源太郎
石原甲斐之輔知信
金子文五郎宜信
石原増太郎貞信
馬喰町
地形方棟梁
材木町
石工棟梁
林権之丞
登内文蔵親蔵
種次郎
常蔵
榮吉
千代吉

（表）

（裏）

嘉永七甲寅年
十一月廿六日
神主
宮澤隼人頭橋正治

総高1,106㎜、肩高1,085㎜、上巾205㎜、下幅179㎜

**本殿**　嘉永７年(1854)　棟札

（『沼田市史　別巻２』より翻刻転写）

## 神社99　(戸鹿野)八幡宮

(表)　(裏)

総高910㎜、肩高890㎜、上巾207㎜、下巾180㎜

**本殿**　明暦３年(1657)　棟札

## 神社102　(平川)日光神社

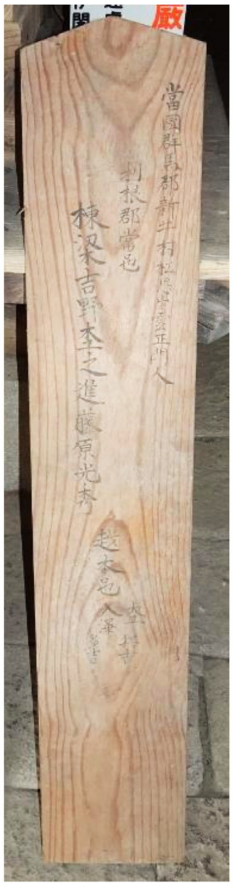
(表)　(裏)

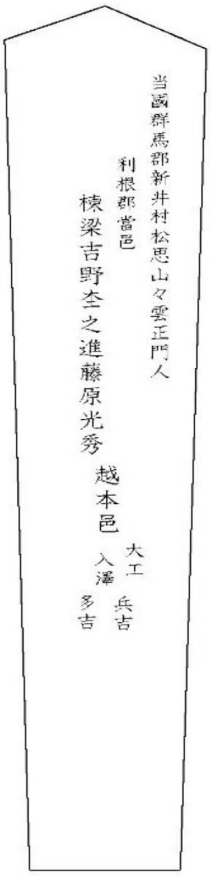
総高1,095㎜、肩高1,065㎜、上巾290㎜、下巾290㎜

**本殿**　天保13年(1842)　棟札

## 神社108　(土出)諏訪神社

（表）

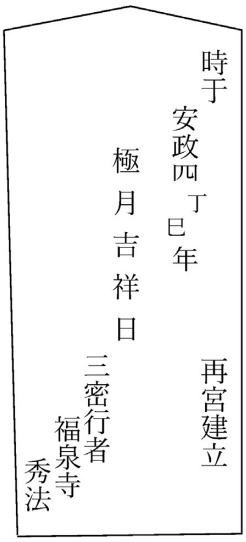





（裏）

**本殿**　文化元年(1804)　棟札

## 神社109　(針山)稲荷神社




（表）

**本殿**　安政４年(1857)　棟札
裏面記載なし

## 神社111　(谷地)諏訪神社

天御社
尊佛閼常家
國御柱
謹請
彦挟知理命
手置般尊命
諏訪大明神上棟三元加持　今上皇帝武運永昌國土安應
同國吾妻郡小泉村住　棟梁　白石相模藤原舜應
氏子惣當
萬民伊榮

（表）

享和元年
丙　七月

當前
菅野連蔵
星野助八
柚
小林房左衛門

小工
同郡原町
同郡小仁田村
同郡栗沢村
川場
小仁田村
同

小工
片桐梅治郎
白石岩治郎
青木音三郎
諸田練治郎
町田長治朗
武井軍喜
張太郎

（裏）

総高720㎜、肩高705㎜、上巾120㎜、下巾120㎜、厚６㎜、材質：杉

**本殿**　享和元年(1801)　棟札

## 神社112　(川額)八幡宮

寶暦九巳卯年十二月吉日
奉祀再建八幡大神
願主　竹内六右衛門重長
社守　竹内政右衛門清安
世話　村中惣氏子
大工金井村　岸織右包光
小工同村　岸小四郎元春
小工阿久津村　板倉四郎左衛門

（表）

寶暦九巳卯年十二月吉日
奉祈再建八幡大神
願主　竹内六右衛門重長
社守　竹内政右衛門清安
世話　村中惣氏子
大工金井村　岸織右包光
小工同村　岸小四郎元春
小工阿久津村　板倉四郎左衛門

世話本
唐澤喜兵衛
竹内惣兵衛
唐澤勘右衛門
竹内安左衛門

（裏）

総高520㎜、上巾120㎜、下巾120㎜、厚９㎜、材質：檜

**本殿**　宝暦９年(1759)　棟札

（後世に書き写されたもの）

## 神社113　千賀戸神社

（表）

天下泰平　川越御城主
橡久保村　名主　儀助
年寄
別當
自性院
慈延代
奉造立近戸宮壹宇社内繁栄氏子繁昌祈所
風雨順時　御武運長久
組頭　惣助
仲右衛門
惣邑氏子中

（裏）

旨明和四戊子歳
十二月大吉日
別當
現住
御宝山自性院慈延代
名主　儀助
年寄中

総高810㎜、巾160㎜、厚６㎜、材質：杉
本殿　明和４年(1767)　棟札

## 神社114　(貝野瀬)武尊神社

（表）

寛延三庚午暦
奉造立武尊神社宮殿
本體鹿遊那久遠成正覺
為度衆生故示現大明神
總氏子繁榮祈所
宮司桑門
武尊山華厳寺良覺
孟穐吉祥日
工匠
當國群馬郡有間村齊藤氏知記
同氏寡義

（裏）

當把群馬郡有間邑
斉藤　吉次郎
同
片貝木工左衛門
同右原村
伏見　孫　助
同八木原村
儘田太郎左衛門

総高846㎜、肩高827㎜、上巾240㎜、下巾240㎜、厚６㎜、材質：檜
本殿　寛延３年(1750)　棟札

## 神社115　小高神社

奉上棟天御中主神宮營永久吉祥

水波能女神　利根郡沼田町住
棟梁　深津利芳

五帝龍神

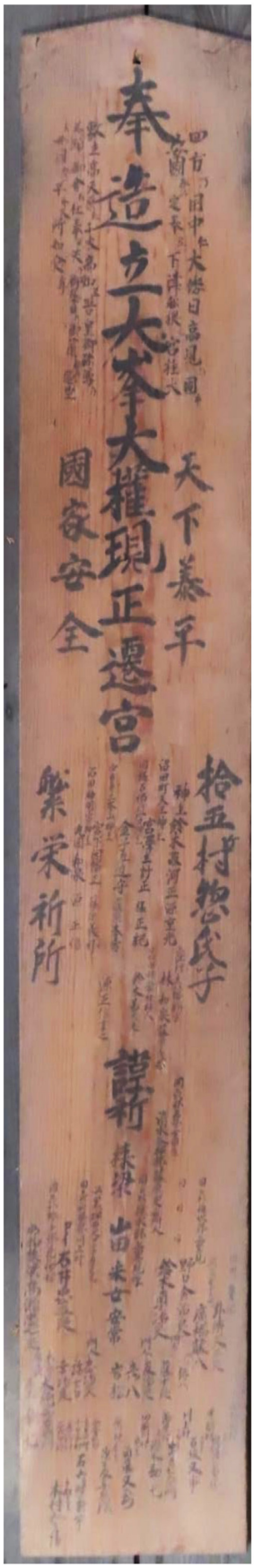
（表）

明治十六年十　一月三十日

（裏）

総高921㎜、上巾160㎜、下巾160㎜、厚９㎜、材質：松
**本殿**　明治16年(1883)　棟札

## 神社119　大峯神社



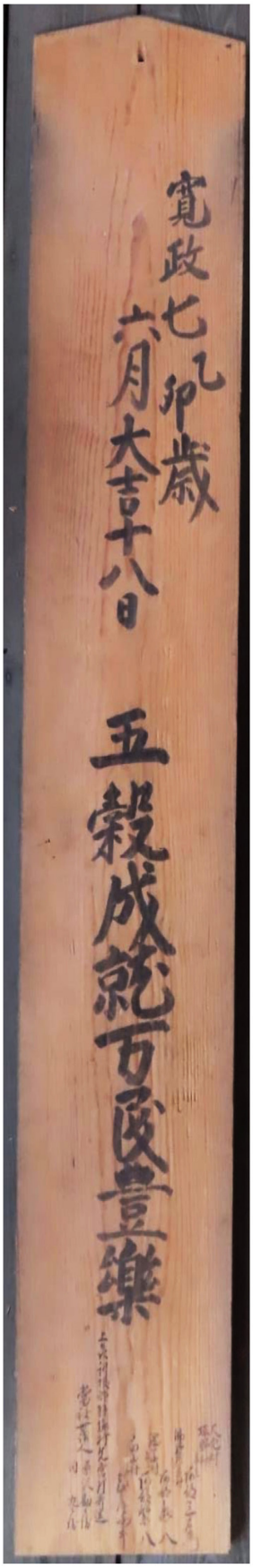

四方乃国中仁大倭日高見乃國乎
安國登定奉弖下津舩根仁宮柱大
奉造立大峯大権現正遷宮
敷立高天原仁千木高知弖吾皇御孫尊乃
美頭乃御舍仁仕奉天天乃御蔭日乃御蔭登隠坐
天安國登平介久所知食年
天下泰平
國家安全
繁栄祈所

拾五ヶ村惣氏子
神主　鈴木駿河正　源重光
沼田町天主神主　宮澤主計正　橘正紀
上津村主八幡祠官　林和泉　藤原義忠
同榛名満行宮神主　金子左近守　藤原春壽
小仁田村當社神人　鈴木甚大夫　源正信重之
宇曽井三峯山神主　宮下因幡正　藤原義邦
沼田神明宮神主　丸岡和泉　源正信

謹祈棟梁　山田采女安常

同州群馬郡室田住　清水谷掃部藤原定安門人
同州豊岡　越後出雲崎　外所久五良
同州碓水郡上里見住　廣橋藤八　門人　傳八
同　同　野口金治良　門人　藤十良
同　同　鈴木真治良　門人　友治良
同州碓水郡上里見住　彦八
以黒坪曲尺コレヲカタメル　岩松
同州利根郡川上村　門人　忠治良
同州勢多郡花輪村　アイ　石井忠五良　弥吉
彫物棟梁　高瀬忠七良　幸治良
木曽　木挽　弁右衛門
信州　石工　幸七

小仁田村　名主　田村治良兵衛
寺間村　名主　石坂又市
川上村　名主　中山峯七左衛門
湯原村　名主　鈴木勘七
阿能川村　名主　須藤又左衛門
谷川村　名主　次藤与惣次
奈女沢村　高日向村　小日向村　右五ヶ村兼帯
粟沢村　吉本村　木村五兵衛




寛政七乙卯歳
六月大吉十八日
五穀成就万民豊樂

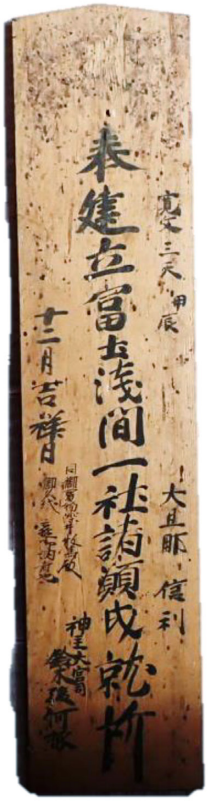
大穴村　坪野村　名主　阿部三右衛門
湯野橋當村　名主　阿部喜八
綱子村　名主　阿部繁八
向山村　名主　藤房与市
上州利根郡羽場村先宮神寄進
當社世話人　原沢勘兵衛
同　九兵衛

（表）　（裏）

総高1,605㎜、肩高1,580㎜、上巾263㎜、下巾263㎜、厚12㎜、材質：杉

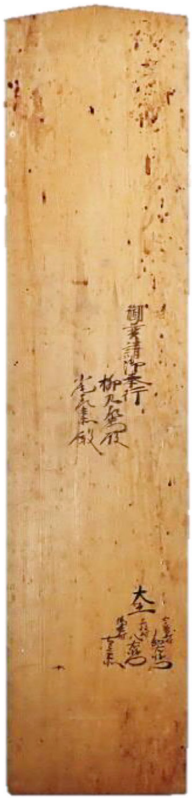
**本殿**　寛政７年(1795)　棟札

## 神社120　(谷川)冨士浅間神社



寛文三天甲辰　大且那　信利
奉建立冨士浅間一社諸願成就所
十二月吉祥日　同御寶物深井数馬殿　御名代　口御口者也　神主大宮司　鈴木駿河拯

（表）



御普請御奉行
一柳九左衛門殿
小尾彦兵衛殿
大工
宇井村　楚右衛門
上牧村　八右衛門
湯原村　七朗兵衛

（裏）

総高790㎜、肩高780㎜、上巾163㎜、下巾148㎜、厚10㎜、材質：檜
**本殿**　寛文３年(1663)　棟札

## 神社121　(小日向)菅原神社－１

聖主天中天　迦陵頻伽聲
哀愍衆生者　我等今敬禮
奉新建立天満宮八幡宮一宇諸願成就所
右當社者往昔宝暦九己卯冬至而奉再興所又々此度木村氏志願起氏子并十方心信善男善女爲諸願満豆奉新建立者也故天丁静鑑國家豊饒信總氏子兒孫繁昌也云々
當國利根郡小日向村　宮守　木村清左衛門
施主　總村中
時享和元年辛酉十月吉祥良晨

（表）

（裏）

**本殿**　享和元年(1801)　棟札１

## 神社121　(小日向)菅原神社－2

當社棟梁大工

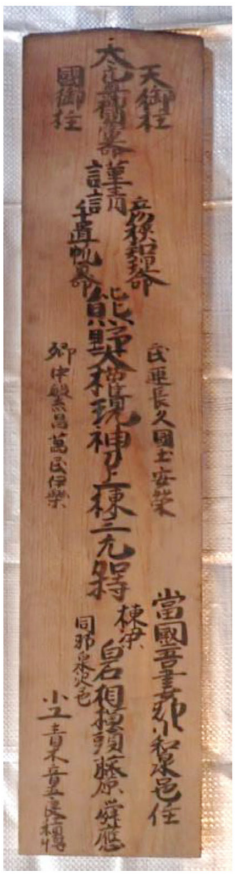
當國利根郡小日向村　宮守　木村　世話人　木村郡藏
藤原孫　木村甚五郎助金久　同苗　笛木清右衛門
同　同國同郡　門人　笛木庄左衛門
同　同　上牧村　鈴木幸吉豊晴
同　小日向村　藤原村　林長治良信安
同　笛木三左衛門　木村求馬

(表)

(裏)

本殿　享和元年(1801)　棟札２

## 神社123　(須川)熊野神社－1



天御柱
國御柱
太元尊神圖常立命
謹請
彦挟知理命　氏連長久國土安榮
手置帆負命　熊野大權現神刀上棟三元加持
郷中繁昌萬民保樂
當國吾妻郡小和泉邑住
棟梁　白石相模頭藤原舞應
同郡泉沢邑
小工青木音五良積博

(表)

(裏)

寛政拾二年
庚申拾月拾五日

吾妻郡小泉村　白石岩治郎居博
同　吉野文治郎国博
同郡川戸村　小池仙治郎積苗
同郡小泉村　白石助治郎積博
同郡尾高村　荒木栄藏
□□□代郡六日村　佐藤幸八
□□三□郡吉川村補　遠藤今之助
吾妻郡沢田村　綿貫照藏
同郡原人町　片桐梅左衛門
信州伊奈郡福与村　原田象藏
吾妻郡小泉村　諸田長左衛門
同　町田要八
同　同連藏

総高985㎜、巾180㎜、厚13㎜、材質：檜
本殿　寛政12年(1800)　棟札

## 神社123　(須川)熊野神社－2

（表）

證誠殿　本地阿彌陀如来　文應三癸亥年　御除地朱
結尊　本地千手観音　奉勧請熊野三所大權現　宮守村中
早玉尊　本地藥師如来　九月吉祥良辰
正奉幣主駒形山太宝院宝藏寺
法印一如代

（裏）

文應元庚申年九月十五日　天文四乙未年九月十五日　元禄年中
紀州牟漏郡備里村　大和国葛上郡御所　當所大工
第一建立　大工吉田和泉頭宗賢　第二建立　大工鈴木出羽頭安通　修覆岡田鶴　第三建立同国同郡小泉村　寛政九巳十一月初　當所世話人
同国同郡同所　同国同郡同所　大門綱　同国同郡小泉村　寛政十二庚申年十月　梅沢弥市右衛門　森下佐左衛門
小工同苗常八以真　小工山崎淀七義和　利　大工白石相模頭舜應　十五日成就遷宮　木村弥左衛門　小池万右衛門
同国同郡泉村　阿部勘左衛門　深澤源七　小池小平次
小工乙五良積博　阿部重右衛門　梅沢平八
高橋助左衛門　笛木幸四朗

総高985㎜、巾180㎜、厚13㎜、材質：檜

**本殿**　寛政12年(1800)　棟札

## 神社125　(羽場)日枝神社－1

下座竪欄間１

下座竪欄間２

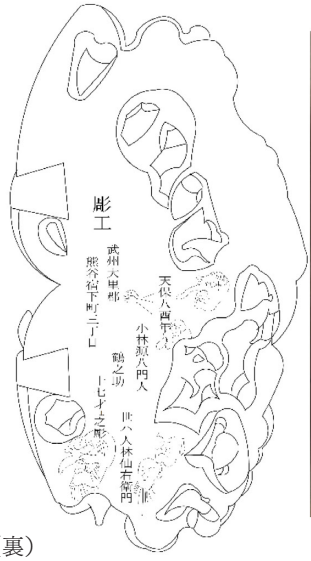
総高1,060㎜、巾362㎜、厚40㎜　　総高940㎜、巾510㎜、厚100㎜

**下座**　天保８年(1837)　竪欄間墨書

## 神社125　(羽場)日枝神社－2

(表)

兎毛通１

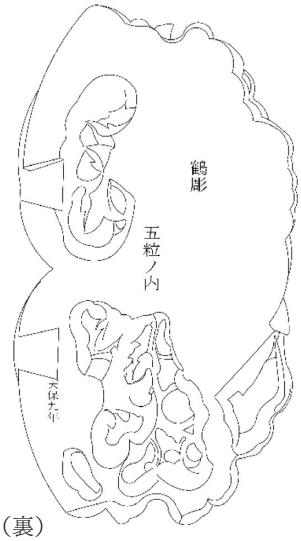



(裏)

総高1,060㎜、巾362㎜、厚40㎜

(表)

兎毛通２

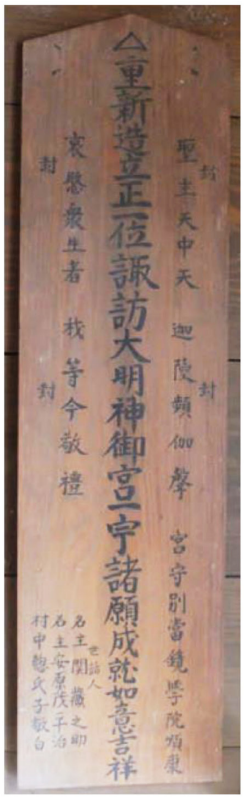



(裏)

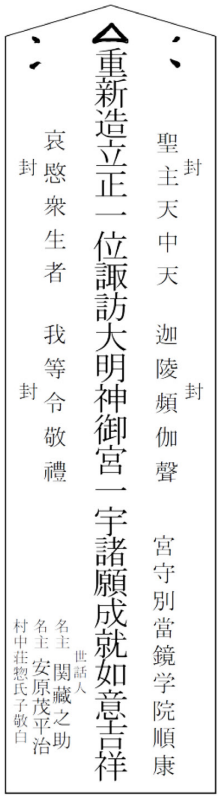
総高940㎜、巾510㎜、厚100㎜

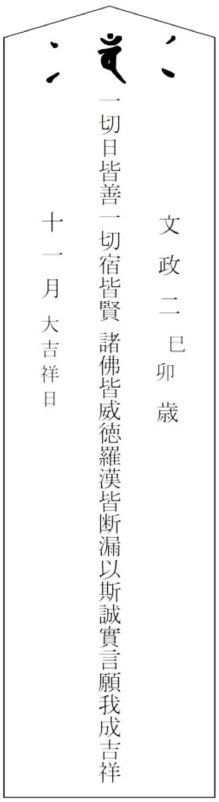
**下座**　天保９年(1838)　兎毛通墨書

## 神社127　赤岩神社




(表)

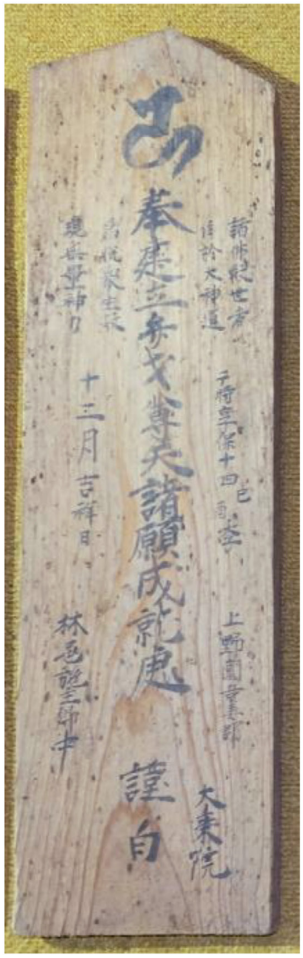





(裏)

**本殿**　文政２年(1819)　棟札

## 神社128　王城山神社



（表）

諸倘釈世□
唯詮大神道　于時享保十四巳酉季　上野國吾妻郡　大乗院
奉建立弁才尊天諸願成就處　謹白
□□衆生敬
現□量神力　十二月吉祥日　林邑施主御中

本殿　享保14年(1729)　棟札

## 神社131　(狩宿)諏訪神社

（表）

西上野國我妻郡狩谷村住
右改奉新造立
浅間　宮盛本願
奉造立　両社大明神　佐藤平佐衛門
諏訪　同郡鎌原村
元文三歳午　當社大工　竹渕音三郎
天下泰平國土安樂　十一月吉祥日　西山武衛

（裏）

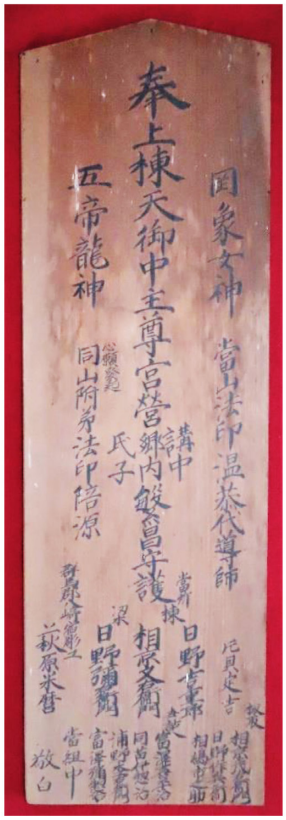
當村安兵衛儀者子□□□成之七月廿六日ニ村役衆中□売之□
□□□□人中□□□
諸願成就祈所

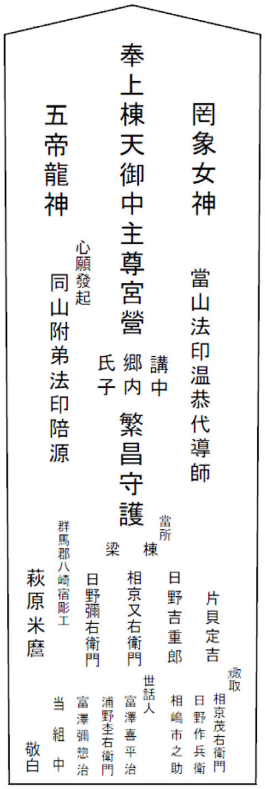
総高660㎜、上巾290㎜、下巾290㎜
本殿　元文３年(1738)　棟札

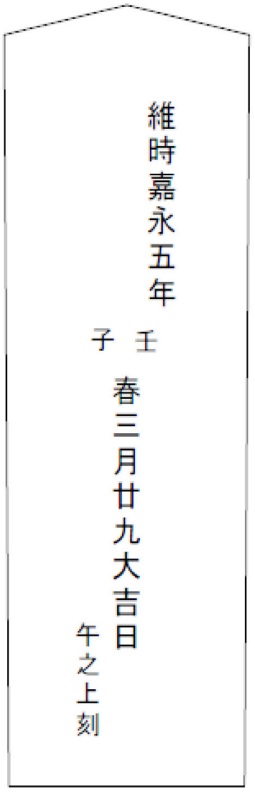
## 神社134　大笹神社

棟札誌記
泰巨神明充満於法界此則久遠成正覚
利益一切於郡生随縁趣感□周邊　遷宮行者常法院光寛
抑南州高嶋郡上野州吾妻郡三原庄於大笹邑諏訪両宮□願従往古存任矣傅聞斯霊神者信
甕槌浮堤大日本国東仙道

## 神社141　(岩下)菅原神社



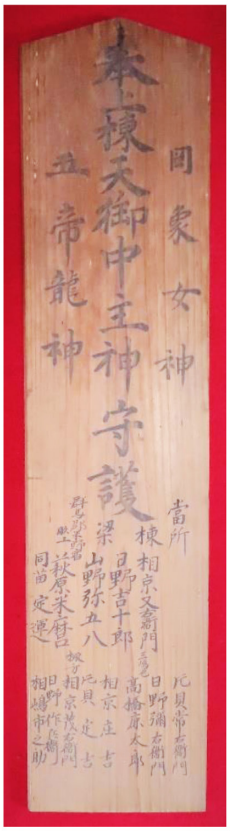



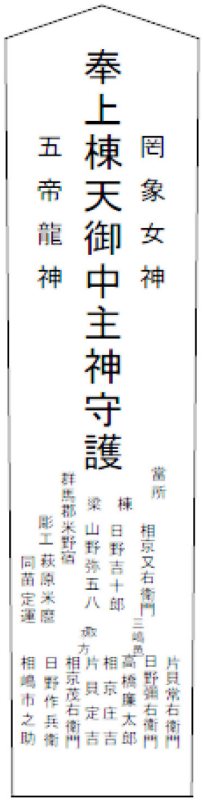


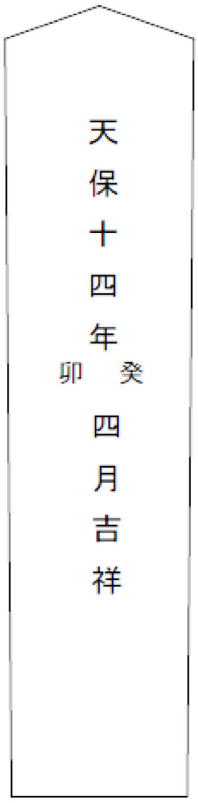

(表)　(裏)

総高1,154㎜、肩高1,110㎜、上巾380㎜、下巾366㎜、厚９㎜、材質：杉

**本殿**　嘉永５年(1852)　棟札



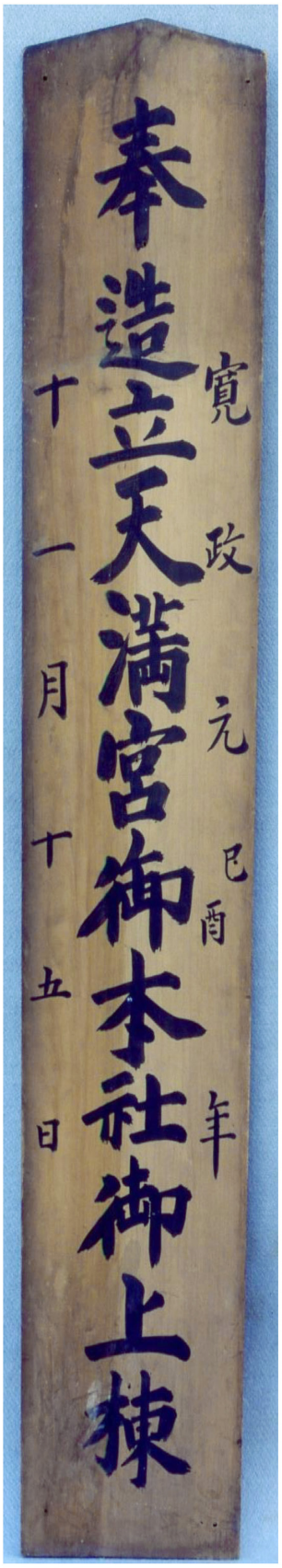



(表)　(裏)

総高1,200㎜、肩高1,100㎜、上巾280㎜、下巾260㎜、厚９㎜、材質：杉

**拝殿**　天保14年(1843)　棟札

## 神社143　(桐生)天満宮－1




奉造立天満宮御本社御上棟

寛政元己酉年

十一月十五日

(表)　(裏)

総高45.8寸、巾6.1寸、厚3.5分、材質：檜

**本社**　寛政元年(1789)　棟札

(資料提供：桐生市教育委員会より)

## 神社143　(桐生)天満宮－2

手置帆負命
天思金命　奉造立桐生殿
彦挾知命

上野山田郡館舗村

棟梁　町田兵部藤原栄清
脇棟梁　中山庄蔵斯重
肝煎　麻嶌政八郎昌方
同断　町田弥吉郎栄直
合手頭　原嶋金太郎忠久
同断　町田宗八郎清久

町田亀十郎栄正
鹿山平次郎
神山安五郎
鹽田喜八郎
白石八百吉
田沼清藏

木挽
葛貫孫兵衛
尾花善兵衛
武井甚左エ門
助八郎
次良左エ門
佐一郎
久米八郎

維皆享和二歲次壬戌十月朔旦世話人
神主前原大内蔵勝行

新町一町目
朴木要七郎
同　佐兵衛
前原吉右衛門
栗原利左衛門
阿久澤藤右衛門

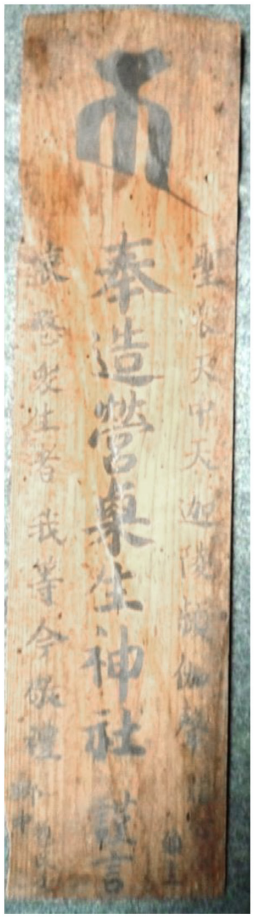
落合嘉左衛門
栗田廣吉
小嶋權兵衛門

發頭
落合源藏
同
關口金兵衛

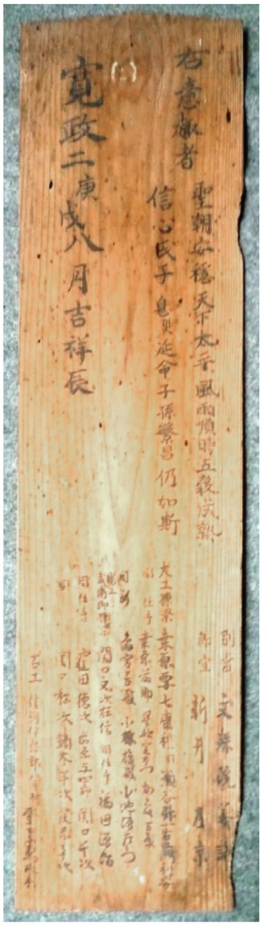
(表)　(裏)

総高36.58寸、巾8.5寸、厚８分、材質：檜
**拝殿**　享和２年(1802)　増築棟札
(資料提供：桐生市教育委員会より)

## 神社149　栗生神社



聖衆天中天迦陵頻伽聲　信心願主
奉造營栗生神社　謹言
哀愍衆生者我等今敬禮　郷中惣氏子



右意趣者
聖朝安穏天下太平風雨順時五穀成熟
信心氏子息災延命子孫繁昌仍如斯
寛政二庚戌八月吉祥辰

大工棟梁　桒原要七康利　同瀬谷弥一右エ門利安
同仕手　桒原藤助　星野定右衛門　加藤万蔵
同断　島宮善蔵　小林権蔵　小池源左衛門
彫工　関口文次在信　同仕手　福田源治
武衛御棟梁　窪田徳次　藤原与四郎　関口千次
同仕手　関口松次　鏑木半次　萩原平治
同　石工　信州伊那郡八手村　登　与左衛門政春
別當　文殊院義諦
祢宜　新井左京

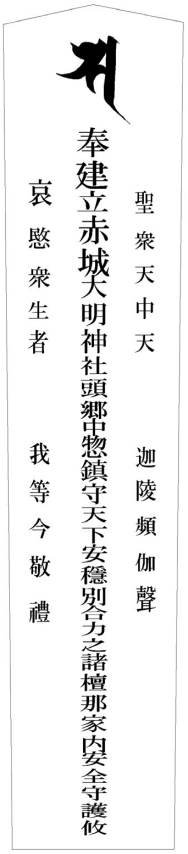
（表）　（裏）

総高920㎜、肩高910㎜、上巾240㎜、下巾220㎜、厚4.5㎜
**本殿**　寛政２年(1790)　棟札

宝暦十年辰八月吉日
ひゑんかうらあし本柱なけし迄作なをし申候　大工瀬谷弥平　さひ志ゑ沢入　関口文治郎

長1,340㎜、巾98㎜、奥行87㎜
**太郎神社**　宝暦10年(1760)　階墨書

## 神社150　赤城大明神(醫光寺境内)

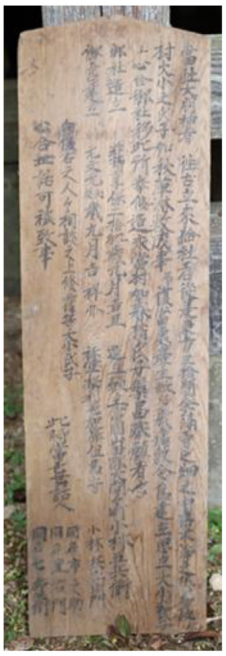


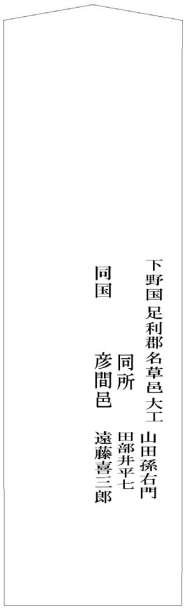
(表)　(裏)

総高1,233㎜、肩高1,207㎜、上巾269㎜、下巾242㎜

**本殿**　文化６年(1809)　棟札

## 神社151　(楡沢平)赤城神社



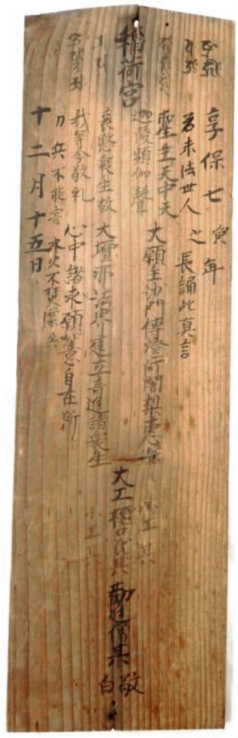



(表)　(裏)

総高649㎜、肩高639㎜、上巾193㎜、下巾192㎜

**本殿**　元文元年(1736)　棟札

## 神社152　冠稲荷神社－1



享保七　寅年
若未法世人之　長誦比真言
聖主天中天　大願主沙門傳燈阿闍梨恵深
迦陵頻伽聲　小工其
稲荷宮
哀愍衆生故　大壇那法界建立寄進諸衆生　大工樋口氏其　勧進僧其　敬白
我等今敬礼　心中諸求願如意自在所
刀兵不能害　水火不焚漂矣
十二月十五日

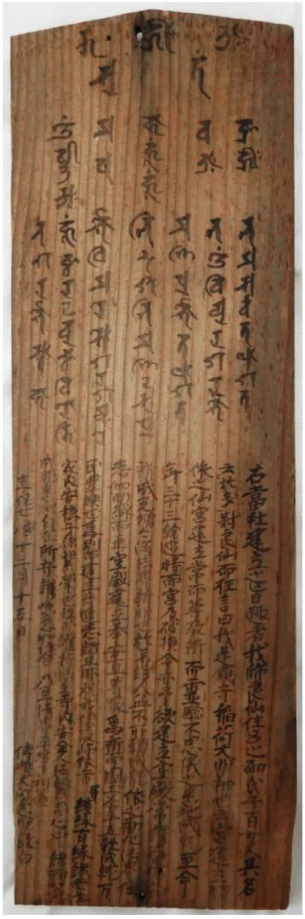
（表）

大工　樋口次郎兵衛
同　半左衛門
小工　某中

（裏）

総高493㎜、肩高485㎜、上巾150㎜、下巾150㎜、厚６㎜

**本殿**　享保７年(1722)　棟札１



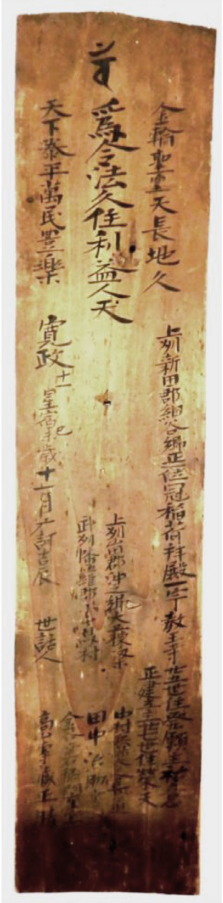
右當社建立之旨趣者我師良仙住呂之砌氏子有女人其名
云於多一對良仙而狂言曰我是鎮守稲荷大明神也云宮建立願
依之仙宮建立常而尊敬祈而霊験不思議之悉地成就至今
年三十三餘過時而宮及破損今亦予欲建立空殿常護摩供養
祈威光増々満結界新明也於参詣人無不所願成就依之勧化法界住
志伽助縁而再空殿建立奉安置尊像為祈而國土泰平五穀成就万
民豊樂也為別而建立寄進志諸旦那於我信敬帰依者并結縁有縁諸衆生
家内安穏子孫繁栄也殊而護持法全寺内安全人法繁昌心中諸願如意
成就悉地自在所守護急急如律令乃至法界平等利益
享保七　寅ノ十二月十五日　傳燈大阿闍梨恵深敬白

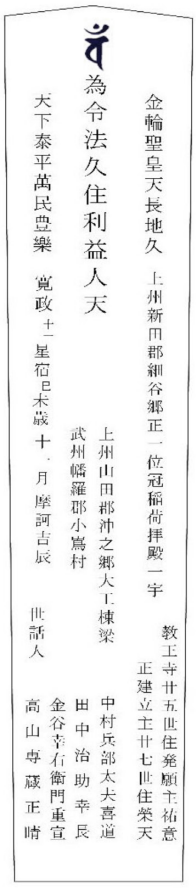
（表）　（裏）

総高497㎜、肩高483㎜、上巾150㎜、下巾147㎜、厚６㎜

**本殿**　享保７年(1722)　棟札２

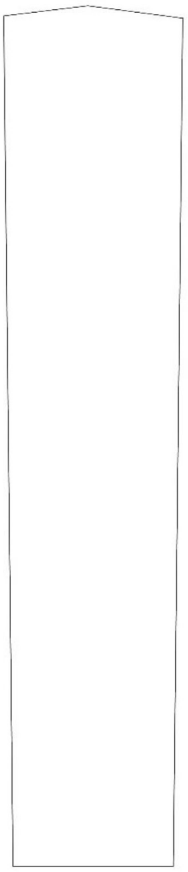
## 神社152　冠稲荷神社－2





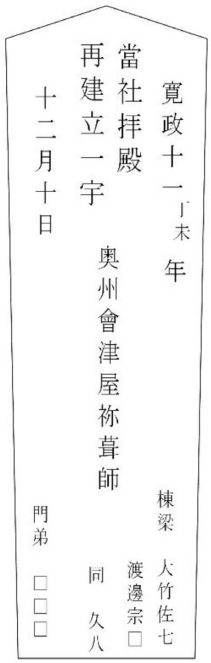

（表）

（裏）



総高765㎜、肩高755㎜、上巾134㎜、下巾120㎜、厚４㎜

**拝殿**　寛政11年(1799)　棟札１



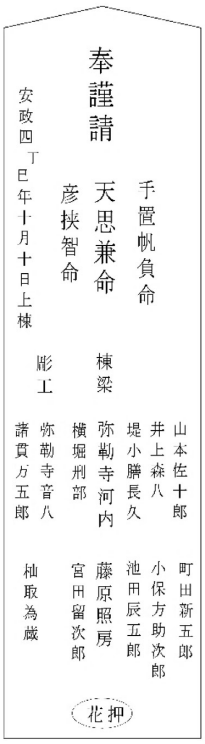

（表）

（裏）

総高454㎜、肩高431㎜、上巾140㎜、下巾123㎜、厚４㎜

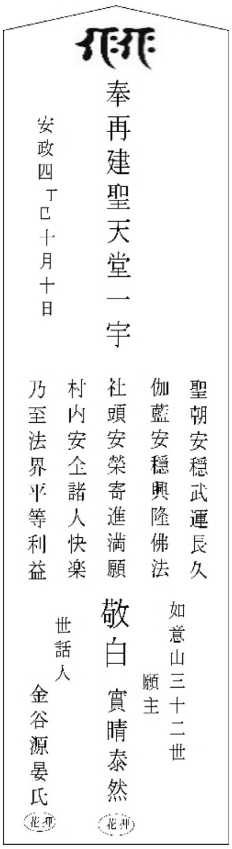
**拝殿**　寛政11年(1799)　棟札２

## 神社152　冠稲荷神社－3



（表）　（裏）

**聖天宮**　安政４年(1857)　棟札１
（写真提供　冠稲荷神社）



（表）　（裏）

**聖天宮**　安政４年(1857)　棟札２
（写真提供　冠稲荷神社）

## 神社153　(世良田)東照宮－1

卍
神威日照　一天永平　征夷大將軍綱吉公修復　御正奉行守屋氏助次郎行賀　請負人霊岸嶋銀町檜皮屋久右衛門
卍奉修復世良田東照大權現御本社御拜殿至寶塔唐門外門華表瑞籬以祈玄感之文
神化雷行　萬邦安　元祿丙子冬十月吉日落慶　御副奉行川田岡右衛門知貞不留河兵八郎政常戸室新藏信辰

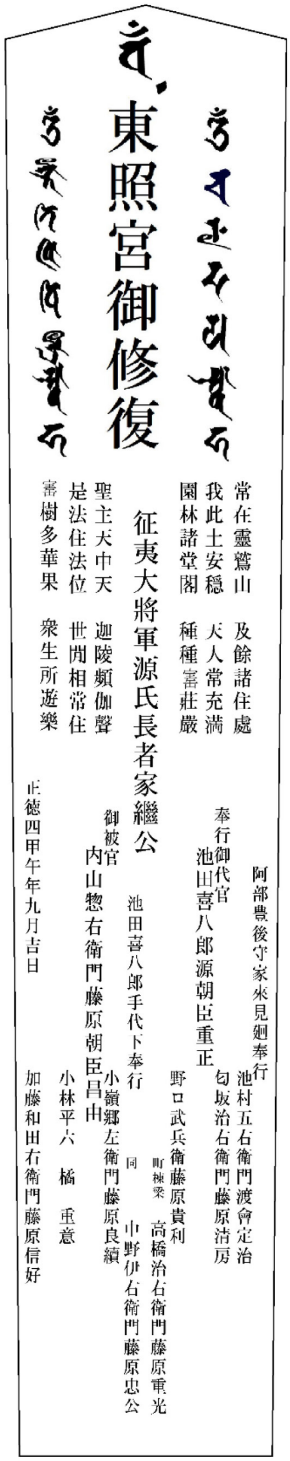
寛永十六巳卯　大將軍家光公御建立御遷宮之節為御名代酒井讃岐守殿御參詣
寛文四年甲辰　大將軍家綱公御修復御遷宮之將為御名代阿部播摩守殿御參詣
御別當東關法窟長樂寺傳佛燈大法師權僧正主法海

(表)　　(裏)

総高1,391㎜、肩高1,355㎜、上巾185㎜、下巾139㎜、厚27㎜

**本殿・拝殿・唐門等修理**　元禄９年(1696)　棟札

## 神社153　(世良田)東照宮－2



御本社御唐門御瑞籬　同三方丸太扶胥
御拜殿御花表瓦御門　左右角扶胥土塀共
御本地塔御寶藏　以上十一箇處御修復
御供所并御供水井土屋形共新規

世良田山眞言院長樂寺僧正應山廣海

寺中
大通菴廣觀
正傳菴辨祐
万象菴宋山
自得菴全海

（表）　（裏）

総高1,400㎜、肩高1,367㎜、上巾297㎜、下幅267㎜、厚30㎜

**本殿・拝殿・唐門等修理**　正徳４年(1714)　棟札

## 神社153　(世良田)東照宮－3

聖主天中天　迦陵頻伽聲　元文元丙辰年九月十七日　奉行從四位下行中務太輔兼侍從藤原朝臣忠良　副司從五位下行伊賀守平朝臣信名　疊奉行岡室武助藤原源矩

奉修營世良田東照宮　征夷大將軍正二位内大臣源吉宗公

哀愍衆生者　我等今敬禮　導師長樂寺維摩院權僧正義運　下奉行早川庄次郎源久志　大工　平内大隅齋部政長

（表）

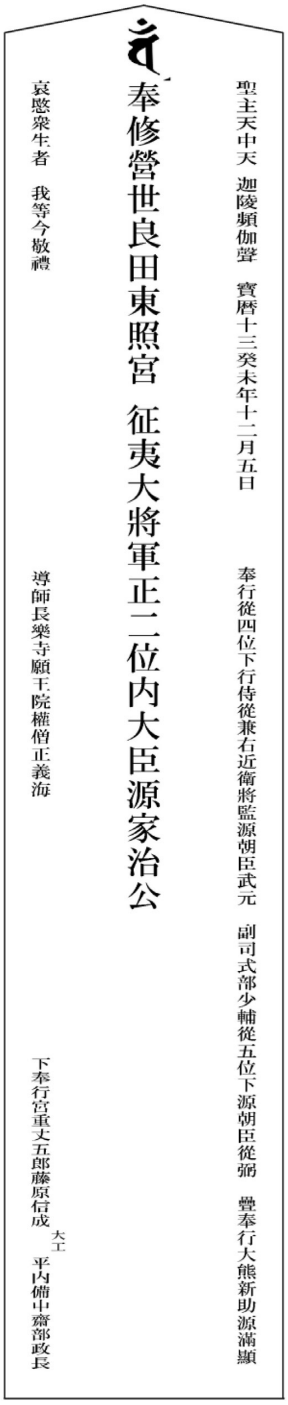
御本社　御唐門　御瑞籬　御寶藏　太鼓門
御拜殿　角矢來　御花表　總御門　并左右屏
御本地塔　御供所　御供水井戸　并屋形　總圍丸太矢來　并木戸門
三佛堂　蓮池橋　敕使門　南門　下馬札三箇所

（裏）

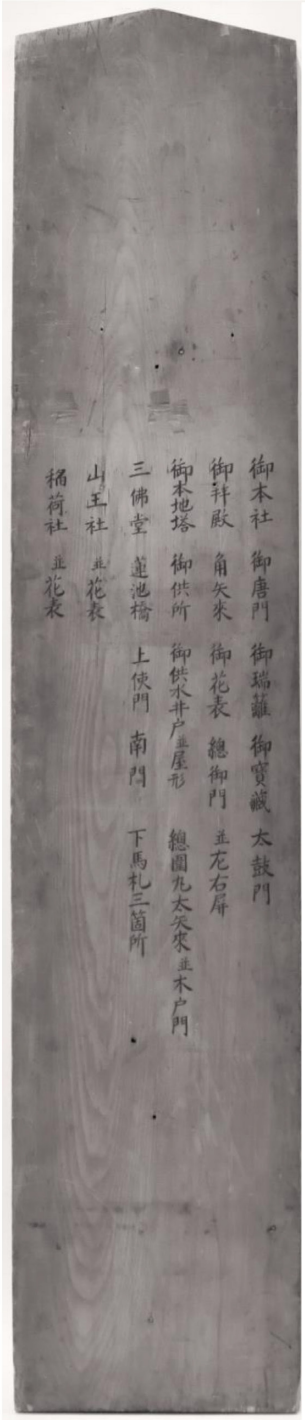
総高1,439㎜、肩高1,415㎜、上巾191㎜、下幅193㎜、厚27㎜

**本殿・拝殿・唐門等修理**　元文元年(1736)　棟札

## 神社153　(世良田)東照宮－4




（表）

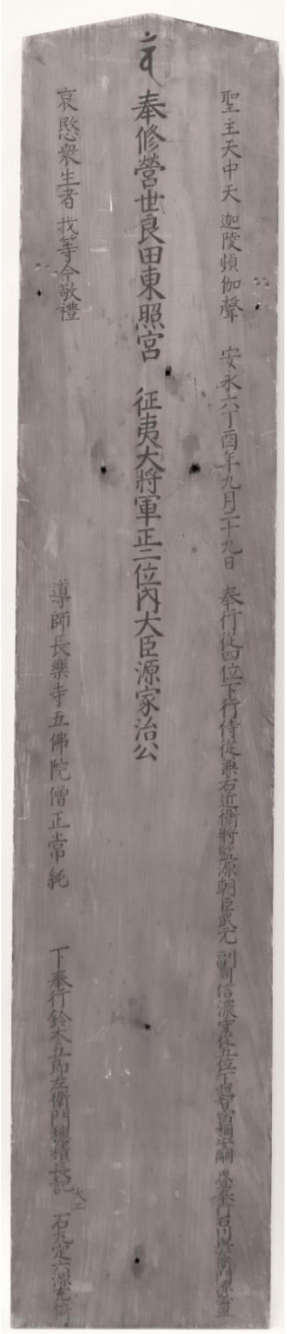


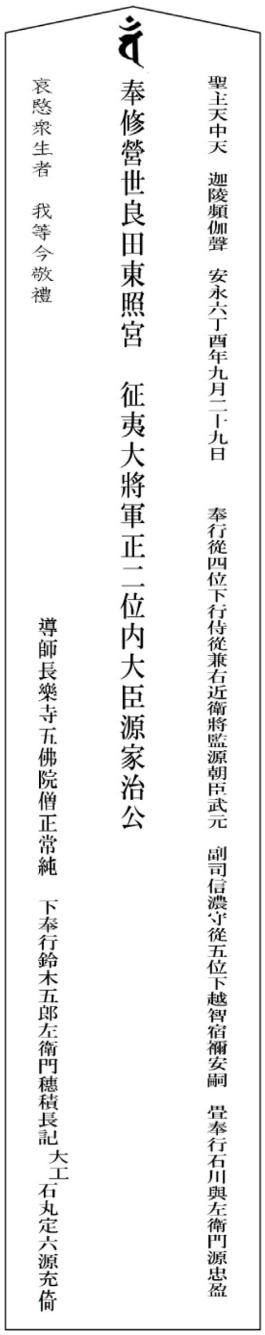

（裏）

総高1,270㎜、肩高1,245㎜、上巾271㎜、下幅270㎜、厚29㎜

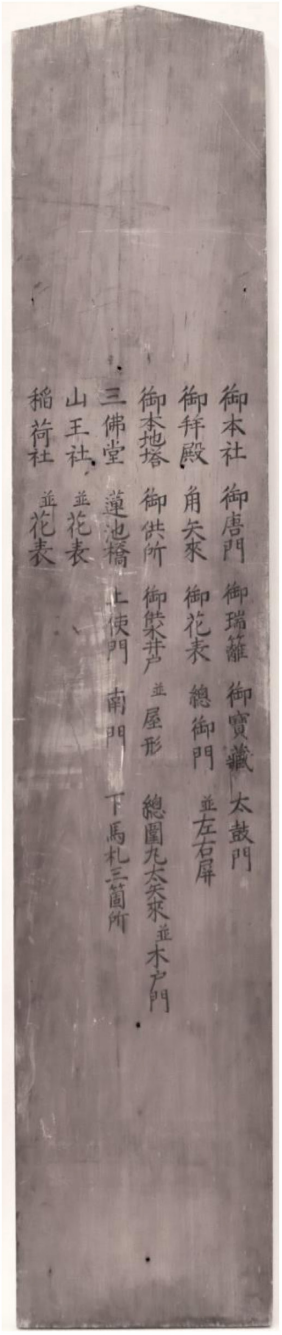
**本殿・拝殿・唐門等修理**　宝暦13年(1763)　棟札

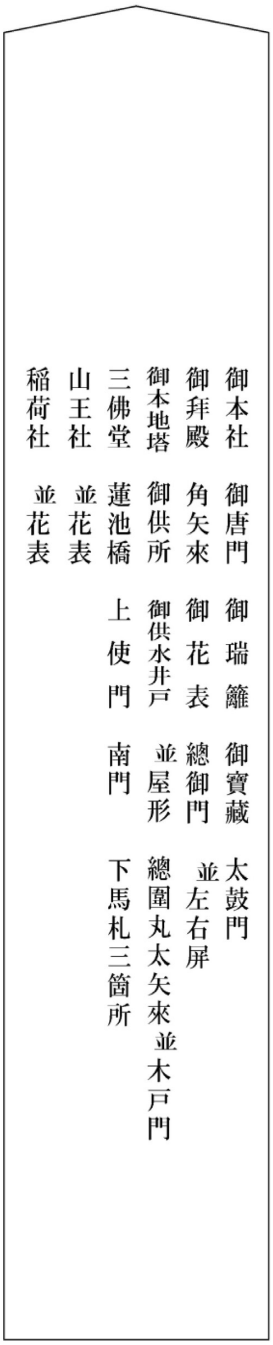
## 神社153　(世良田)東照宮－5






（表）



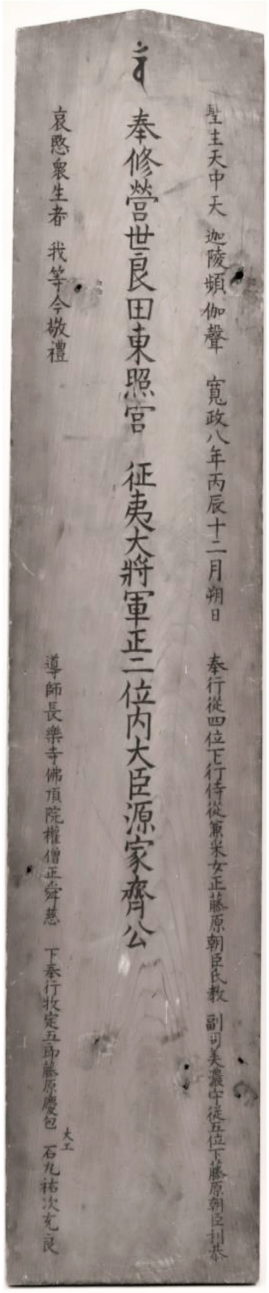



（裏）

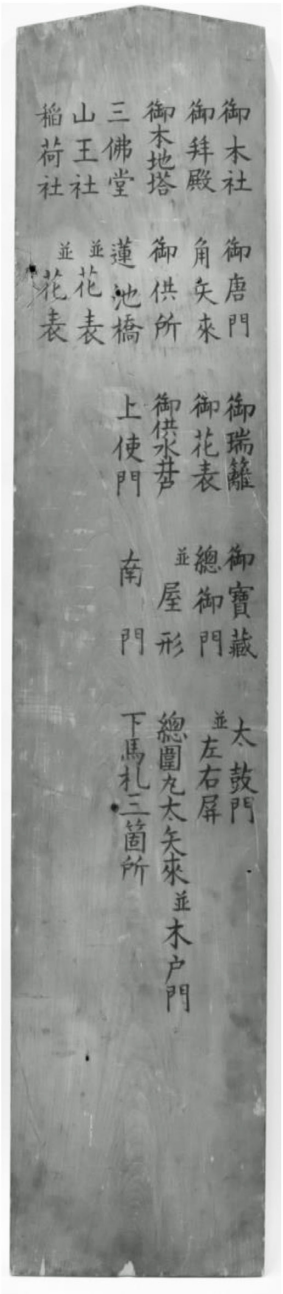
総高1,270㎜、肩高1,245㎜、上巾271㎜、下幅270㎜、厚29㎜

**本殿・拝殿・唐門等修理**　安永６年(1777)　棟札

## 神社153　(世良田)東照宮－6




（表）

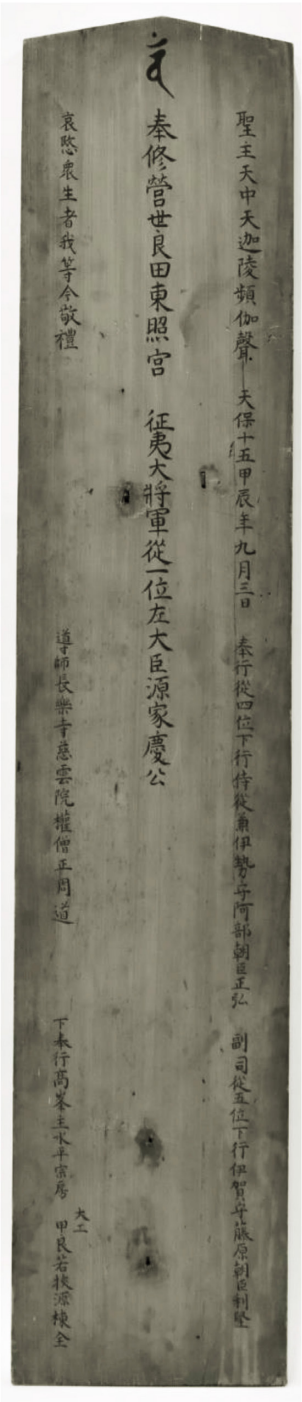



（裏）

総高1,266㎜、肩高1,245㎜、上巾262㎜、下幅265㎜、厚38㎜

**本殿・拝殿・唐門等修理**　寛政８年(1796)　棟札

## 神社153　(世良田)東照宮－7



聖主天中天迦陵頻伽聲　天保十五甲辰年九月三日　奉行從四位下行侍從兼伊勢守阿部朝臣正弘　副司從五位下行伊賀守藤原朝臣利堅

奉修營世良田東照宮　征夷大將軍從一位左大臣源家慶公

哀愍衆生者我等今敬禮

導師長樂寺慈雲院權僧正周道

下奉行高峯主水平宗房　大工　甲良若狭源棟全

聖主天中天迦陵頻伽聲　天保十五甲辰年九月三日　奉行從四位下行侍從兼伊勢守阿部朝臣正弘　副司從五位下行伊賀守藤原朝臣利堅

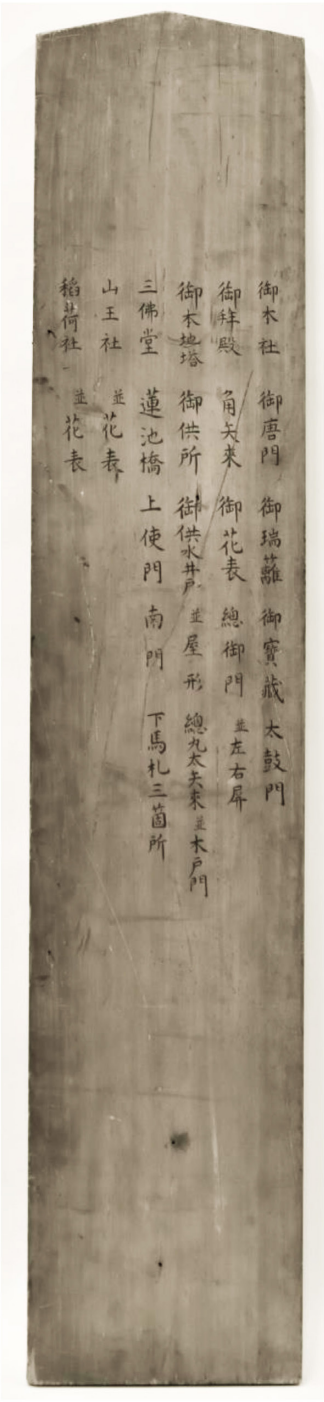
奉修營世良田東照宮　征夷大將軍從一位左大臣源家慶公

哀愍衆生者我等今敬禮

導師長樂寺慈雲院權僧正周道

下奉行高峯主水平宗房　大工　甲良若狭源棟全

（表）



御本社　御唐門　御瑞籬　御寶藏　太鼓門
御拜殿　角矢來　御花表　總御門　並左右屏
御本地塔　御供所　御供水井戸　並屋形　總丸太矢來並木戸門
三佛堂　蓮池橋　上使門　南門　下馬札三箇所
山王社　並花表
稲荷社　並花表

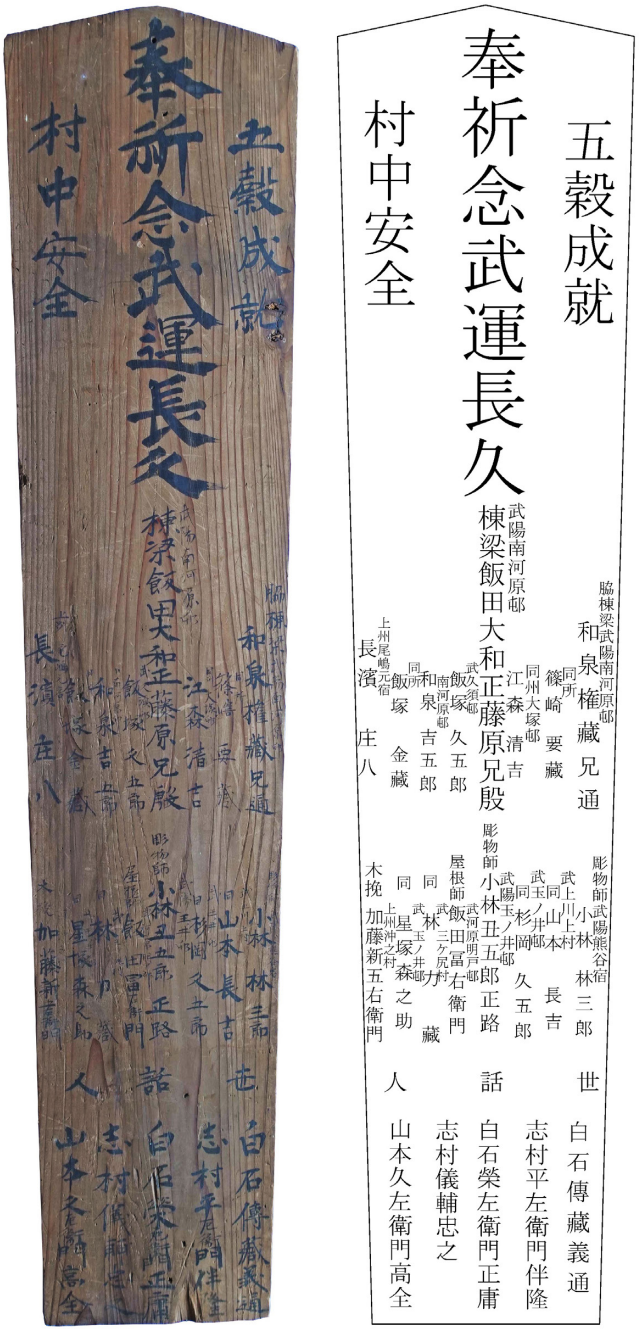
御本社　御唐門　御瑞籬　御寶藏　太鼓門
御拜殿　角矢來　御花表　總御門　並左右屏
御本地塔　御供所　御供水井戸　並屋形　總丸太矢來並木戸門
三佛堂　蓮池橋　上使門　南門　下馬札三箇所
山王社　並花表
稲荷社　並花表

（裏）

総高1,276㎜、肩高1,252㎜、上巾261㎜、下幅264㎜、厚39㎜

**本殿・拝殿・唐門等修理**　天保15年(1844)　棟札

## 神社154　(阿久津)稲荷神社－1




（表）

五穀成就
奉祈念武運長久
村中安全

武陽南河原邨
棟梁飯田大和正藤原兄殿

脇棟梁武陽南河原邨
和泉権藏兄通

同所
篠崎要藏

同州大塚邨
江森清吉

武須久飯塚邨
南河原邨
久五郎
和泉吉五郎

同
飯塚金藏

上州尾嶋元宿
長濱庄八

彫物師
武陽熊谷宿
小林林三郎世

武上州上村
同山本長吉

武玉ノ井邨
同杉岡久五郎

武陽玉ノ井邨
小林丑五郎正路

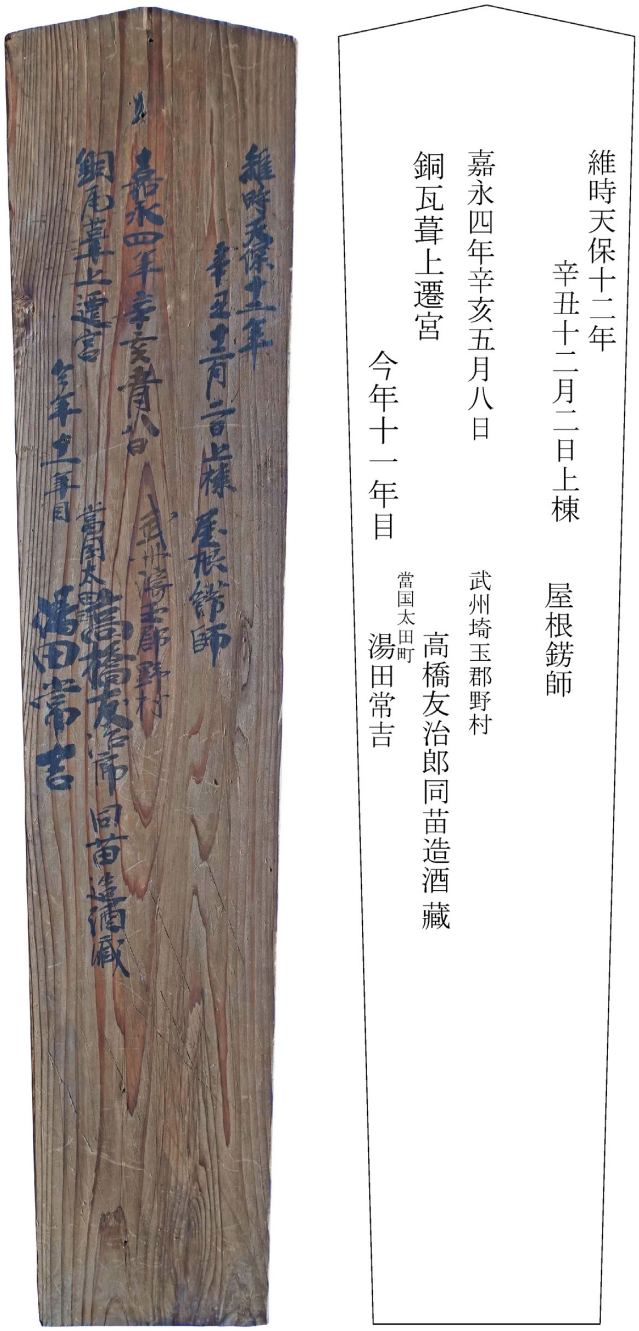
武河原明戸邨
屋根師飯田冨右衛門

武三ケ尻村
同林藏

武玉ノ井邨
同星塚森之助

上州神之村
木挽加藤新五右衛門

白石傳藏義通
志村平左衛門伴隆
白石榮左衛門正庸
志村儀輔忠之
山本久左衛門高全




（裏）

維時天保十二年
辛丑十二月二日上棟　屋根錺師
武州埼玉郡野村
高橋友治郎同苗造酒藏
嘉永四年辛亥五月八日
銅瓦葺上遷宮
今年十一年目
當国太田町
湯田常吉

総高1,045㎜、肩高1,020㎜、上巾235㎜、下巾180㎜、厚12㎜、材質：杉

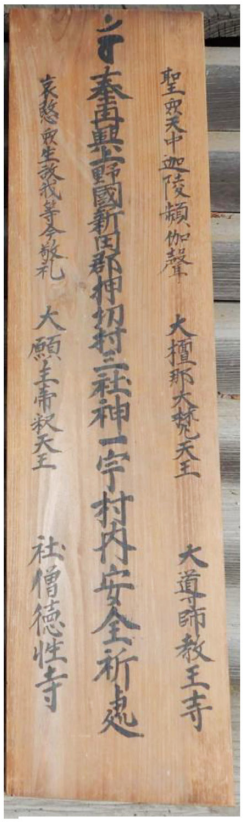
**本殿**　天保12年(1841)　棟札

## 神社154　(阿久津)稲荷神社－2

明治十二年
三月二十三日西暴風にて鎮守稲荷の西北に有之候大杉凡九尺五寸廻りの大木倒木に相成、鎮守御拝に相掛り八分通大破損相成早速氏子一同集議の上郡役所へ鎮守営繕の資本に願下御指令を請け伐抜、是資本として外諸色手間釘銅瓦葺上ケ迄、手前一人にて寄附いたし惣代金百五拾圓も相掛り申候
明治十三年
辰二月十日舊正月元日に中り申候、日和穏にてしめしいたし孫を始祝候、昨十二年秋より心掛け、村方鎮守稲荷社拝殿手前一人にて建立新築、武州妻沼村棟梁林門作殿方に、二間三間御拝付にて手間許り弐百弐拾五人扶持、自分より賄壱回に付五人此代金四拾五圓の土井迄相渡し、彫物師は尾島十日場高澤改之助殿手間許り代金六拾五圓也。太陽暦四月廿一日大陰暦三月十二日に中り上棟相成申候。自分一己にて祝致し村方職人隣村の衆共客来弐百人餘、上日和にて午後二時上棟祝初り申候、酒四樽米糯廿貫六俵小麦弐俵外小物凡金六拾圓相掛り申候。

**拝殿**　明治13年(1880)　白石家『一世日記』
(群馬県新田郡尾島町教育委員会　平成10年３月25日発行より)

## 神社155　三柱神社




(表)

聖衆天中迦陵頻伽聲　大檀那大梵天王　大導師教王寺
奉再興上野國新田郡押切村三社神一宇村内安全祈處
哀愍衆生故我等今敬礼　大願主帝釈天王　社僧徳性寺

若未法世人長誦此眞言
刀兵不能害水火不焚漂
嘉永五壬子年九月十八日
發願主　新井久太夫知常
武刕妻沼村
宮大工林門左工門昌道
惣氏子中

(裏)

総高755㎜、巾220㎜
**本殿**　嘉永５年(1852)　棟札

## 神社157　(尾島)雷電神社

金井家の『源緒録』に寛政九年(一七九七)の当遺構建造にかかる次に示す記述が見られる(読み下しは関口義二氏による)。

請取申一札之事

一金六両一分　鐚三百十八

右者雷電御本社造営御請負仕立方仕建候所、当　清養院拂出火有之、右出来候品々焼失仕候、大工手間飯料共ニ御拂被下慥請取申候、然ル上者先達而差出シ置候仕様注文帳之通代金三拾八両ニ而又々御請負仕候所相違無御座候、勿論来ル午八月中迄ニ仕建差出シ候様被仰聞致承知候、八月中迄無相違急度仕建可申候、為後日請取之一札如仍件

當町大工　治兵衛印

寛政九巳年十一月

請負人　同　半兵衛印

同　清　八印

名主

又市殿

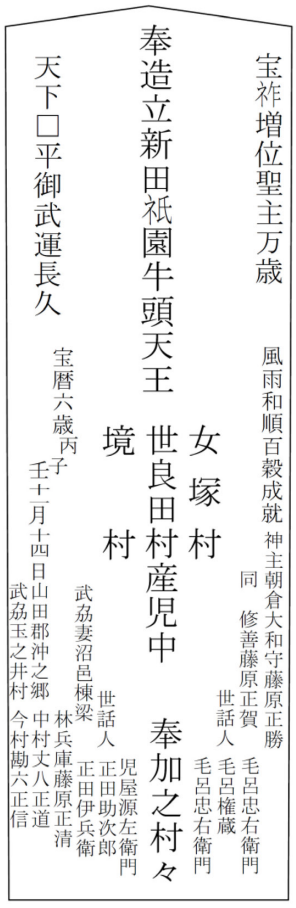
小前衆中

この文書「…来ル午八月…」と建築の各種特徴から、当遺構の建造年代を寛政一〇年(一七九八)と推定する。

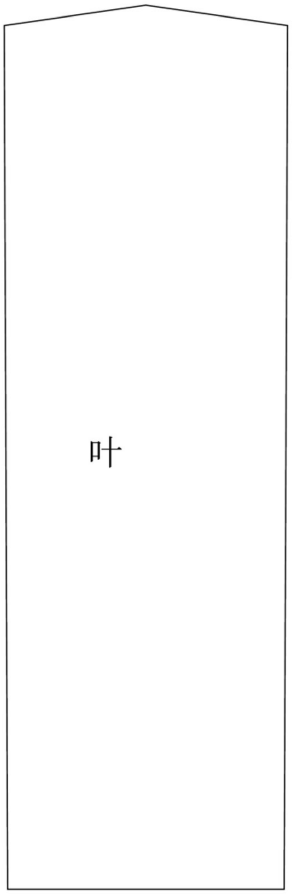
**本殿**　寛政９年(1797)　源緒録

(『尾島町近世寺社建築調査報告書』より)

## 神社158　(世良田)八坂神社



(表)



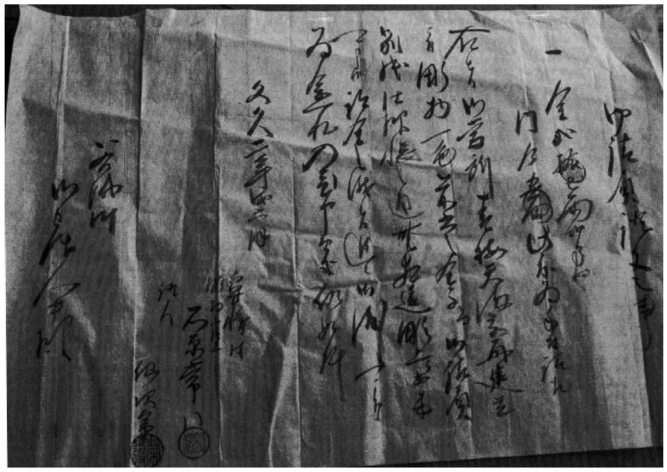
(裏)

総高1,035㎜、肩高1,011㎜、上巾332㎜、下巾324㎜、厚15㎜

**本殿**　宝暦６年(1756)　棟札

(『尾島町近世寺社建築調査報告書』より)

## 神社166　青梅神社



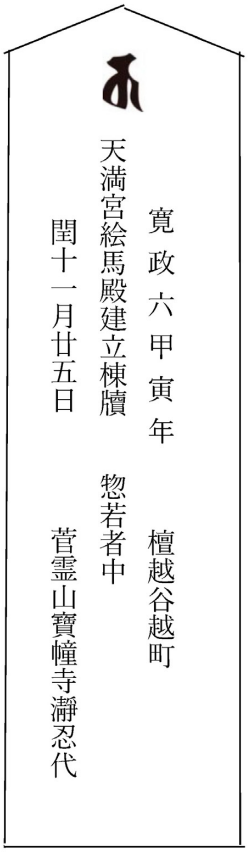
御請負証文之事
一金弐拾七両弐分也
内金五両、此度為手付請取
右者、御当所青梅天満宮再建立
ニ付、彫物一色、前書之金子ニ面御請負、
別紙仕様帳之通、無相違彫上ヶ出来
可申候、跡金之儀者、追々御渡し可被下候、
為念一札入置申処、仍如件

文久二年戌六月

鼻輪村
彫物宮工
石原常八㊞
証人
仙次郎㊞

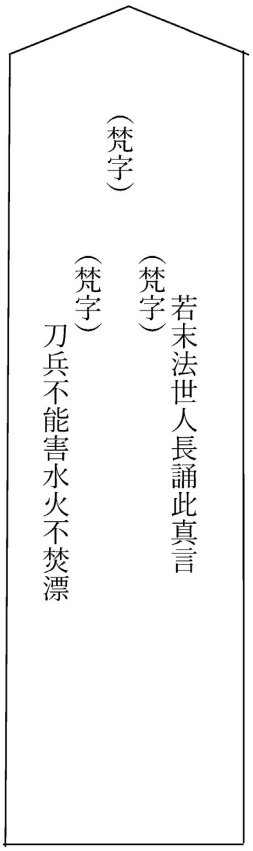
谷越村
卸世話人中様

**拝殿・幣殿**　文久２年(1862)　古文書
（館林市史編さんセンターより資料提供）



寛政六甲寅年　檀越谷越町
天満宮絵馬殿建立棟牘　惣若者中
閏十一月廿五日　菅霊山寶幢寺瀞忍代

（表）



若末法世人長誦此真言
（梵字）
（梵字）
刀兵不能害水火不焚漂

（裏）

総高580㎜、背高545㎜、上巾150㎜、下巾150㎜、厚15㎜、材質：杉
**絵馬堂**　寛政６年(1794)　棟札

## 神社168　(阿左美)生品神社

元禄七甲戌暦　　本主　藤原一門　敬

梵字　奉造営生品大明神頭荘園泰平五穀豊饒諸人快樂

十二月吉祥日　　并百余人之氏子　　白

□□□□
□□□□
同村　田代勘右衛門
同村　小林小平次　保泉村　大嶋又兵衛
同村　金井甚兵衛　長嶋持兵衛
同村　同　九兵衛　田部井村

(表)　　(裏)

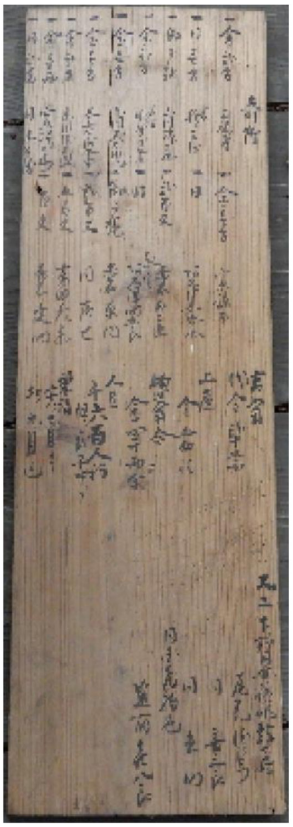
**本殿**　元禄７年(1694)　棟札

## 神社175　八王子神社

天下太平　延享四丁卯載　別當

奉祈八王子山大権現諸願成辨守護

国土安全　九月如意日



寄付

一金　弐分　正福寺　一金　壱分　宮原孫市
一同　壱分　拾兵衛　一同　阿久津与兵衛
一御戸張　山同次郎兵衛　一弐百文　赤石左兵衛
一金　弐分　嶮峨明神氏子一同　一同　大工世話人　阿久津助五良
一金　壱分　山同丈衛門　一御戸張　赤石原門
一金　壱分　木宮氏子中　一弐百文　同　茂七
一金　弐朱　鹿沼徳左衛門　一五百文　□田□衛
一金　壱両　宮原次郎右衛門　一百文　赤石定助
一同　弐分　同与兵衛

宮人用代金　弐十五両　大工下野国安蘇郡翰馬村　尾花清左衛門
上屋　金五両程　同　善三良
惣人用合　金　四十両余　同　兵助
人足　千六百人　程　同国飛駒邑　遠藤喜八良
但シ氏子中ヨリ
普請　寅ノ四月ヨリ　卯ノ九月迄

(表)　　(裏)

総高725㎜、巾264㎜

**本殿**　延享４年(1747)　棟札

## 神社176　(長尾根)十二山神社

氏子中
水引　下仁田山村
彫物師　下仁田山邑
田村□□
天下和順
奉造立當所鎮守十二山神
國土安榮
大工頭領
下仁田山
田村住人[　]
大工浅原邑
青山[　]
上州山田郡長尾根村
名主　金子金右ヱ門

(表)

明和元甲申年
十二月吉祥日

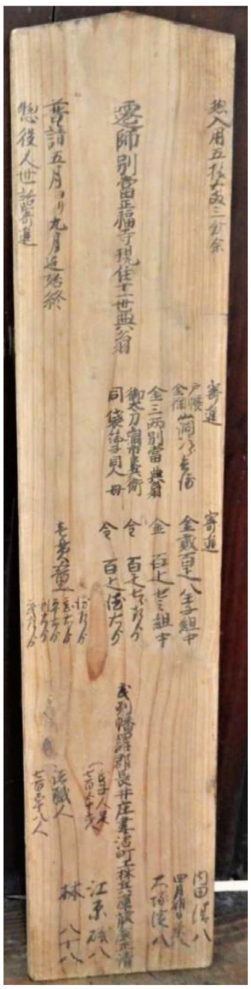
(裏)

総高155㎜、肩高145㎜、巾330㎜
**本殿**　明和元年(1764)　棟札

## 神社178　嵯峨宮

天下泰平
奉再建上野國
山田郡
小平村嵯峨大明神氏子如意祈攸
國土安全
寛保三癸亥歲
九月吉祥日
別當正福寺
當社惣氏子中

(表)



惣入用五拾五両三分余
寄進
戸帳　山洞次郎兵衛
金襴
遷師別當正福寺現住十一世典翁
金三両　別當典翁
御太刀　山洞市良兵衛
同袋縫子　同人　母
普請　五月ヨリ九月迄始終
惣役人世話寄進
寄進
金貳百疋八王子組中
金　百疋セミ組中
金　百疋七郎左衛門
金　百疋德右衛門
壱貫五百文
德左衛門
甚右衛門
平右衛門
利右衛門
武左衛門
武州幡羅郡長井庄妻沼町工
林兵庫藤原正清
(氏子人足七百五十八人)
(造職人七百五十八人)
内田　清八
四月朔日条八
大塚　淀八
江原　磯八
林　八十八

(裏)

総高880㎜、肩高860㎜、上巾180㎜、下巾160㎜
**本殿**　寛保３年(1743)　絵馬型棟札

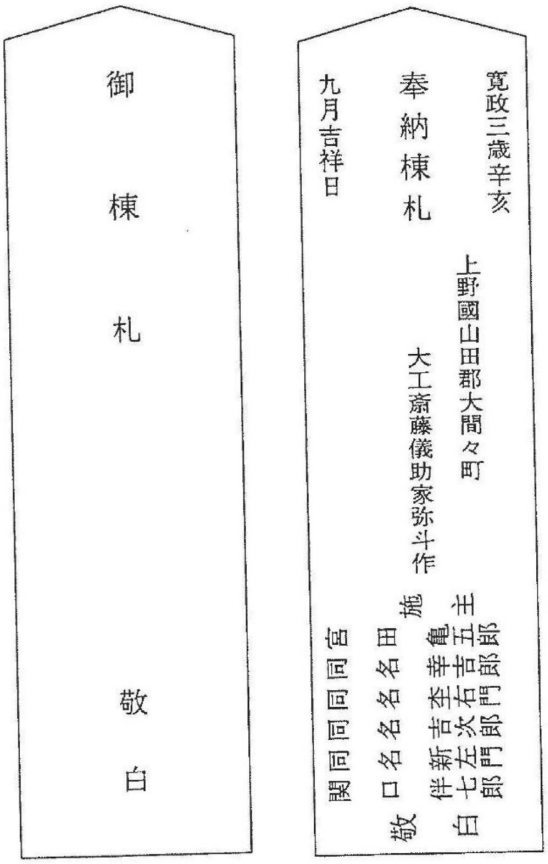
## 神社180　(浅原)菅原神社

＜天明７年の棟札より＞ 1787年

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 建立願主 | 藤生六左衛門福口 | 大工棟梁 | 遠藤金七 | （邑楽郡下中野村） |
| 同 | 同苗佐六清久口口 | 同 | 青木源蔵恒口 | （山田郡浅原村） |
| 同 | 金子家次郎口口 | 仕手方 | 青木要左衛門 | （　同上　） |
| 同 | 原井佐次郎衛門安口 | 同 | 杉田三左輔 | （邑楽郡下中野村） |
| 同 | 深沢七六清口 | 同 | 大谷　清吉 | （　同上　） |
| | | 同 | 江原　唯吉 | （　同上　） |
| | | 同 | 遠藤　惣吉 | （　同上　） |
| 別当 | | 同 | 入谷　宗助 | （邑楽郡古海村） |
| 日輪寺慈湛 | | 彫　工 | 尾池金蔵 | （勢多郡前原村） |
| （上野国山田郡浅原村） | | 塗　師 | 金子源五郎口 | （山田郡桐原村） |
| | | 石　工 | 伊本　久蔵 | （信濃国伊奈郡板山村） |

本殿　天明７年(1787)　棟札
（提供資料：小林孝雄氏より）

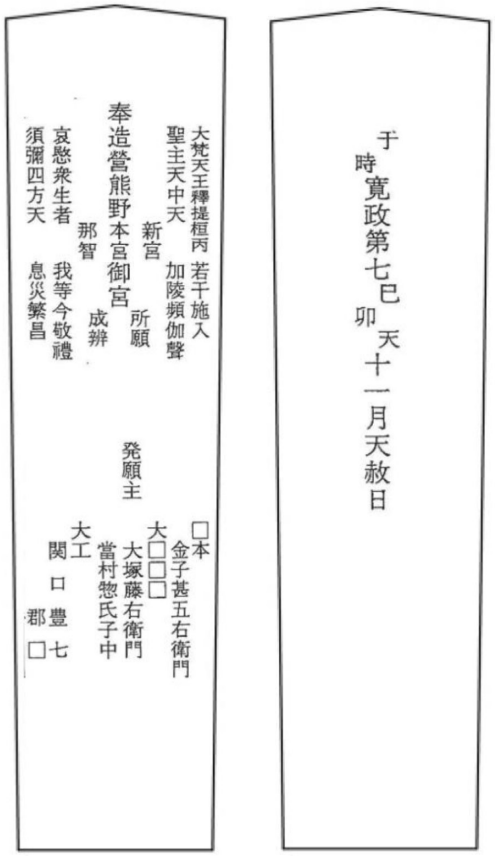
## 神社181　鈴香神社




（表）　（裏）

総高2.30尺、肩高2.26尺、上巾3.40寸、下巾3.40寸
本殿　寛政３年(1791)　棟札
（『大間々町誌　別巻８　大間々町の建物』より）

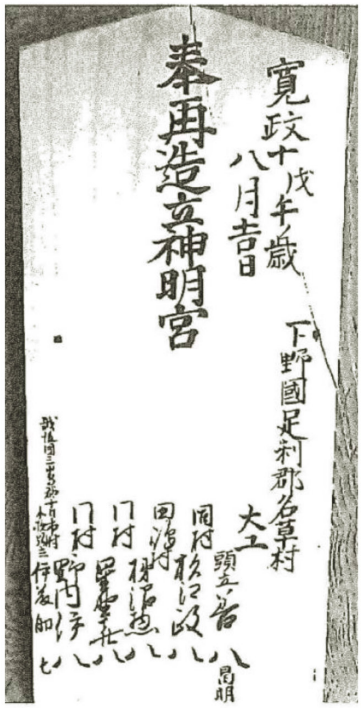
## 神社182　(長尾根)熊野神社



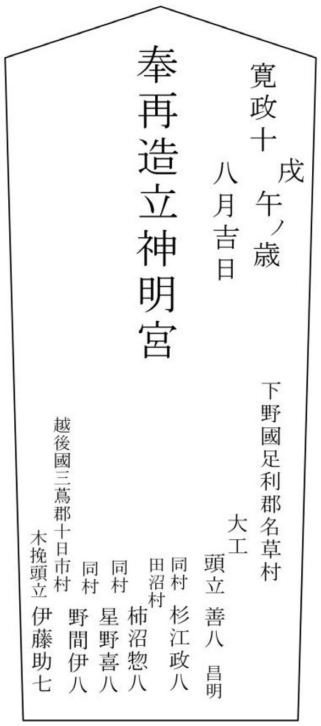

（表）　（裏）

総高1.50尺、肩高1.48尺、上巾3.80寸、下巾3.35寸、厚２分
本殿　寛政７年(1795)　棟札
（『大間々町誌　別巻８　大間々町の建物』より）

## 神社183　(間坂)神明宮

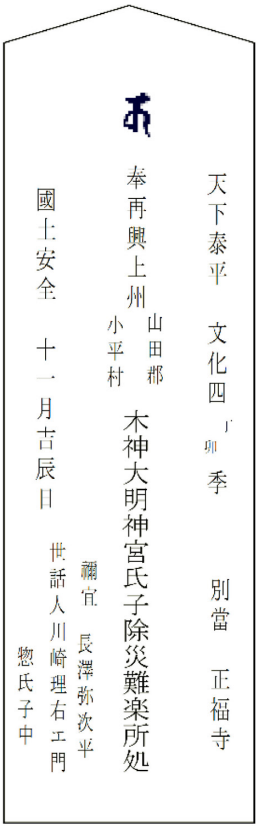



（表）

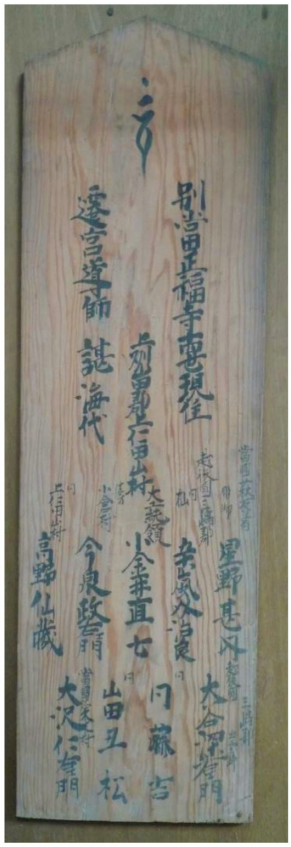


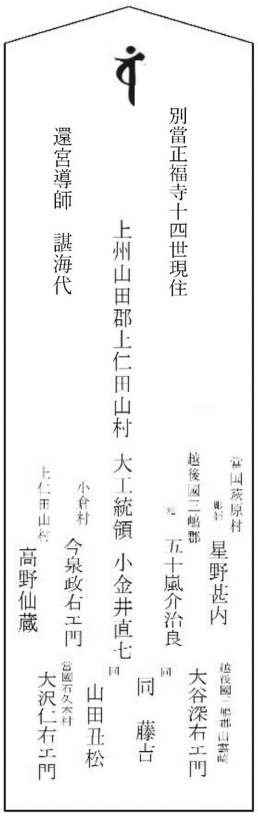

**本殿**　寛政10年(1798)　棟札
（『大間々町誌　別巻８　大間々町の建物』より）

## 神社184　木宮神社－1




（表）

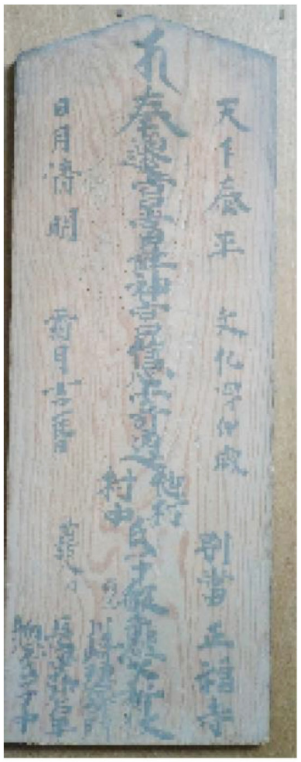





（裏）

総高770㎜、肩高730㎜、巾290㎜、下巾11㎜
**本殿**　文化４年(1807)　棟札

## 神社184　木宮神社－2



天下泰平　文化四丁卯歳　別當　正福寺
奉還宮當社神宮信心寄進　他村
村中　氏子□□□祈攸
日月清明　霜月吉良日　世話人　同　長澤弥治平
　　禰宜　川崎□右衛門
　　惣氏子中

信心寄進　他村縁家　屋根葺大宝源内
寄進　谷田組
同　中組中
同　八王子組
同　折之内組
同　茂手木組
同　狸穴組
世話人　黒田傳内
同　星野□右エ門
同　長澤理平
同　惣氏子中

（表）　（裏）

総高770㎜、肩高725㎜、巾290㎜、下幅14㎜

**本殿**　文化４年(1807)　棟札(屋根葺)

## 神社185　杉森稲荷神社

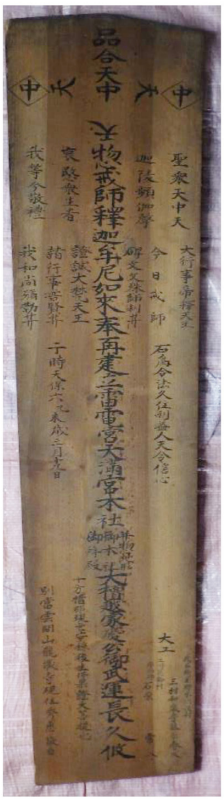
正一位杉森稲神殿再建者　願主
藤生善十郎
惣村氏子中
慶應二丙寅年三月十日　南王山正観院世音寺
二十一世廣順代

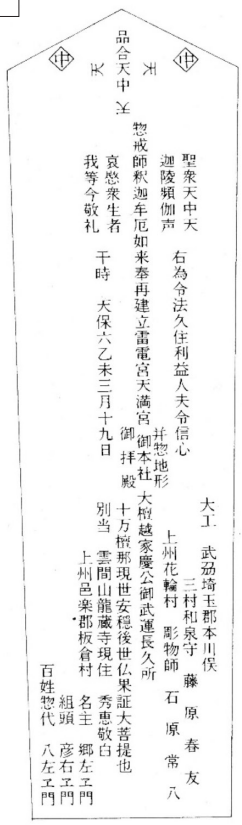
慶應二丙寅　稔
奉正遷宮正一位稲荷大明神天下泰平國安隱祈願攸
春　三月吉良辰　別當所　世音寺

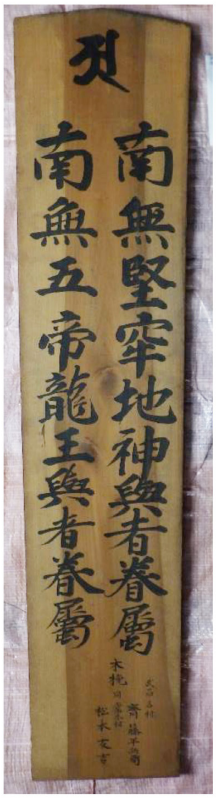
棟札１　（表）　棟札２　（表）

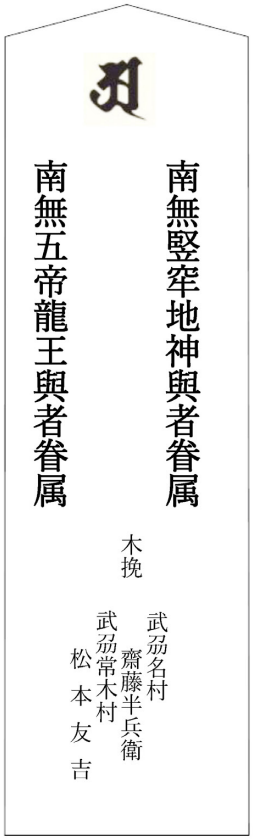
**本殿**　慶応２年(1866)　棟札
（双方とも裁断内の柱に釘付けのため裏面は不明）

## 神社187　(板倉)雷電神社－1





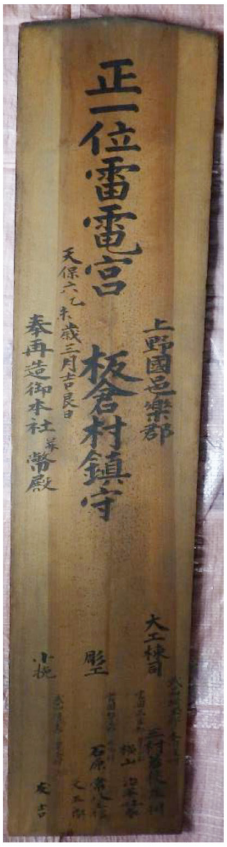



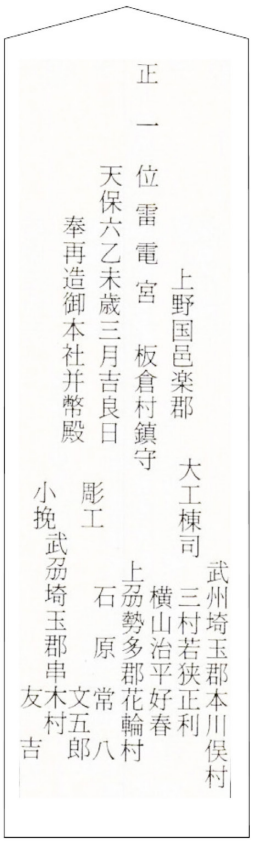



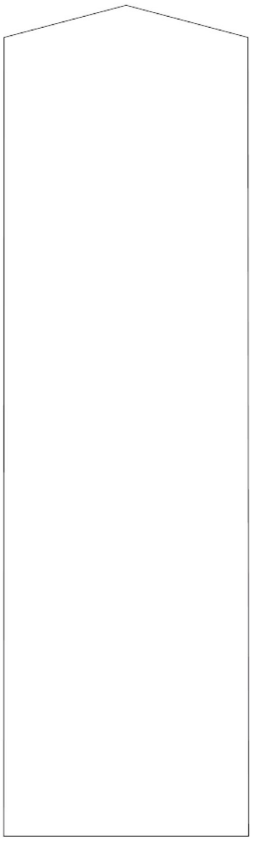

(表)　(裏)

総高1,360㎜、巾210㎜

**本殿・拝殿**　天保６年(1835)　棟札



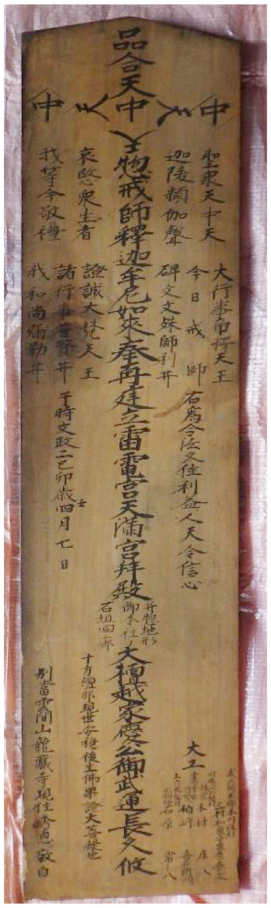


(表)　(裏)

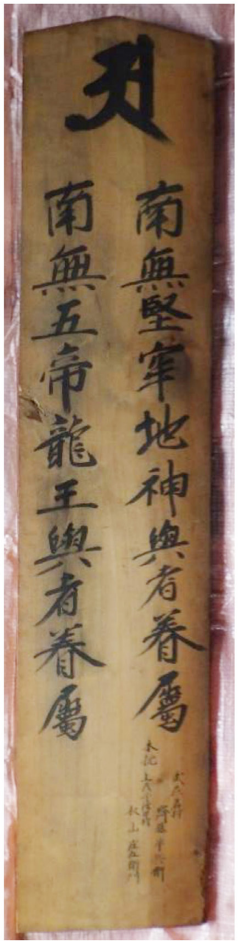
総高1,360㎜、巾210㎜

**本殿・幣殿**　天保６年(1835)　棟札

## 神社187　(板倉)雷電神社－2



中
聖衆天中天
天迦陵頻迦声
中
品合天中天
惣戒師釈迦牟尼如来奉建立雷電宮天満宮拝殿并御本社
我等今敬礼
哀民衆生者
証誠楚天王
諸行事普賢并
今和尚弥勒并
大行事帝釈天王
今日　戒師
碑文文殊師利
右為令法久住利益人天信心
武州埼玉郡本川俣村　三村和泉守藤原春友
同国同郡堤村　木　村　庄　八
当所　宿　肝煎　柏崎　喜右衛門
上州花輪村　彫物師　石　原　常　八
石垣回廊　大檀越慶公御武運長久候
十方檀那現世安穏後世仏果証大菩薩也
于時文政二巳卯歳閏四月七日
別当雲間山龍蔵寺現住　秀恵　敬白



(表)　(裏)

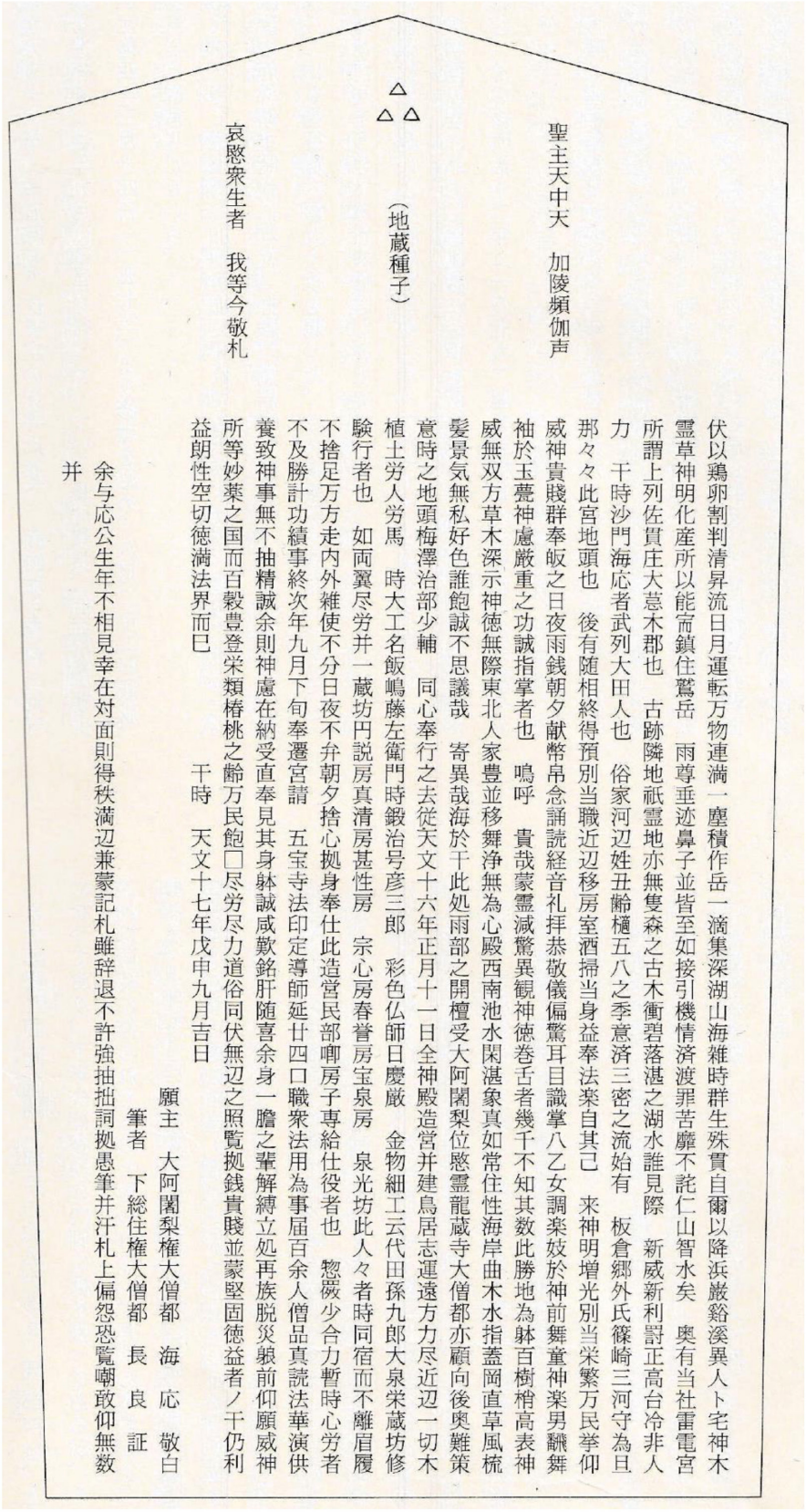
総高1,150㎜、巾190㎜

**拝殿**　文政２年(1819)　棟札

奥之院　本宮再建上棟　維慶應四戊辰年閏四月吉祥日
棟梁　武州本河俣村　忌部司職之御民　三村吉左衛門正常後裔
三村正秀
(棟木の南面に墨書されていた)

**奥宮**　慶応４年(1868)　棟木・垂木墨書

## 神社187　(板倉)雷電神社－3



聖主天中天　加陵頻伽声

△
△△
(地蔵種子)

哀愍衆生者　我等今敬札

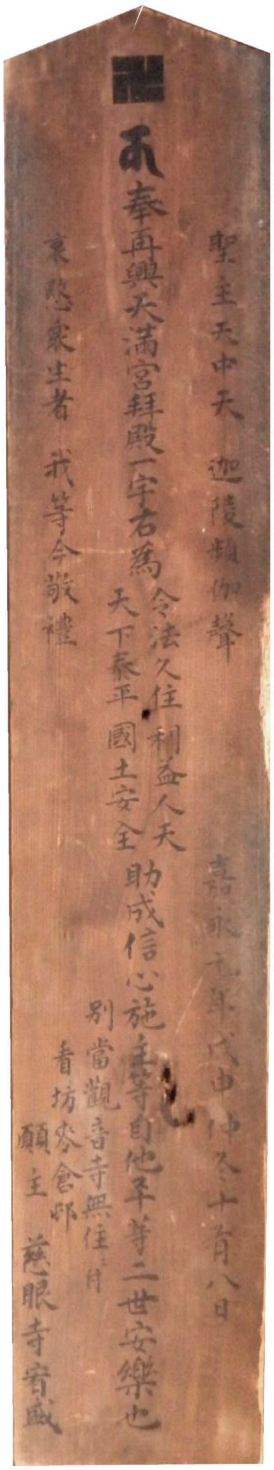
伏以鶏卵割判清昇流日月運転万物連満一塵積作岳一滴集深湖山海雑時群生殊貫自爾以降浜巌谿溪異人卜宅神木
霊草神明化産所以能宙鎮住鷲岳　雨尊垂迹鼻子並皆至如接引機情済渡罪苦靡不詫仁山智水矣　奥有当社雷電宮
所謂上列佐貫庄大荳木郡也　古跡隣地祇霊地亦無隻森之古木衝碧落湛之湖水誰見際　新威新利罰正高台冷非人
力　干時沙門海応者武列大田人也　俗家河辺姓丑齢櫃五八之季意済三密之流始有　板倉郷外氏篠崎三河守為旦
那々々此宮地頭也　後有随相終得預別当職近辺移房室酒掃当身益奉法楽自其己　来神明増光別当栄繁万民挙仰
威神貴賤群奉皈之日夜雨銭朝夕献幣帛念誦読経音礼拝恭敬儀偏驚耳目識掌八乙女調楽妓於神前舞童神楽男飜舞
袖於玉甍神慮厳重之功誠指掌者也　嗚呼　貴哉蒙霊減驚異観神徳巻舌者幾千不知其数此勝地為躰百樹梢高表神
威無双方草木深示神徳無際東北人家豊並移舞浄無為心殿西南池水閑湛象真如常住性海岸曲木水指蓋岡直草風梳
髪景気無私好色誰飽誠不思議哉　寄異哉海於干此処雨部之開檀受大阿闍梨位愍霊龍蔵寺大僧都亦顧向後奥難策
意時之地頭梅澤治部少輔　同心奉行之去従天文十六年正月十一日全神殿造営并建鳥居志運遠方力尽近辺一切木
植土労人労馬　時大工名飯嶋藤左衛門時鍛治号彦三郎　彩色仏師日慶厳　金物細工云代田孫九郎大泉栄蔵坊修
験行者也　如両翼尽労并一蔵坊円説房真清房甚性房　宗心房春誉房宝泉房　泉光坊此人々者時同宿而不離眉履
不捨足万方走内外雑使不分日夜不弁朝夕捨心拠身奉仕此造営民部卿房子専給仕役者也　惣嚴少合力暫時心労者
不及勝計功績事終次年九月下旬奉遷宮請　五宝寺法印定導師延廿四口職衆法用為事届百余人僧品真読法華演供
養致神事無不抽精誠余則神慮在納受直奉見其身躰誠咸歎銘肝随喜余身一膽之輩解縛立処再族脱災躬前仰願威神
所等妙薬之国而百穀豊登栄類椿桃之齢万民飽□尽労尽力道俗同伏無辺之照覧拠銭貴賤並蒙堅固徳益者ノ干仍利
益朗性空切徳満法界而已　　干時　天文十七年戊申九月吉日

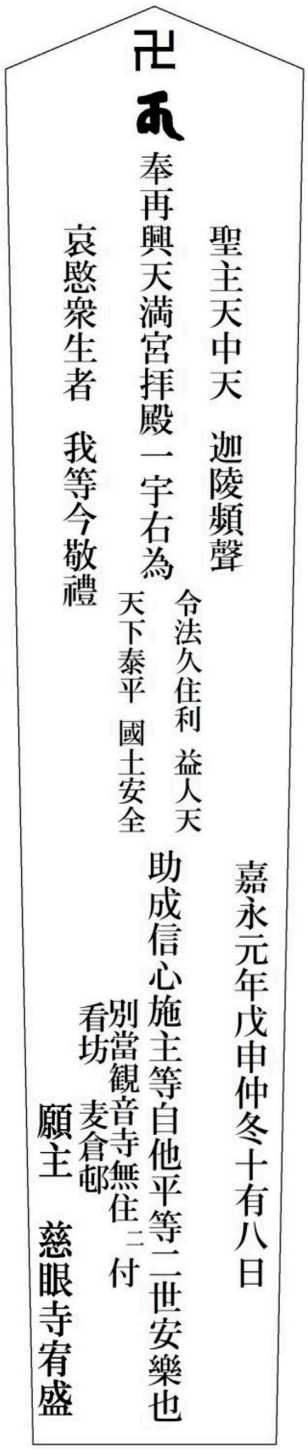
願主　大阿闍梨権大僧都　海　応　敬白
筆者　下総住権大僧都　長　良　証

余与応公生年不相見幸在対面則得秩満辺兼蒙記札雖辞退不許強抽拙詞拠愚筆并汗札上偏怨恐覧嘲敢仰無数
并

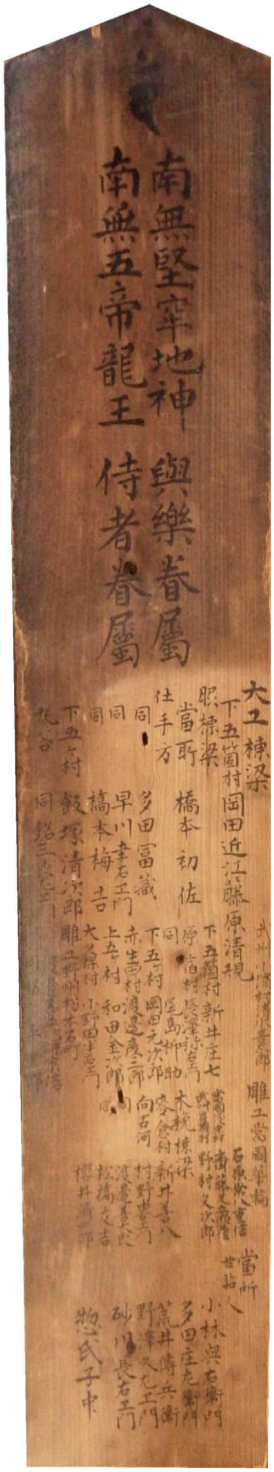
総高1,150㎜、肩高1,120㎜、上巾185㎜、下巾180㎜、厚10㎜、材質：杉
**末社八幡宮稲荷神社社殿**　天文17年(1548)　棟札
(翻訳に建造年代天文16年とあり)

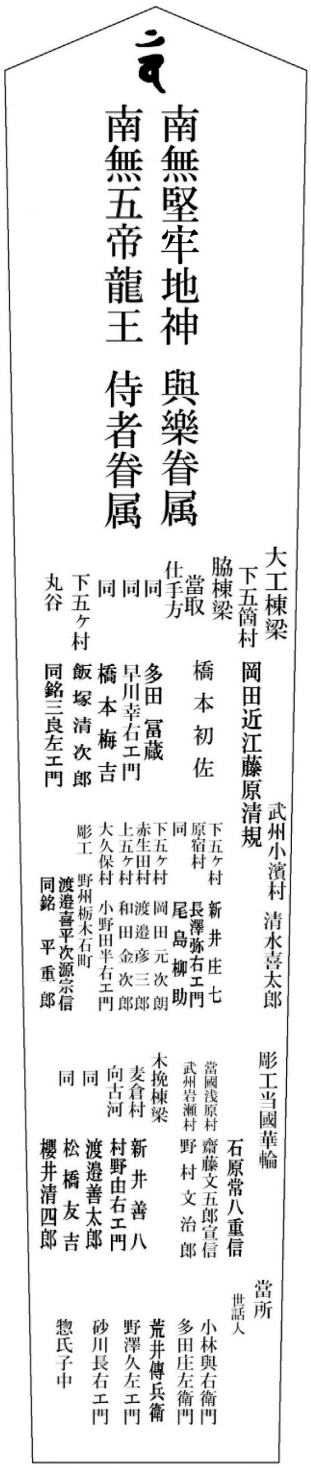
## 神社188　高鳥神社






（表）






（裏）

総高915㎜、肩高875㎜、上巾190㎜、下巾155㎜、厚16㎜
拝殿　嘉永元年(1848)　棟札

## 神社193　(篠塚)長柄神社

安永八巳亥年
奉再造立正一位長良大明神御本殿　天下泰平國土安全五穀
富饒惣産子繁昌長久祈　所
十一月十五日　神主齋藤中務藤原命郷謹言

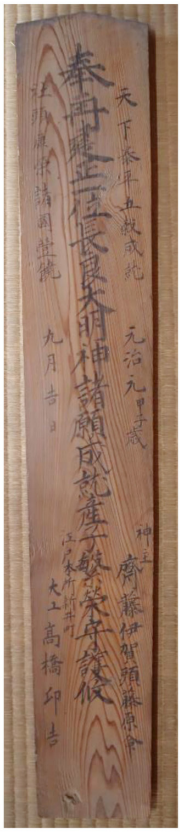
(表)

大工龍舞村町田兵部

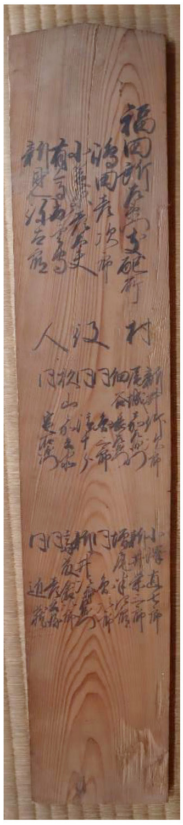
(裏)

総高2,670㎜、肩高2,640㎜、上巾395㎜、下巾355㎜

**本殿**　安永８年(1779)　棟札



天下泰平五穀成就　元治元甲子歳　神主齋藤伊賀頭藤原命
奉再建正一位長良大明神諸願成就産子繁榮守護攸
社頭康榮諸國豊饒　九月吉日
江戸本所新井町　大工　高橋卯吉



福岡新左衛門支配所
嶋田彦次郎
小笠原彦太夫
有馬出雲守
新見弥太郎

村役人

新井竹次郎
尾城嘉左衛門
細谷長左衛門
同　圓三郎
同　清十郎
枚山　嘉兵衛
同　定右衛門

小澤直七郎
新井榮三郎
増尾半四郎
同　圓次郎
新井次郎右衛門
斎藤倉次郎
同　彦兵衛
同　近藏

(表)　(裏)

総高2,780㎜、肩高2,735㎜、上巾460㎜、下巾395㎜

**拝殿**　元治元年(1864)　棟札

群馬県近世寺社総合調査報告書
―歴史的建造物を中心に―
《本　　編》

令和４(2022)年３月４日　印刷
令和４(2022)年３月18日　発行

▪ 編集・発行　群馬県地域創生部文化財保護課
〒371-8570　群馬県前橋市大手町１丁目１番１号
TEL 027-223-1111（代表）

▪ 印　　刷　朝日印刷工業株式会社